


L.モード **対応**

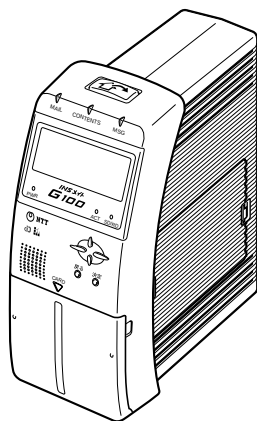
ナンバー・ディスプレイ 対応
 キヤッチホン・ディスプレイ

INSメイトG100

取扱説明書

このたびは、INSメイトG100をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のアナログポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

Windows® 95は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows NT® 4.0は、Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0の略です。

Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Netscape Navigatorは、米国およびその他の諸国のNetscape Communications Corporation社の登録商標です。

Hayesは米国Hayes Microcomputer Products, Inc.の登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品のCD-ROMは日本語版OS以外の動作保証はしていません。

付属品のCD-ROMはソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

危険

- 乾電池のアルカリ液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常音がするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落したり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落したりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造したりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 本商品のそばに花びん、コップ、化粧品、薬用品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となります。

警告

- 電源コードに傷を付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- ぬれた手で本商品を操作したり、ぬれた手で乾電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、機器保護のため、必ずアース線を取り付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグの本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ほりりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほりりにより火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

注意

- 直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動、衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お使いのとき

注意

- 近くに雷が発生したときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源プラグを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により火災の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。
 - ・テーブルクロスなどを掛ける。
 - ・本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
 - ・紙、本などを載せたり立て掛けたりする。

お使用のとき

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず乾電池を抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。
- お手入れをするときは、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 半年に1回程度、電源プラグと電源コンセント間のほこりを、取り除いてください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。ほこりを取り除くときは、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 乾電池は正しくお使いください。使いかたを間違えると液漏れ、発熱、破裂により、けがや故障の原因となることがあります。以下のことを必ず守ってください。
 - 保証期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください。
(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。)
 - 乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
 - 乾電池のプラス (+)、マイナス (-) の方向を確認して入れてください。
 - 乾電池の液漏れによる本商品の故障については保証いたしかねます。
 - 外装ラベルがはがれたり、傷付いた乾電池を使用しないでください。
 - 新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池などを混用しないでください。
 - 使用済みの乾電池を火中に投げないでください。
 - 消耗した乾電池は、すぐに交換してください。
- 停電がない場合でも1年に1回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままでご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様乾電池をなめたり、誤って飲むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かない所に置いてください。
- 乾電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 乾電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水水道水などのきれいな水で洗い流してください。
- 停電回復後すぐに乾電池を交換する場合は、乾電池が熱くなってやけどをするおそれがありますので、確認してから交換してください。
- 付属品のCD-ROMをオーディオ用プレイヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカの破損や耳の障害の原因となることがあります。
- 本商品の故障や回線品質の低下によって、データ消失が発生するおそれがあります。あらかじめ冗長性のあるシステム設計、バックアップなど構成してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて



- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について



- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電気製品、A・V・O・A機器などの磁気を帯びている所や電磁波が発生している所に置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お使いのとき



- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。故障の原因となることがあります。
- INSナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、郵政省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
サービスガイド	17
マニュアルの読み進めかた	22

お使いになる前に

セットを確認してください	1-2
各部の名前	1-3
停電になったときのために	1-10
接続します	1-12
1 INSネット64回線の接続（内蔵DSUをご使用の場合）	1-12
2 動作の確認	1-13
3 電話機などの接続	1-14
4 電話がかけられることの確認	1-16
すでにお持ちのDSUをご使用になるには	1-17
本商品以外のINSネット64用通信機器を接続するには	1-18
日付・時刻を設定します	1-20
PCカードスロットについて	1-21
PCカードをセットする	1-21
PCカードを取り出す	1-22

電話／ファクス編

1 すぐに使えます

電話をかける／ファクスを送るには（発信）	2-2
電話を受ける／ファクスを受けるには（着信）	2-4
着信履歴を確認するには	2-6
内線でお話しするには（内線通話）	2-8
外からの電話を取りつぐには（内線転送）	2-10

2 電話のいろいろな使いかた

電話がかかってきたときにメロディで知らせるには	2-12
着信音が鳴る電話機を指定するには（優先着信ポート指定）	2-14

目次

お話し中にかかってきた電話を受けるには	
(INSCATCHホン／疑似CATCHホン)	2-15
INS CATCHホン	2-15
INS CATCHホンを設定する	2-15
疑似CATCHホン	2-16
疑似CATCHホンを設定する	2-17
お話し中にかかってきた電話に出る	2-18
特定の相手からかかってきた電話を識別するには	
(INSなりわけサービス／疑似なりわけ)	2-20
INSなりわけサービス	2-20
疑似なりわけ	2-21
お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには	
(通信中着信識別通知)	2-23
3人でお話しするには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)	2-24
フレックスホン三者通話 (切替モード／ミキシングモード)	2-24
疑似三者通話 (切替モード)	2-25
相手を切り替えてお話しする (切替モード)	2-26
3人で同時にお話しする (ミキシングモード)	2-27
お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには (通信中転送)	2-29
お話し中に転送する	2-29
短縮ダイヤルで電話をかけるには (短縮ダイヤル)	2-31
短縮ダイヤルで電話をかける	2-31
ハンドセットを取りあげるだけで特定の相手に電話をかけるには	
(ホットライン)	2-32
ホットラインで電話をかける	2-32
Lモードを利用するには	2-34
INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには	2-36

3 ファクスのいろいろな使いかた

ファクスを自動転送するには (FAX自動転送)	2-38
電話機からファクスへ自動転送する	2-38
着信音を鳴らさずにファクスを受信するには (FAX無鳴動着信)	2-40

4 発信者番号の通知と表示

発信者番号の通知について	2-41
一般回線からの電話番号も表示するには (INSナンバー・ディスプレイ)	2-43
INSナンバー・ディスプレイを設定する	2-43
電話番号が通知されないときにメッセージで応答する (INSナンバー・リクエスト)	2-45
キャッチホンと組み合わせて利用する (キャッチホン・ディスプレイ)	2-46

5 電話やファクスの呼び分け

呼び分けのいろいろな方法	2-48
i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには (i・ナンバー)	2-50
i・ナンバーを設定する	2-50
ダイヤルイン／グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには (ダイヤルイン／グローバル着信)	2-58
1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには (モデムダイヤルイン) ..	2-60
i・ナンバーを利用する場合	2-60
ダイヤルインを利用する場合	2-62
サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには (サブアドレス) ..	2-64
接続機器の設定で呼び分けるには (接続機器設定)	2-65

6 転送／メッセージ録音

電話に出られないときのいろいろな方法	2-66
外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送／疑似着信転送) ..	2-68
着信転送 (フレックスホン)	2-68
疑似着信転送	2-68
着信転送または疑似着信転送を設定する	2-69
条件を指定して転送するには (INSボイスワープ／INSボイスワープセレクト)	2-73
INSボイスワープ	2-73
INSボイスワープセレクト	2-73

目次

INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトを ご利用になる場合の設定	2-74
すべての電話をキャッチするには (INSマジックボックス)	2-75

7 電話機からの設定

電話機から機能を設定するには	2-76
----------------	------

ホームページの利用編

1 ブラウザでの設定

ホームページについて	3-2
ホームページを表示する	3-2
ホームページの見かた	3-3
最初に開くページに設定する	3-4
設定画面の基本操作	3-5
ホームページからの操作	3-5

2 基本設定を行う

日時を設定するには	3-7
プロバイダの設定を行うには	3-8

インターネット活用編

1 インターネットの利用

インターネットを利用するには	4-2
必要なソフトウェア	4-2
フレッツ・ISDNをご利用になる場合	4-2
ノーマルモードとダイレクトモード	4-3
コンテンツのダウンロードとホームページクリッピング	4-4
コンテンツダウンロード	4-4
ホームページクリッピング	4-4

2 ダウンロード

コンテンツダウンロードの予約をするには	4-5
コンテンツダウンロードの予約をする	4-5
予約状況を確認する	4-8
ダウンロードに失敗したときは	4-8
ホームページクリッピングの予約をするには	4-10
ホームページクリッピングの予約をする	4-10
予約状況を確認する	4-14
ダウンロードに失敗したときは	4-14
予約を削除／変更するには	4-16
予約を削除する	4-16
予約を変更する	4-17
ダウンロードした内容を確認するには	4-19
ダウンロードしたコンテンツの内容を見る／	
ホームページクリッピングした内容を見る	4-19
予約（定期）でホームページクリッピングした内容を見る	4-19
液晶ディスプレイでダウンロード履歴を確認するには	4-20
ダウンロード履歴を確認する	4-20
ダウンロード履歴を消去する	4-21

3 便利に使う

アドレス帳を利用するには	4-22
アドレス帳に登録する	4-22
アドレス帳の内容を変更する	4-24
アドレス帳から削除する	4-24
上限料金を設定するには	4-25
液晶ディスプレイで累積料金を確認するには	4-26
累積料金を確認する	4-26
累積料金を消去する	4-28

目次

メール活用編

1 メールの設定

ユーザを登録するには	5-2
ユーザについて	5-2
ユーザ1の情報を登録する	5-3
ユーザ2、ユーザ3の情報を登録する	5-5
メールの到着を自動的に確認するには	5-7
メールを確認する周期を設定する	5-7
液晶ディスプレイで着信履歴を確認する	5-9

2 メールの保存

受信したメールを内蔵メモリに蓄積するには	5-11
スプール機能を設定する	5-11
内蔵メモリに蓄積したメールをパソコンで受信する	5-13
メールの本文や添付ファイルをPCカードに保存するには	5-15
PCカードに保存する	5-15
保存したメール本文や添付ファイルの内容を確認するには	5-19
プロバイダのサーバからメールを削除するには	5-20

3 メール転送

メールを転送するには	5-22
メールの転送を設定する	5-22
メールの転送をセット／解除する	5-24
アナログポートの着信履歴を送信するには	5-25
着信履歴の送信を設定する	5-25
着信履歴の送信をセット／解除する	5-27

4 伝言メールの利用

伝言メールを利用するには	5-28
伝言メールを設定する	5-28
伝言メールを受信したとき	5-30

設定編

1 ブラウザでの設定

いろいろな情報を確認するには	6-2
料金情報とデータ通信履歴を確認する	6-2
メール着信履歴を確認する	6-5
ダウンロード履歴を確認する	6-6
エラー履歴を確認する	6-7
本商品のバージョンアップを行うには	6-8

2 詳細設定

詳細設定画面	6-9
詳細設定画面を表示する	6-9
お買い求め時の設定に戻す	6-10
TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面	6-12
TEL1・2共通設定画面	6-19
データポート設定画面	6-23
i・ナンバー設定画面	6-29
全体設定画面	6-30

3 メールの設定画面

ユーザ設定1画面	6-33
ユーザ設定2画面／ユーザ設定3画面	6-37
確認周期設定画面	6-38

4 内蔵メモリとPCカードの設定

メモリ使用量を確認するには	6-39
ブラウザで確認する	6-39
液晶ディスプレイで確認する	6-39
内蔵メモリとPCカードの内容を確認するには	6-40
PCカードを初期化するには	6-42

目次

内蔵メモリのデータをPCカードへコピーするには	6-43
データをバックアップするには	6-44
PCカードへ保存する	6-44
PCカードからデータを読み出す	6-46

5 メロディの設定

メロディ音量を設定するには	6-48
メロディを確認するには	6-49
メロディを設定するには	6-50
メール着信、伝言メール、ダウンロード完了のメロディを 設定する	6-50
電話がかかってきたときのメロディを設定する	6-52
特定の電話番号からかかってきたときのメロディを設定する	6-54

ご参考

CD-ROMの「参考情報」について	参-2
RS-232Cポートインタフェース	参-3
操作ボタンで利用できる機能	参-4
エラーメッセージの意味と処置方法	参-5
故障かな？と思ったら	参-7
Q&A	参-13
索引	参-21
仕様	参-28
保守サービスのご案内	参-29

- 以下については、付属のINSメイトG100専用CD-ROM（PDFファイル）をご覧ください。（←P参-2）

「参考情報」

- ダイレクトモード
- いろいろな通信機能
- ATコマンド
- 設定記入シート

サービスガイド

INSメイトG100でできること

INSメイトG100にパソコンを接続すれば、インターネットにも便利に接続できます。また、今までお使いの電話機やファクスを接続して、いろいろな活用できます。

メールの利用

指定した周期でメールが来ているかどうか確認することができます。メールを利用するユーザは3名まで登録できます。

P5-2

液晶ディスプレイとボタン操作

液晶ディスプレイとボタンで、新着メールの件数、ダウンロードの状況、内蔵メモリの使用量などを確認できます。

P1-7

伝言メール

特定の相手からのメールを伝言メールとして受信することができます。伝言メールは、液晶ディスプレイでタイトルを確認できます。

P5-28

メロディによるお知らせ

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、ダウンロードが完了したときに、メロディでお知らせします。メロディは10曲の中から選択できます。

P2-12

P6-50

着信履歴をメールでお知らせ

留守中にかかってきた電話の着信履歴をメールでお知らせすることができます。

P5-25

PCカードスロットを装備

市販のフラッシュATAカード、スマートメディア™、コンパクトフラッシュ™、メモリスティック™、SDメモリーカードなどに、メールのデータやダウンロードしたファイルを保存することができます。内蔵メモリのデータのコピーをとることもできます。

P1-21

P6-43

コンテンツダウンロード

インターネットのコンテンツを好きな時間にダウンロードすることができます。ダウンロードの予約は、付属アプリケーションやブラウザを使って行います。

P4-4

電話やメールの転送

あらかじめ疑似着信転送／着信転送、メールの転送を設定しておく、おでかけボタンを押すだけで、電話やメールの転送を開始／停止することができます。

P2-68

P5-22

ホームページクリッピング

ホームページを巡回して、表示されているページのデータや、そのページにリンクしているデータをダウンロードすることができます。

P4-4

(次ページへ続きます)

サービスガイド

(前ページの続きです)

いろいろな設定は電話機からOK

パソコンを接続していなくても、電話機から、いろいろな設定をすることができます。
パソコンをお使いの方は、ブラウザを使って簡単に設定できます。

電話機からの設定 ブラウザからの設定

P2-76

P3-2

2台の電話を内線で使う

接続した電話機どうしてお話ししたり、電話を転送することができます。

内線通話

内線転送

P2-8

P2-10

外からの電話を決められた相手に転送する

外の相手からの電話を、決められた別の相手の方に転送することができます。

疑似着信転送

P2-68

Lモード対応アナログ通信機器が接続可能

Lモード(電話機でメールのやりとりや、各種情報の閲覧ができるサービス)に対応したアナログ通信機器を接続することができます。

Lモード

P2-34

かけてきた方を音で識別

登録した相手からの電話は、通常と異なる着信音が鳴るようにすることができます。

一般の電話回線からの電話を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約(有料)が必要です。

疑似なりわけ

P2-21

お話し中にかかってきた電話もキャッチ

Bチャンネル2本を使用して、お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

疑似キャッチホン

P2-16

着信音を鳴らさず静かにファクス受信

着信音を鳴らさずにファクスを受信することができます。

P2-40

INSネット64ならではの幅広いサービス

INSネット64には、いろいろなご利用形態があります。



INSネット64の月額
料金が別途必要です。



INSメイト
G100の設定が
必要です。



ご利用形態によって、
設定が必要となる場
合があります。



かけてきた方の電話番号を表示
接続した電話機に、かけてきた方の電話番号
を表示することができます。

INSナンバー・ディスプレイ

P2-43



こちらの電話番号を相手に通知
発信者番号を相手に通知することができます。
通知しないようにすることもできます。

発信者番号通知

P2-41



かけてきた方を音で識別
登録した相手からの電話は、通常と異なる着
信音を鳴らすようにすることができます。

INSなりわけサービス

P2-20



お出かけ先への転送機能
無条件転送、無応答転送、話中時転送の指定ができます。
INSボイスワープセレクトは、かかってきた相
手によって転送先を変えられます。
INSボイスワープ
INSボイスワープセレクト

P2-73



1本の契約回線に複数の電話番号
1本の契約で、複数の電話番号を使い分ける
ことができます。
電話とファクスなどを別々の番号で受けられます。

i・ナンバー ダイヤルイン

P2-50

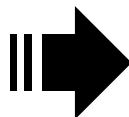
P2-58



**お話し中にかかってきた電話も
キャッチ**
お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

INSキャッチホン

P2-15



- ・呼び分けのいろいろな方法 (←P2-48)
- ・電話に出られないときのいろいろな方法 (←P2-66)

サービスガイド

■ご利用になれる主なサービス

サービス		説明	料金	設定	参照ページ
発信者番号通知		電話をかけたときに、こちらの電話番号を相手に通知することができます。	—		
料金情報通知		通話料金、通信料金が通知されます。	—	—	
サブアドレス通知		サブアドレスを通知して、特定の機器に着信させることができます。	—		 
INSナンバー・ディスプレイ		一般の電話回線からかかってきた電話も、電話番号が通知されます。			
i・ナンバー		複数の電話番号を持つことができます。			 
フレックスホン	INSキャッチホン	お話し中にかかってきた電話に出ることができます。			
	三者通話	お話し中に別の相手に電話をかけ、3人でお話しすることができます。			
	通信中転送	お話し中の電話を別の電話番号へ転送できます。			
	着信転送	かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号へ転送できます。			 
通信中着信通知サービス		すでに通信中で空きBチャンネルがない場合でも、電話がかかってきたことをお知らせします。	—	—	—
代表取扱サービス		あらかじめ決めておいた代表番号に着信があると、代表群から空き回線を選んで着信します。	—	—	—
ダイヤルイン		複数の電話番号を持つことができます。			 
INSなりわけサービス		あらかじめ登録した電話番号からかかってきたときは、通常と異なる着信音を鳴らします。			
INSボイスワープ		かかってきた電話を、指定した条件によって転送します。			 
INSボイスワープセレクト		INSボイスワープの機能に加えて、転送方法を選択できます。			 
INSマジックボックス		メッセージ録音、INSキャッチホン、着信転送の機能を利用できます。			 
発信専用サービス		発信専用または着信専用にすることができます。	—	—	—

サービス	説明	料金	設定	参照ページ
Lモード	電話機でメールサービスとブラウザサービスの2つのサービスがご利用になれます。			

※ **フレックスホンとは**：INSキャッチホン、三者通話、通信中転送、着信転送の4つの機能の総称です。4つの機能を組み合わせて契約することも、必要な機能だけを契約することもできます。

● フレッツ・ISDN

インターネットサービスプロバイダへ接続する際の通信料金が定額となるサービスです。ISDN回線を使って手軽にインターネットに接続できます。フレッツ・ISDNは専用の接続先番号を使用するので、つながりたいときにいつでもインターネットに接続できます。リアルタイムに欲しい情報をいつでも入手できます。

※フレッツ・ISDNをご利用になるには、本サービスに対応したインターネットプロバイダとの契約が必要です。

マニュアルの読み進めかた

本商品を最初にお使いになるときは、本書「INSメイトG100取扱説明書」、「パソコン準備ガイド」、「付属アプリケーション取扱説明書」、「接続早わかりガイド」、「サービスガイド」を次の順序でお読みください。



お使いになる前に **P12**

セットを確認してください

箱を開け、付属品がすべてそろっているか確かめます。



接続早わかりガイド
取扱説明書
お使いになる前に **P1-12**

接続します

本商品とINSネット64回線、電話機などを接続します。



お使いになる前に **P1-20**

カレンダーを設定します

本商品のカレンダーの日付、時刻を設定します。

この設定を行わなくても、パソコンを接続したあとで、日付・時刻を本商品に設定することができます。(➡P3-7)

電話／ファクスの使いかた



電話／ファクス編 **P2-2**

すぐに使えます

電話機やファクスは、接続したらすぐにお使いになれます。



電話／ファクス編 **P2-12**

電話機やファクスを活用します

電話機やファクスのいろいろな使い方を紹介しています。

- 呼び分けのいろいろな方法 (➡P2-48)
- 電話に出られないときのいろいろな方法 (➡P2-66)



電話／ファクス編 **P2-76**

電話機から設定します

電話機からいろいろな機能を設定します。

➡
本商品に接続した電話機で電話やファクスのいろいろな機能を設定できます。



取扱説明書
サービスガイド **P17**

INSネット64とINSメイトG100で何ができるか見てみましょう

パソコンをお使いの方



パソコン
準備ガイド

パソコン準備ガイド 別冊

必要なソフトウェアをインストールし、本商品とパソコンを接続するための設定をします

パソコンのOS、本商品とパソコンを接続するポート（USBポート、またはRS-232Cポート）を確認して必要なソフトウェアをインストールします。
TCP/IPの設定、ダイヤルアップネットワークの設定を行います。

取扱説明書

ホームページの利用編 P3-8

ブラウザを起動して、設定画面で基本設定を行います

ブラウザを起動して本商品の設定画面を表示させ、インターネットに接続するため、プロバイダの設定を行います。

取扱説明書

インターネット活用編 P4-4

付属アプリケーション
取扱説明書

付属アプリケーション取扱説明書 別冊

コンテンツダウンロード、ホームページクリッピングの設定をします

コンテンツのダウンロード、ホームページクリッピングを行うための情報を登録します。
Windows®をお使いの場合は、コンテンツダウンロードやホームページクリッピングの設定を付属アプリケーションを使って行うことができます。

取扱説明書

メール活用編 P5-2

メールの設定を行います

本商品でメールを受信していろいろな機能を利用するための設定を行います。

取扱説明書

ご参考 P参1

こんなときにお使いください

- ・トラブルが発生したとき：修理を依頼される前にご確認ください（←P参-5、参-7）

CD-ROM

CD-ROM「参考情報」 CD-ROM

いろいろな情報を収録しています

- ・ダイレクトモード
- ・いろいろな通信機能
- ・ATコマンド
- ・機能を設定したとき：設定記入シートにご記入ください（←CD-ROM「参考情報」）

マニュアルの読み進めかた

■操作説明のページの構成

電話／ファクス編を例に説明します。

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

1 **電話をかける／ファクスを送るには**
(発信)

本商品に電話機やファクスを接続するだけで、電話をかけたり、ファクスを送ることができます。同時に3つのアナログポートを使用できます。

1 ハンドセットを取りあげる。
「フック」という発信音が聞こえます。
30秒以内で3つのダイヤルボタンを押してダイヤル。
30秒を過ぎると、留守音が聞こえます。

2 電話番号 (最大32桁) を押す。
最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。
(ダイヤル時間ダイヤル)
電話番号のあとに「ワンプッシュ」を押すと、すぐに発信します。(ダイヤル終了機能)

3 発着が完了したら、お話しする。
ファクスの場合は、送信機を回します。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。
通話料金が表示されます。

ワンポイント

- 発信するまでの時間を短縮するには (ダイヤル時間ダイヤル)
お話しするまでの時間を短縮するには、(ダイヤル時間ダイヤル) (機能番号: 114) (※P.4-10)
- ワンプッシュダイヤルとして発信するには (ダイヤル終了機能)
お話しするまでの時間を短縮するには、ワンプッシュを押して発信するように設定されています。「発信しない」または「F」を押して発信するに設定もできます。(※P.4-10)
- サブアドレスを指定して電話をかけるには
相手の電話番号を入力したあと、(ワンプッシュ) サブアドレス (最大10桁) を押します。
(※) 0312345678 (※) 12345
サブアドレス
- 発信機を接続するには
電話機に付属の電話機「F」(「F」)に接続できます。お話しする時は「F」に設定されています。
(機能番号: 117) (※P.4-11)
- 発信機を接続するには (発信機)
ファクスポートに接続した電話機やファクスから、相手電話をかけることができます。お話しする時は「F」に設定されています。「F」を押して発信するに設定もできます。
お話しする時は「F」を押して発信するに設定もできます。
お話しする時は「F」を押して発信するに設定もできます。
(機能番号: 117) (※P.4-11)
- サブアドレスを指定して電話をかけるには
相手の電話番号を入力したあと、(ワンプッシュ) サブアドレス (最大10桁) を押します。
(※) 0312345678 (※) 12345
サブアドレス
- 発信機を接続するには
電話機に付属の電話機「F」(「F」)に接続できます。お話しする時は「F」に設定されています。
(機能番号: 117) (※P.4-11)
- 発信機を接続するには (発信機)
ファクスポートに接続した電話機やファクスから、相手電話をかけることができます。お話しする時は「F」に設定されています。「F」を押して発信するに設定もできます。
お話しする時は「F」を押して発信するに設定もできます。
お話しする時は「F」を押して発信するに設定もできます。
(機能番号: 117) (※P.4-11)
- サブアドレスを指定して電話をかけるには
相手の電話番号を入力したあと、(ワンプッシュ) サブアドレス (最大10桁) を押します。
(※) 0312345678 (※) 12345
サブアドレス

操作手順説明
順番に操作を説明します。

お知らせ
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

お願い
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなくなったり、機能停止を招く内容を示します。

〈参照の見かた〉

TELで設定 ……電話機から設定を行うときに参照してください。

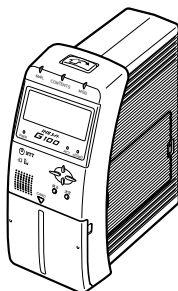
PCで設定 ……パソコンからブラウザを使って設定するときに参照してください。

お使いになる前に

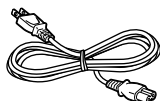
セットを確認してください	1-2
各部の名前	1-3
停電になったときのために	1-10
接続します	1-12
日付・時刻を設定します	1-20
PCカードスロットについて	1-21

セットを確認してください

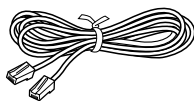
■本体



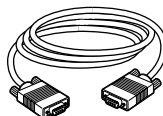
■付属品



電源コード (1本)



電話機コード (1本: 約3 m)



RS-232Cケーブル
(ストレート1本: 約1.5 m)



USBケーブル (1本: 約1.5 m)



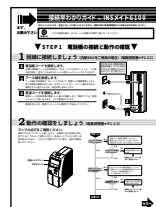
取扱説明書 (1部)



パソコン準備ガイド (1部)



付属アプリケーション取扱説明書 (1部)



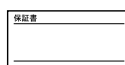
接続早わかりガイド (1部)



サービスガイド (1部)



CD-ROM (1枚)
専用CD-ROMの使い方 (1部)



保証書 (1枚)

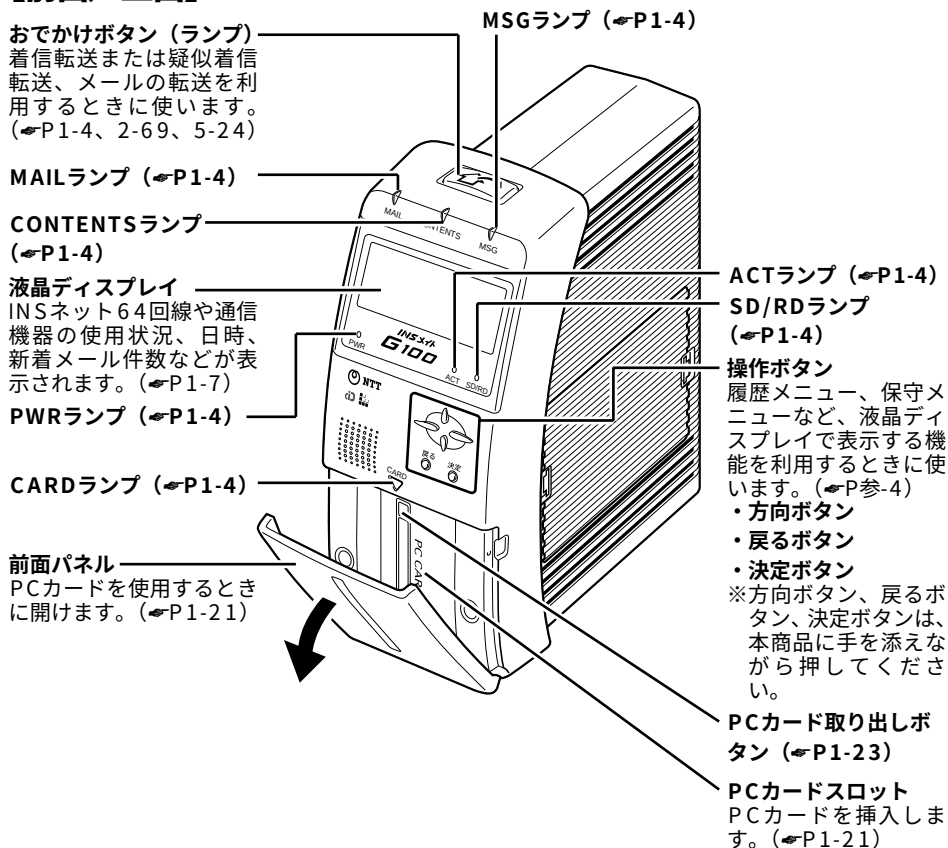


NTT通信機器お取扱
相談センタシール (1枚)

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

各部の名前

【前面／上面】



各部の名前

【ランプ表示】

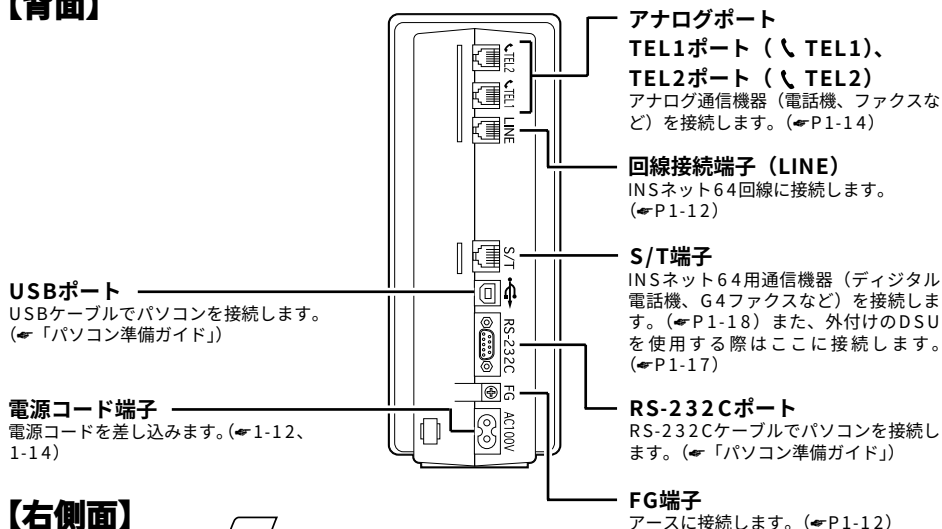
ランプの種類	ランプのつき方（色）	本商品の状態
PWR（POWER）ランプ	点灯（緑）	電源が入っているとき
	遅い点滅（赤）	電池動作モードで動作しているとき
	消灯	電源が入っていないとき
ACT（Action）ランプ	点灯（緑）	非同期／同期PPP変換で通信中のとき（☛CD-ROM）
	点灯（赤）	128KマルチリンクPPPで通信中のとき（☛CD-ROM）
	速い点滅（緑）	RS-232CポートまたはUSBポートで発信、着信中のとき
	点灯と点滅の繰り返し（緑）	着信転送または疑似着信転送を設定している場合、おでかけボタンを押して転送を開始したとき（☛P2-68）（ただし、回線異常表示およびデータポート状態表示が優先されます。）
	遅い点滅（緑）	回線に異常があるとき（☛P1-13）
	消灯	データ通信していないとき、また着信転送・疑似着信転送を行っていないとき
SD/RD（Send Data/Receive Data）ランプ	点灯（緑）	パソコンから本商品へデータを転送しているとき
	点灯（赤）	本商品からパソコンへデータを転送しているとき
	消灯	データ転送を行っていないとき
MAILランプ	点灯（赤）	メールを受信したとき（☛P5-8）
	点滅（赤）	メールを受信中
	遅い点滅（赤）	メールの受信中にエラーが起きたとき
	点灯（緑）	伝言メールを受信したとき（☛P5-30）
	消灯	受信したメールがないとき、メールの着信履歴を確認したとき、スプール機能（☛P5-11）を使用している場合は、パソコンの電子メールソフトで、内蔵メモリに蓄積しているメールを受信したとき、付属アプリケーションをご利用の場合は、インフォメーション通知画面を確認して閉じたとき
CONTENTSランプ	点灯（赤）	コンテンツのダウンロードが完了したとき（☛P4-21）
	点滅（赤）	コンテンツのダウンロード中
	遅い点滅（赤）	コンテンツのダウンロードに失敗したとき
	消灯	ダウンロードしたコンテンツのないとき、ダウンロード履歴を確認したとき、付属アプリケーションをご利用の場合は、インフォメーション通知画面を確認して閉じたとき
MSG（Message）ランプ	点灯（赤）	メッセージセンタにメッセージがあるとき（☛P2-34、2-36） （Lモード、INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用の場合）
	消灯	メッセージセンタにメッセージがないときまたはLモード、INSメッセージ到着お知らせサービスを利用していないとき
CARDランプ	点灯（緑）	PCカードが挿入されているとき
	点滅（緑）	PCカードを使用してアクセス中のとき
	消灯	PCカードが挿入されていないとき
おでかけランプ	点灯（赤）	着信転送または疑似着信転送、メールの転送、アナログポートの着信履歴の送信を設定している場合、おでかけボタンを押して転送を開始したとき（☛P2-69、5-24、5-27）
	消灯	転送を開始していないとき



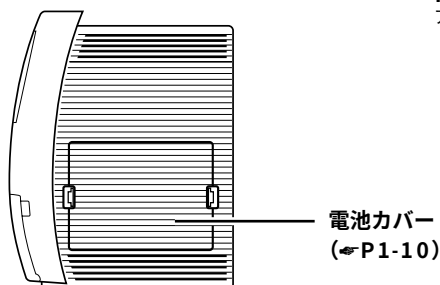
ワンポイント

● ランプの点滅のしかたについて

【背面】



【右側面】



ワンポイント

● RS-232CポートとUSBポートについて

- RS-232Cポートは、モデムやターミナルアダプタなどの通信機器を接続する標準の規格として、多くのパソコンに装備されています。
- USBポートは、通信機器を接続するための規格です。Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Mac OS 8.6、9および9.1に対応したパソコンに接続できます。



お知らせ

- RS-232CポートとUSBポートを同時に使用することはできません。

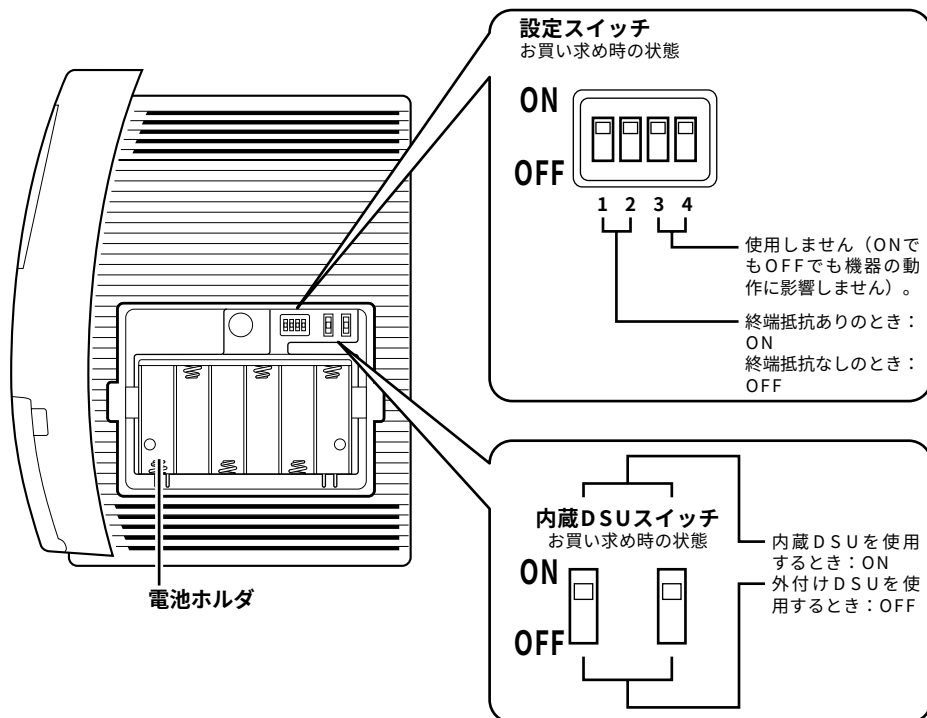


お願い

- USBコネクタを抜く場合は、本商品の電源プラグおよび乾電池を抜いて、パソコンの電源を切ってから行ってください。

各部の名前

【電池カバーを開いた状態】



お知らせ

- 各種設定スイッチの操作は、つまようじのようなもので行ってください。
- 設定スイッチ1、2は、電源プラグを差し込んでいるときも抜いているときも変更することができます。



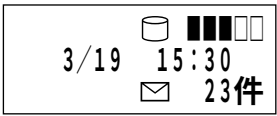
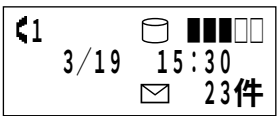
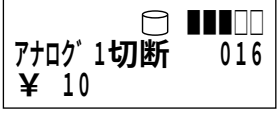
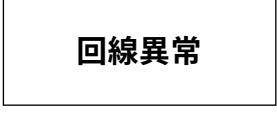
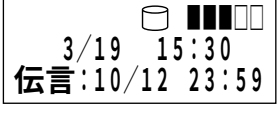
お願い

- 設定スイッチ1、2および内蔵DSUスイッチの設定は、必ずONとON、またはOFFとOFFの組み合わせで設定してください。
- 内蔵DSUスイッチを設定する場合は、電話機コードをINSネット64回線用モジュラジャックから外し、電源プラグを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で設定してください。

【液晶ディスプレイの見かた】

本商品の液晶ディスプレイで、日付・時刻、回線の使用状態、新着メールの件数などを確認することができます。

■表示例

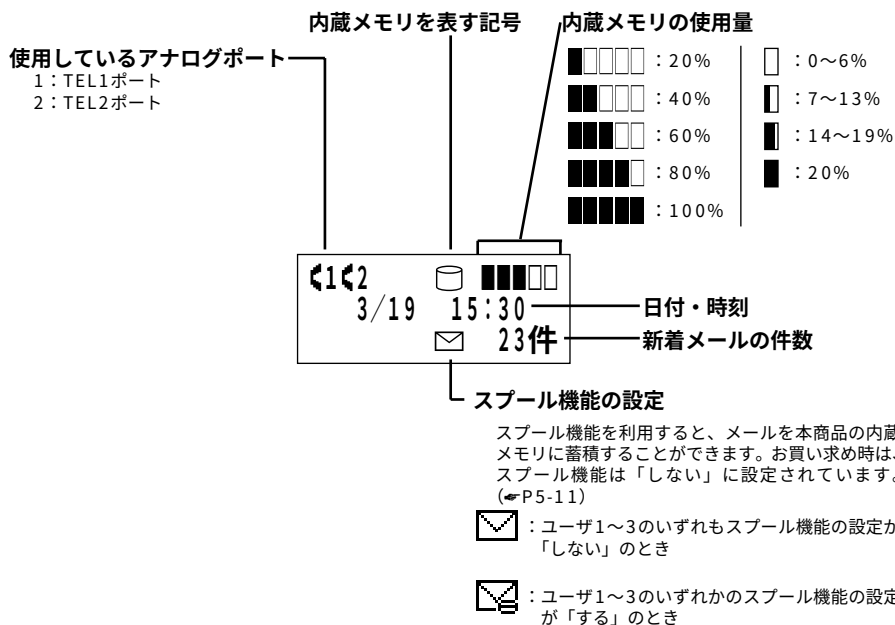
待機中		内蔵メモリの使用量、日付・時刻、新着メール件数が表示されます。
アナログポート使用中		使用しているアナログポート番号が表示されます。 1：TEL1ポート 2：TEL2ポート
外線発信		発信したポートの種別が表示されます。
外線着信		相手の電話番号が表示されます。アドレス帳に登録されている相手からの着信の場合は、相手の名前が表示されます。
内線着信		発信側と着信側のアナログポート番号が表示されます。
通信終了		使用したポートの種別と料金、切断理由を示す番号が表示されます。 切断理由 (☞P6-4)
回線異常のとき		INSネット64回線の異常のとき、または本商品とINSネット64回線が接続されていないときに表示されます。
伝言メールを受信したとき		受信した日時が表示されたあと、伝言メールのタイトルが順次表示されます。

(次ページへ続きます)

各部の名前

(前ページの続きです)

■表示されるアイコンと意味



ワンポイント

● バックライトモードを設定するには

お買い求め時は、液晶ディスプレイのバックライトは、発信や着信があったとき、自動的に点灯するように設定されています。バックライトを常時ON、常時OFFに設定することもできます。

PCで設定 (全体設定画面「バックライトモードの設定」) (P6-31)

●その他のアイコン

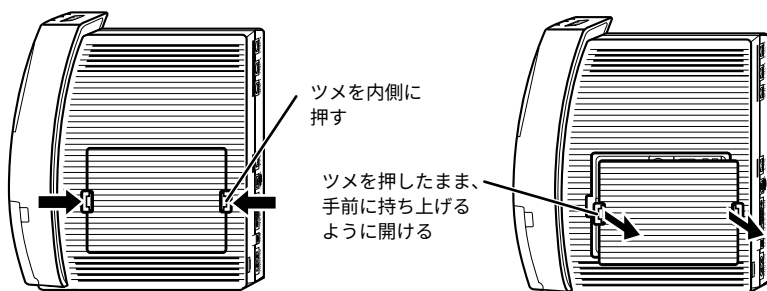
	右側に表示しきれない数字や文字があるとき
	左側に表示しきれない数字や文字があるとき
	メール転送、メールのPCカードへの保存、添付ファイルの保存に成功したとき (メール受信一覧表示時)
	メール転送、メールのPCカードへの保存、添付ファイルの保存に失敗したとき (メール受信一覧表示時)
	新着メールを受信したとき (メール受信一覧表示時)
	メールのPCカードへの保存、添付ファイルの保存に成功したとき (メール内容表示時)
	メールのPCカードへの保存、添付ファイルの保存に失敗したとき (メール内容表示時)
	メール転送に成功したとき (メール内容表示時)
	メール転送に失敗したとき (メール内容表示時)
	ダウンロードに成功したとき
	ダウンロードに失敗したとき
	メロディ音量：小
	メロディ音量：中
	メロディ音量：大

停電になったときのために

本商品に市販の単3アルカリ乾電池（6本）を入れておくと、停電時には自動的に電池動作モードに切り替わり、TEL1ポートに接続した電話機で電話をかけたり、受けたりすることができます。予約した内容、ダウンロードしたデータ、メールなどが停電時に消えることのないように乾電池を入れておくことをお勧めします。乾電池はお客様でご用意ください。

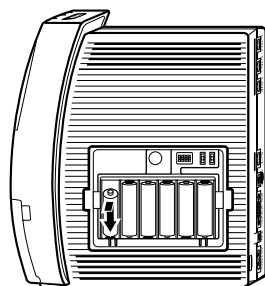
電池動作モード中はPWR（POWER）ランプが赤く点滅し、TEL1ポートのみ使用可能です。TEL2ポート、RS-232Cポート、USBポートは使用できません。

- ①** 電池カバーの両側のツメを内側に押しながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。

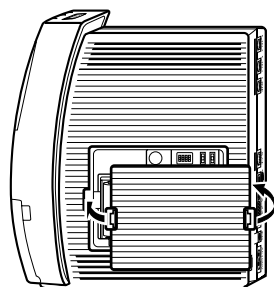


- ②** 単3アルカリ乾電池を6本入れます。

乾電池を入れるときは、プラス（+）・マイナス（-）の向きを確かめて入れてください。



- ③** 電池カバーを取り付けます。





お知らせ

- TEL2ポートで通信中に停電になったときは、通信を継続することができます。
- 停電中は、内線通話、内線転送はできません。
- 停電中は、本商品の操作ボタン、液晶ディスプレイ、バックライトは使用できません。
- 新品の乾電池で待ち受け時間約2時間、またはTEL1ポートの通話で通話時間約1時間の動作ができます。乾電池の残量がなくなると、本商品は動作しなくなります。
- パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合は、パソコンの電源を切ると電池動作モードに切り替わり、乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。
- S/T端子にINSネット64用通信機器を接続する場合は、停電時に動作可能な機器をお使いください。
- 停電時に保持されないデータ/設定（乾電池がない場合）
 - ・ データ通信履歴
 - ・ 直前の料金情報
 - ・ 累積料金情報
 - ・ 日付、時刻
 - ・ アナログポートの着信履歴
 - ・ ホームページクリッピング履歴/予約情報/内蔵メモリに保存したコンテンツ
 - ・ コンテンツダウンロード履歴/予約情報/内蔵メモリに保存したコンテンツ
 - ・ 新着メール件数
 - ・ 伝言メール
 - ・ メール着信履歴
 - ・ 内蔵メモリに保存したメール
 - ・ メロディ音量
 - ・ おでかけボタンを押してセットした転送

⚠ 注意

- 乾電池は正しくお使いください。使いかたを間違えると液漏れ、発熱、破裂により、けがや故障の原因となることがあります。以下のことを必ず守ってください。
 - ・保証期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください。（アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。）
 - ・乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
 - ・乾電池のプラス（+）、マイナス（-）の方向を確認して入れてください。
 - ・乾電池の液漏れによる本商品の故障については保証いたしかねます。
 - ・外装ラベルがはがれたり、傷付いた乾電池を使用しないでください。
 - ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池などを混用しないでください。
 - ・使用済みの乾電池を火中に投げないでください。
 - ・消耗した乾電池は、すぐに交換してください。
- 停電がない場合でも1年に1回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままでご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。

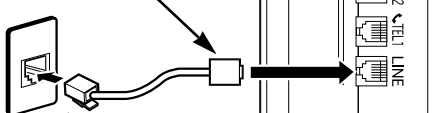
接続します

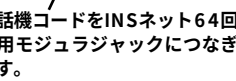
本商品をINSネット64に接続し、電話機やファクスなどを接続します。本商品にはDSUが内蔵されていますが、すでにお持ちのDSUをご使用になることもできます。(←P1-17)

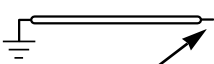
パソコンとの接続については、「パソコン準備ガイド」を参照してください。

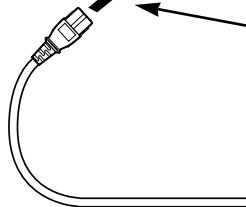
1 INSネット64回線の接続 (内蔵DSUをご使用の場合)

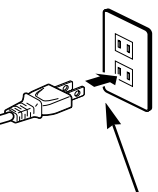
- 1** 付属品の電話機コードを回線接続端子 (LINE) につなぎます。


- 2** 電話機コードをINSネット64回線用モジュラージャックにつなぎます。
INSネット64以外の回線には接続しないでください。
本商品はINSネット64回線の極性を自動認識し、動作します。


- 3** アース線をFG端子につなぎます。
落雷などの雷撃事故による人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。
※アース線は、お手元の環境に合った長さのものを、別途お買い求めください。


- 4** 電源コードを電源端子につなぎます。


- 5** 電源プラグを電源コンセント (AC100 V、50 Hzまたは60 Hz) に差し込みます。
これで電源が入ります。





お知らせ

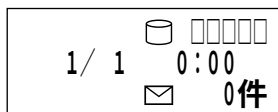
- 電話回線のコンセントがモジュラージャック式でない場合は、工事が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。
- 本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、機器使用料は不要となります。

2 動作の確認

電源プラグをコンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。
終了すると、液晶ディスプレイに文字が表示されます。

正常に接続されているとき

PWR（POWER）ランプが緑色に点灯し、日付・時刻が表示されれば接続完了です。



何も表示されないとき

- ① 電源の接続を確認してください。
- ② 電源100 Vは電源コンセントにきていますか？
電源のきている電源コンセントを使ってください。

正常に接続されていないとき

次のように表示されたら、正常に接続できていません。



- ① 本商品とINSネット64回線との接続を確認してください。
- ② 内蔵DSUスイッチは取扱説明書どおりになっていますか？（←P1-19）
正しく設定してください。

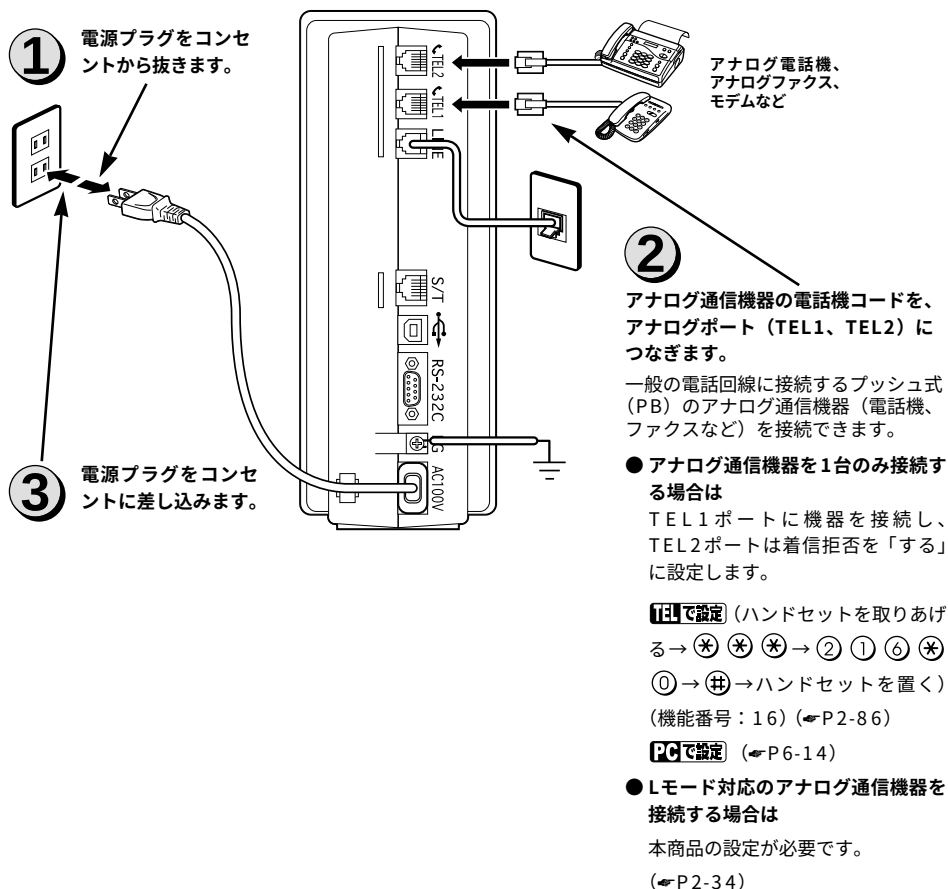
接続を確認しても日付・時刻が表示されないとき

本商品または回線の異常だと思われます。
局番なしの「113」番までご連絡ください。

接続します

3 電話機などの接続

電話機などの機器を接続する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。





お知らせ

- アナログ通信機器のダイヤル種別が「トーン」（プッシュ対応）に切り替わっていることを確認してください。ダイヤル式（DP）のアナログ通信機器は、使用できません。
- （財）電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。
- 一般の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。
- 料金管理装置などを接続してご使用になると、通信事業者からの通信料金の請求額とは必ずしも一致しない場合がありますので、ご注意ください。
- アナログポートに接続したアナログ通信機器の受信音量や自分の声が大きく聞こえる場合は、アナログ通信機器のPADを設定してください。アナログ通信機器のPAD設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください。



お願い

- アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長200 m（0.5 φ）を目安としてください。
- 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- 1つのアナログポート（TEL1、TEL2ポート）には1台のアナログ通信機器を接続してください。ブランチ接続はできません。1つのアナログポートに複数の通信機器を接続すると、使用できないことがあります。アナログ通信機器にブランチ接続用の端子がある場合でも、この端子には何も接続しないでください。

接続します

4 電話がかけられることの確認

接続した電話機から、電話がかかることを確認します。つながらない場合は、電話機の接続と、電話機のダイヤル種別が「トーン」（プッシュ対応）に切り替わっているかをご確認ください。

- ① 電話機のハンドセットを取りあげ、117（時報サービス）などにダイヤルします。

ダイヤル後は、そのままお待ちください。



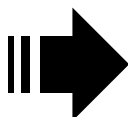
- ② 時報などが聞こえることを確認します。

- ③ ハンドセットを置きます。



お知らせ

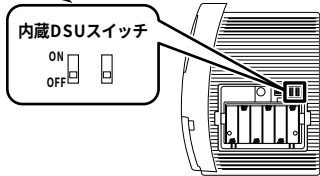
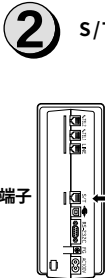
- 117番に電話をかけると通話料金がかかります。



- インターネットに接続するには引き続き、パソコンの準備を行います。（←「パソコン準備ガイド」）
- 電話やファクスをご利用になるには電話やファクスの使いかたへお進みください。（←P2-2）

すでにお持ちのDSUをご使用になるには

すでにDSU、DSU内蔵の機器など（外付けDSU）をお持ちの場合は、本商品に内蔵のDSUを使用しないで、外付けDSUをお使いになることができます。

- ① 電池カバーを開け、内蔵DSUスイッチを2つともOFFにします。

- ② S/T端子にDSUを接続します。

- ③ INSネット64回線用モジュラジャックにDSUを接続します。

- ④ 終端抵抗スイッチ（設定スイッチ1、2）を設定します。
 INSネット64回線は、本商品のほかに最大7台までのINSネット64用通信機器を接続して使用できます。接続のしかたによって、本商品の設定スイッチ1、2の「終端抵抗スイッチ」（←P1-19）の設定が異なります。
 ※DSUに終端抵抗の設定がある場合は、「OFF」にしてください。
- ⑤ 以降は、内蔵DSUをご利用の場合と同様に、通信機器、パソコンなどを接続して電源プラグを電源コンセントに差し込みます。（←P1-12、1-14）

STOP お願い

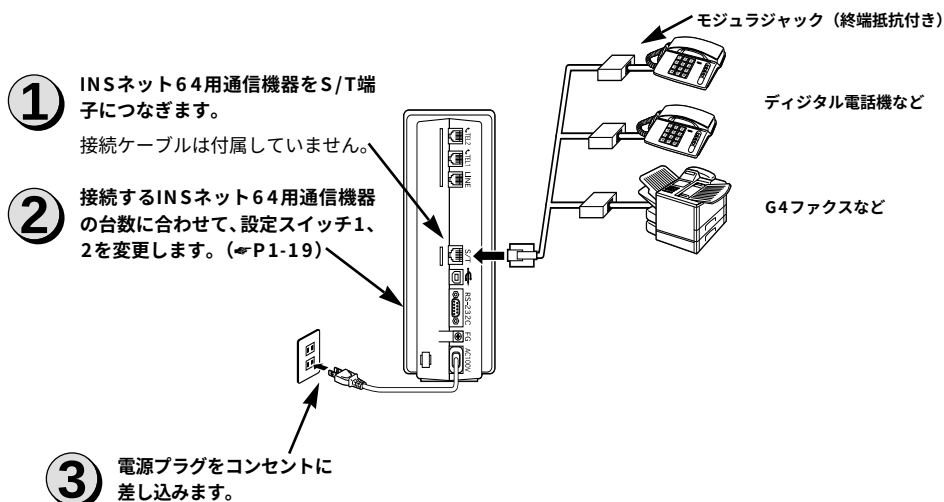
- 内蔵DSUスイッチを設定する場合は、電話機コードをINSネット64回線用モジュラジャックから外し、電源プラグを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で設定してください。

接続します

本商品以外のINSネット64用通信機器を接続するには

S/T端子にケーブル（別売）を接続します。

INSネット64用通信機器は、最大7台まで接続して使用できます。接続する台数によって、本商品の設定スイッチ1、2（☞P1-19）の設定、配線方法が異なります。

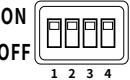
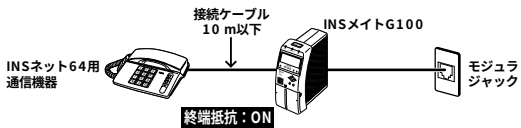
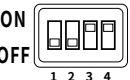
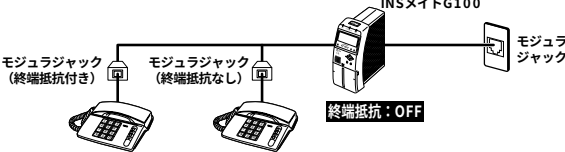
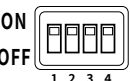
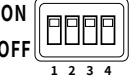
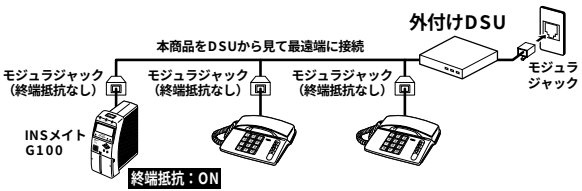
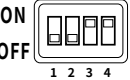
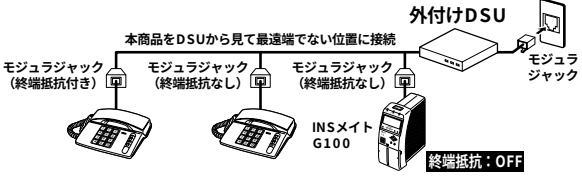


STOP お願い

- INSネット64用通信機器の接続は、配線が全長で150 m以下となるようにしてください。
- 本商品とINSネット64用通信機器（1台）をつなぐ接続ケーブルが10 m以上の場合は、設定スイッチの1と2をOFFにして終端抵抗をなしに切り替えてください。（☞P1-19）

■INSネット64用通信機器を接続する場合の終端抵抗スイッチの設定

本商品のほかに、INSネット64用通信機器を最大7台まで接続して使用できます。
接続方法によって終端抵抗の設定が異なりますので、次の表で設定をご確認ください。

DSU	接続方法	本商品の終端抵抗の設定	接続図
内蔵DSU	本商品にINSネット64用通信機器を1台接続する場合、接続ケーブルが10 m 以下の場合	設定スイッチ1、2を「ON」にする（お買い求め時の状態） 	 終端抵抗：ON
	INSネット64用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10 m 以上の場合、および2～7台接続する場合	設定スイッチ1、2を「OFF」にする 	 終端抵抗：OFF ※本商品から見て、S/T端子に接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗つきモジュラジャックを使用してください。
外付けDSU	本商品のみを接続する場合	設定スイッチ1、2を「ON」にする（お買い求め時の状態） 	 終端抵抗：ON
	本商品がDSUから最遠端の場合	設定スイッチ1、2を「ON」にする（お買い求め時の状態） 	 終端抵抗：ON
	本商品がDSUから最遠端でない場合	設定スイッチ1、2を「OFF」にする 	 終端抵抗：OFF

※モジュラジャックの有無は、接続のしかたによって異なります。

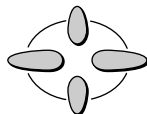
日付・時刻を設定します

液晶ディスプレイに表示される日時を設定します。

この設定を行わなくても、パソコンを接続したあとで日付・時刻を本商品に設定することができます。(☞P3-7)

- 1** 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アラーム 着信履歴
2: メール新着件数
3: タウンロード履歴

- 2** 方向ボタンの上または下を押して「6: 設定」を選択し、決定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

4: 料金情報
5: メモリ使用量
6: 設定

- 3** 方向ボタンの上または下を押して「1: 時計設定」を選択し、決定ボタンを押す。

1: 時計設定
2: メロディ音量設定
3: メロディ再生

- 4** 方向ボタンの上または下を押して西暦の10の位を設定する。

西暦の上2桁を変更することはできません。

例: 2001年→0

2000 01/01 00:00

- 5** 方向ボタンの右を押す。

- 6** 方向ボタンの上または下を押して西暦の1の位を設定する。

例: 2001年→21

- 7** 方向ボタンの右を押す。

- 8** 以降、同様にして方向ボタンの上または下と方向ボタンの右を押して、月・日・時・分を設定する。

時刻は24時間制で入力します。

- 9** 分を設定したら、決定ボタンを押す。

日付と時刻が設定され、設定メニューに戻ります。



お知らせ

- 時刻はあくまで目安としてご利用ください。誤差が生じたときは、時刻を合わせ直してください。
- 何も操作しないまま約60秒過ぎると、待機状態に戻ります。
- 日付・時刻は、停電時動作作用の乾電池により、停電時でも保持されます。(☞P1-10)

PCカードスロットについて

本商品では、インターネットからダウンロードしたファイル、メールのデータを内蔵メモリのほか、市販されているPCカードに保存することができます。また、内蔵メモリに保存したデータや本商品の設定値などをPCカードに保存したり、PCカードに保存したデータを内蔵メモリに読み出すこともできます。(P6-43)

お
使
い
に
な
る
前
に

●利用できるPCカード

本商品のPCカードスロットには、PC Card Standard規格に準拠したPCカード（タイプII）を取り付けることができます。

PCカード（タイプII）に準拠したフラッシュATAカードのほか、PCカードアダプタを利用することにより、スマートメディア™、コンパクトフラッシュ™、メモリースティック™、SDメモリーカード、マルチメディアカードなどを使うこともできます。

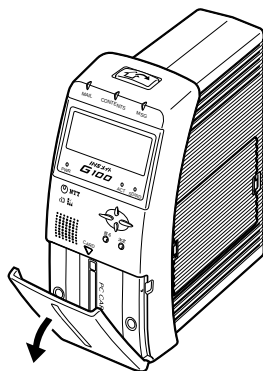
最大64MバイトまでのPCカードをお使いください。

PCカードは、お使いになる前に必ず初期化を行ってください。(P6-42)

※本書では、PCカードスロットで利用できるメディアを総称して「PCカード」と呼びます。

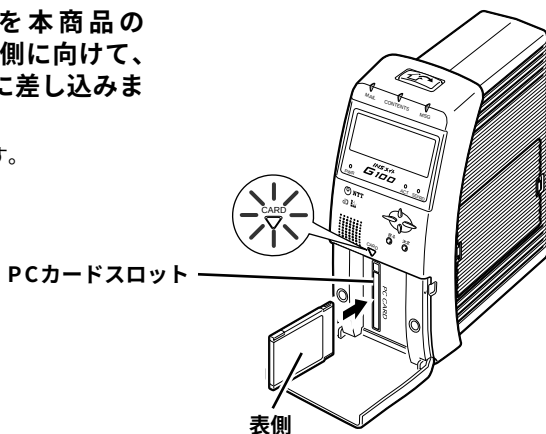
PCカードをセットする

- ① 前面パネル上側の両端を軽く押さえて、前面パネルを手前に引きます。



- ② PCカードの表側を本商品の「PC CARD」表示側に向けて、PCカードスロットに差し込みます。

CARDランプが点灯します。



PCカードスロットについて

PCカードを取り出す

PCカードを取り出すときは以下の操作を行います。

- ① 日付・時刻が表示されているときに本商品の決定ボタンを押します。

右のディスプレイが表示されます。

決定



戻る
メールを確認する
PCカード'を停止する

- ② 方向ボタンの下を押して「PCカードを停止する」を選択し、決定ボタンを押します。



決定

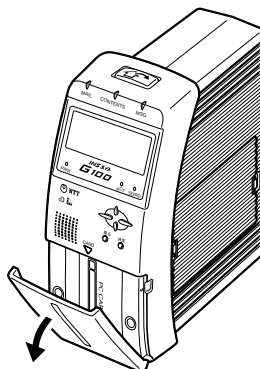


戻る
メールを確認する
PCカード'を停止する

- ③ 「PCカードを抜いてください」と表示され、CARDランプが消灯します。

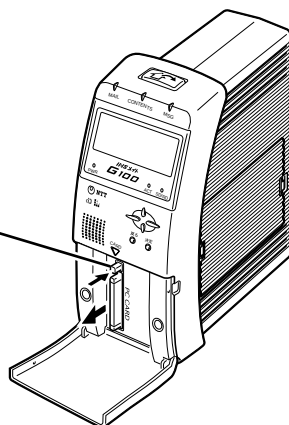
PCカード'を
抜いてください

- ④ 前面パネル上側の両端を押さえて、前面パネルを手前に引きます。

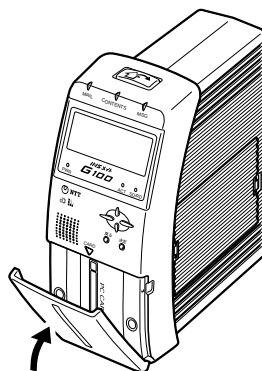


- 5** 本商品に手を添えながらPCカード取り出しボタンを押して、PCカードスロットからPCカードを取り出します。

PCカード取り出しボタン



- 6** 前面パネル上側の両端を軽く押さえて、前面パネルを閉じます。



お知らせ

- 手順3で「PCカードを抜いてください」と表示され、CARDランプが消えているときは、ボタン操作は無効です。手順5でPCカードを取り出すと、ディスプレイが日付・時刻表示に戻り、ボタン操作は有効になります。
- PCカードをセットしていないときに手順2の操作を行うと、ディスプレイは日付・時刻表示に戻ります。



注意

- CARDランプが点滅および点灯しているときは、PCカードを取り出さないでください。PCカードに保存したデータおよびPCカードが破損する恐れがあります。

電話／ファクス編

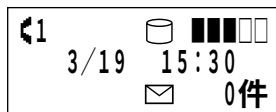
- 1 すぐに使えます …… 2-2
- 2 電話のいろいろな使いかた …… 2-12
- 3 ファクスのいろいろな使いかた …… 2-38
- 4 発信者番号の通知と表示 …… 2-41
- 5 電話やファクスの呼び分け …… 2-48
- 6 転送／メッセージ録音 …… 2-66
- 7 電話機からの設定 …… 2-76

電話をかける／ファクスを送るには (発信)

本商品に電話機やファクスを接続するだけで、電話をかけたり、ファクスを送ることができます。同時に2つのアナログポートを使用できます。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツーン」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、話中音が聞こえます。

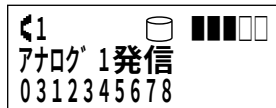
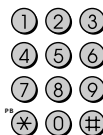


※TEL1ポートで発信したとき

2 電話番号（最大32桁）を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）

電話番号のあとに(Ⓜ)ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）



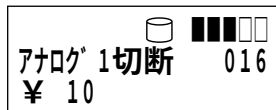
3 相手が出たら、お話しする。

ファクスの場合は、送信操作を行います。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

通話料金が表示されます。



お知らせ

- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中で発信を始めてしまいます。
- 続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを約2秒以上置いてからダイヤルしてください。
- すでに2つのBチャンネルを使用しているときは、電話をかけることはできません。



ワンポイント

● 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定（機能番号：74）（☞P2-80）

PCで設定（TEL1・2共通設定画面「その他」）（☞P6-21）

● ㊟ ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを㊟ ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「##で識別する」に設定を変更してください。

TELで設定（機能番号：75）（☞P2-82）

PCで設定（TEL1・2共通設定画面「その他」）（☞P6-21）

● サブアドレスを指定して電話をかけるには

相手の電話番号を押したあとに、㊤ ボタン、サブアドレス（最大19桁）を押します。

〈例〉0312345678 ㊤ 12345

↑ ↑
電話番号 サブアドレス

● 受話音量を調節するには

電話機の受話音量を「大」、「中」、「小」に調節できます。お買い求め時は「中」に設定されています。

TELで設定（機能番号：17）（☞P2-86）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「その他」）（☞P6-17）

● 発信を規制するには（発信規制）

アナログポートに接続した電話機やファックスから、外へ電話をかけられないようにすることができます。「0発信規制」、「外線発信規制」のどちらかを設定できます。

0発信規制：1桁めに0が付く電話番号をダイヤルしたときは発信できません。

外線発信規制：すべての外線発信ができません。

TELで設定（機能番号：22）（☞P2-88）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☞P6-14）

発信規制を設定した場合でも、「110」、「118」、「119」へは電話をかけることができます。ホットラインを設定している場合は、発信規制の設定は無効となります。

● アナログポートを使用しない場合は

着信拒否を設定します。

TELで設定（機能番号：16）（☞P2-86）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☞P6-14）

● 累積の通話料金を表示するには

今までの累積の通話料金を表示することもできます。（☞P4-26、6-2）

電話を受ける／ファクスを受けるには (着信)

アナログポートに接続した電話機で電話を受けたり、ファクスを受信することができます。ほかの1つのポートを使用中でも、着信を受けられます。
2つのアナログポートの両方に電話機やファクスを接続している場合は、両方から着信音が鳴ります。

1 着信音が鳴る。



外線着信
0312345678

電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときは、相手の名前が表示されます。

外線着信
お姉さん

2 ハンドセットを取りあげて、相手とお話する。



TEL 3/19 15:30
23件

※TEL1ポートで応答したとき

3 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



アナログ 1切断 016



お知らせ

- 液晶ディスプレイに電話番号が表示されるのは、発信者番号通知機能のあるINSネット64、携帯電話機、PHS対応電話機からの着信です。一般の電話回線からの電話番号を表示するためには、INSナンバー・ディスプレイを契約する必要があります。



ワンポイント

● ファックスに転送するには（内線転送）（☞P2-10）

相手がファックスのときは、ハンドセットを取りあげると「ポー・ポー」という音が聞こえます。もう一方のアナログポートにファックスを接続している場合は、次の操作でファックスを受信することができます。

フッキングする→**＊****＊****①**を押す→ハンドセットを置く

● 着信音で相手を識別するには（INSなりわけサービス／疑似なりわけ）

あらかじめ登録した相手からの着信は、通常と異なる着信音を鳴らすことができます。（☞P2-20）

● 着信音が鳴る電話機を指定するには（優先着信ポート指定）

着信音を鳴らす電話機のアナログポートを指定することができます。（☞P2-14）

● 電話がかかってきたときにメロディで知らせるには（☞P2-12）

● バックライトの設定を行うには

液晶ディスプレイのバックライトの表示を「自動」「常時ON」「常時OFF」のいずれかに設定することができます。お買い求め時は「自動」に設定されているため、電話がかかってきたとき、自動的にバックライトが点灯します。

PCで設定（全体設定画面「バックライトモードの設定」）（☞P6-31）

● アドレス帳に電話番号を登録するには

アドレス帳に相手の名前、電話番号を登録しておくと、電話がかかってきたときに名前を表示することができます。（☞P4-22）

● 着信を拒否するには

着信拒否を「する」に設定すると、発信専用でご利用になれます。アナログポートごとに設定できます。

TELで設定（機能番号：16）（☞P2-86）

PCで設定（TEL1ポート設定画面・TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☞P6-14）

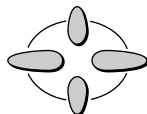
着信拒否を設定していても、「110」、「118」、「119」からの着信、内線からの呼び出しを受けることができます。また、TEL2ポートの着信拒否を設定していても、FAX自動転送（☞P2-38）は着信します。

着信履歴を確認するには

前にかかってきた相手の電話番号を本商品の液晶ディスプレイで確認することができます。アドレス帳に登録している相手からかかってきた場合は、名前を確認できます。着信履歴は、10件まで表示することができます。

- 1 本商品の方向ボタンの上、下、左、右、のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: タウンロード履歴

- 2 「1: アナログ着信履歴」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

最新の着信履歴が表示されます。

電話番号が16桁以上のときは、方向ボタンの右を押すと続きが表示されます。元の表示に戻すときは方向ボタンの左を押します。

①
3/10 20:05
0312345678

- 3 1つ前の着信履歴を表示するには、方向ボタンの下を押す。

方向ボタンの下または上を押して他の履歴を見ることができます。

下: 前の履歴を表示する

上: 後の履歴を表示する

②
3/ 3 5:13
0312341111

- 4 終了するときには、戻るボタンを押す。

メニュー画面に戻ります。

戻る





ワンポイント

- 記憶された電話番号が10件を超えたときは
一番古いものから順に消去されます。
- 操作を中止するには
戻るボタンを押すと、操作を中止して1つ前の画面に戻ります。
- 着信履歴を消去するには
手順2で方向ボタンの上または下を押して、「全履歴クリア」を選択し、決定ボタンを押します。方向ボタンの上または下を押して「履歴を消去する」を選択し、決定ボタンを押すと、着信履歴がすべて消去されます。
- 着信履歴がないときは
「履歴がありません」と表示されます。
- アドレス帳に電話番号を登録するには
アドレス帳に相手の名前、電話番号を登録しておくと、着信履歴に名前を表示することができます。(➡P4-22)
- 電話番号が通知されない着信があったときは
相手が電話番号を通知しないようにしているときや、公衆電話からかけているとき、番号を通知できない地域などからかけているときは、非通知理由が表示されます。(➡P2-45)



お知らせ

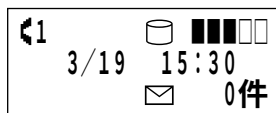
- 表示中に約60秒間ボタンを押さないときは、自動的に表示を終了します。
- 蓄積される10件には「非通知」などの着信(➡P2-45)も含まれますが、これらにダイヤルすることはできません。
- アナログポートごとに着信履歴を表示することはできません。
- 本商品の電源を切ると、着信履歴はすべて消去されます。
- 着信履歴に電話番号が記憶されるのは、発信者番号通知機能のあるINSネット64、携帯電話機、PHS対応電話機からの着信です。一般の電話回線からの電話番号を記憶するためには、INSナンバー・ディスプレイを契約する必要があります。

内線でお話するには（内線通話）

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、内線でお話することができます。本商品をINSネット64回線に接続していない場合、話中音が聞こえます。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
INSネット64回線に接続していない場合は、話中音が聞こえます。

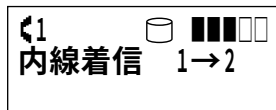


2 フッキングする。

「プッププッ…」という音が聞こえます。
20秒以内に手順3の操作を行ってください。
20秒過ぎると、話中音が聞こえます。

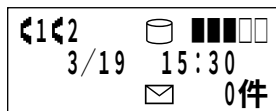
3 ＊＊①を押す。

「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえます。

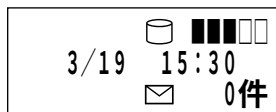


※TEL1ポートからTEL2ポートを呼び出したとき

4 呼び出された方が出たら、お話しする。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。





ワンポイント

● フッキングとは

電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

フックスイッチ



● フッキングの長さを設定するには（フッキング検出タイマ）

フッキングの長さを「短い」、「普通」、「長い」のいずれかに設定することができます。お買い求め時は「普通」に設定されています。

TELで設定（機能番号：73）（☞P2-80）

PCで設定（TEL1・2共通設定画面「その他」）（☞P6-21）

● 内線の呼出音を変えるには（内線呼出信号設定）

お買い求め時は「ブルブル、ブルブル…」（呼出信号2）に設定されています。「ブルルル、ブルルル…」（呼出信号1）に変更することができます。

TELで設定（機能番号：15）（☞P2-86）

PCで設定（TEL1設定画面／TEL2ポート設定画面「その他」）（☞P6-17）

● 内線でお話中に電話がかかってきたときは

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンをご利用になると、かかってきた電話に出ることができます。（☞P2-15）

● 内線機能を停止するには

内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への発信を停止することができます。

TELで設定（機能番号：64）（☞P2-80）

PCで設定（TEL1・2共通設定画面「その他」）（☞P6-21）



お知らせ

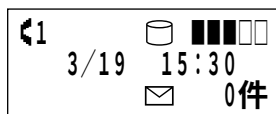
- 手順3で（※）（※）（○）以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をお使いの場合は、呼出音が鳴るまでにしばらく時間がかかることがあります。

外からの電話を取りつぐには (内線転送)

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、外の方とお話し中に、もう一方の電話機に転送することができます。

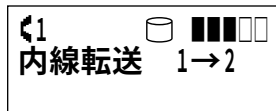
1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブップブップ…」という音が聞こえます。
この段階では外の相手には何も聞こえません。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒過ぎると、外の相手との通話に戻ります。



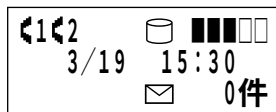
2 ※※①を押す。

「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえます。
外の相手には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が聞こえます。



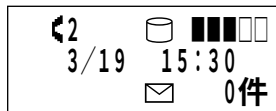
※TEL1ポートからTEL2ポートを呼び出したとき

3 呼び出された方が応答したら、転送することを伝える。



4 ハンドセットを置く。

外の相手と転送先が通話できます。



1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送／録音／メッセージ

7
電話機からの設定



ワンポイント

- フッキングとは (←P2-9)
- 内線の呼出音を変えるには (内線呼出信号設定) (←P2-9)
- 内線機能を停止するには
内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への転送を停止することができます。
TELで設定 (機能番号：64) (←P2-80)
PCで設定 (TEL1・2共通設定画面「その他」) (←P6-21)
- 転送を取りやめるには
手順1でフッキングしてからハンドセットを置きます。着信音が鳴ってからハンドセットを取りあげると、保留にしていた方もう一度お話しできます。
- 相手が応答しなかったときは
フッキングすると、外の相手とのお話しに戻ることができます。
- 相手が応答する前に転送するには
手順2の呼出中にハンドセットを置くくと相手が応答する前に転送することができます。



お知らせ

- 手順2で (※) (※) (○) 以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- 内線でお話ししないでハンドセットを置いた場合は、呼び出された方が応答しないと約30秒後に電話が切れます。

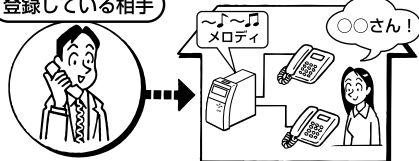
電話がかかってきたときに メロディで知らせるには



電話がかかってきたときに、本商品でメロディを鳴らすことができます。あらかじめ登録した電話番号からかかってきたときに指定したメロディを鳴らしたり、アナログポートごとに別々のメロディを鳴らすことができます。メロディ5曲、効果音5種類から選択できます。

登録した電話番号からかかってきたとき

登録している相手



指定したアナログポートにかかってきたとき



● 必要な設定

アナログ着信のメロディ設定が必要です。

・ 特定の電話番号からかかってきたときにメロディを鳴らす場合 (←P6-54)

「メロディ設定」の「TELポート着信番号一致」で、電話番号の登録、鳴動の設定、曲選択の設定が必要です。

機 能	PCで設定 (←P6-32)	設定内容
メロディ設定	全体設定画面「メロディ設定」	電話番号を入力する (最大5件) 「鳴動する」を選択する 曲を選択する

・ 指定したアナログポートに電話がかかってきたときにメロディを鳴らす場合 (←P6-52)

「メロディ設定」の「TELポート着信 (ポート1)」または「TELポート着信 (ポート2)」で、鳴動の設定、曲選択の設定が必要です。

機 能	PCで設定 (←P6-32)	設定内容
メロディ設定	全体設定画面「メロディ設定」	「鳴動する」を選択する 曲を選択する

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定



ワンポイント

- メロディ音量を設定するには (←P6-48)
- メロディを確認するには (←P6-49)
- メロディを停止するには

本商品の任意の操作ボタンを押すと、メロディを停止させることができます。



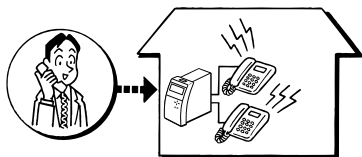
お知らせ

- アナログポートごとにメロディを設定している場合、同時に2つの着信があったときは、先に着信した方のアナログポートのメロディが鳴ります。後から着信した方は、メロディは鳴りません。

着信音が鳴る電話機を指定するには (優先着信ポート指定) 設定

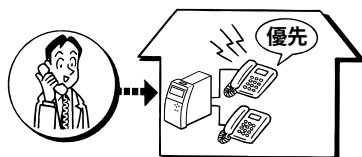
2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合、お買い求め時の設定では電話がかかってくると、両方の電話機を呼び出します。優先着信ポートを指定すると、一方のアナログポートを優先的に呼び出すことができます。

お買い求め時の設定では



両方のアナログポートの電話機を呼び出す

優先着信ポートを指定すると



指定したアナログポートの電話機を呼び出す

● 必要な設定

優先的に着信させるアナログポートを指定します。

機能	TELで設定 (⇐P2-80)	PCで設定 (⇐P6-21)	設定内容
優先着信ポート指定	機能番号:62	TEL1・2共通設定画面 「その他」	「TEL1ポート」または「TEL2ポート」を選択する 「TEL1ポート」: TEL1ポートを優先的に呼び出す 「TEL2ポート」: TEL2ポートを優先的に呼び出す 「指定しない」: TEL1ポートとTEL2ポートを呼び出す



ワンポイント

● INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン (⇐P2-15) を利用しているときは

キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INSキャッチホン／疑似キャッチホン)

外の方とお話し中に電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、あとからかかってきた電話に出ることができます。

INSキャッチホンと疑似キャッチホンの2つの方法があります。

INSキャッチホン



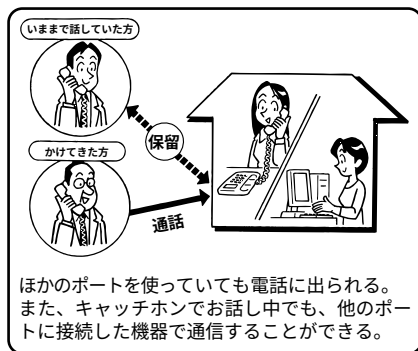
お話し中で、かつほかのポートを使用中でも、かかってきた電話に出ることができます。

● 必要な契約

INSキャッチホンの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

INSキャッチホンをご利用になるアナログポートごとにキャッチホンの設定が必要です。



INSキャッチホンを設定する

TELで設定 (☞P2-84)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→＊＊＊→設定するTELポートの番号（①または②）→①②→＊→②→㊦→ハンドセットを置く

PCで設定 (☞P6-15)

1 ホームページを表示する。(☞P3-2)

2 メニューの[詳細設定]をクリックする。

3 [TEL1ポート設定] または [TEL2ポート設定] の [キャッチホン・番号通知] をクリックする。

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送／メッセージ

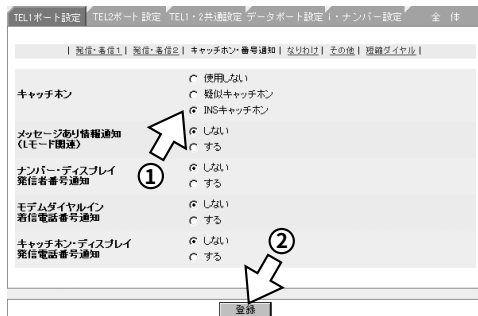
7 電話機からの設定

(次ページへ続きます)

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INSキャッチホン／疑似キャッチホン)

(前ページの続きです)

4 [INSキャッチホン] をクリックし、[登録] をクリックする。



5 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックする。

ホームページに戻るときは [ホーム] アイコンをクリックします。

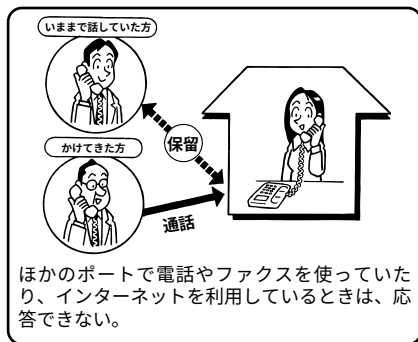
疑似キャッチホン

設定

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができません。

● 必要な設定

疑似キャッチホンをご利用になるアナログポートごとにキャッチホンの設定が必要です。



疑似キャッチホンを設定する

TELで設定 (☞P2-84)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取り上げる→**＊＊＊**→設定するTELポートの番号（①または②）→**①②**→**＊**→**①**→**＃**→ハンドセットを置く

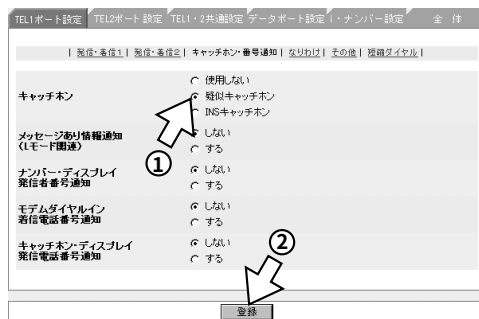
PCで設定 (☞P6-15)

1 ホームページを表示する。(☞P3-2)

2 メニューの[詳細設定]をクリックする。

3 [TEL1ポート設定] または [TEL2ポート設定] の [キャッチホン・番号通知] をクリックする。

4 [疑似キャッチホン] をクリックし、[登録] をクリックする。



5 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックする。
ホームページに戻るときは [ホーム] アイコンをクリックします。

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INSキャッチホン／疑似キャッチホン)

お話し中にかかってきた電話に出る

INSキャッチホン、疑似キャッチホンに共通の操作です。

- 1 外の相手とお話し中に「プップッ、プップッ…」という着信音が聞こえる。



- 2 相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

あとからかけてきた方に切り替わります。



- 3 あとからかけてきた方とお話する。

疑似キャッチホンの場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。

INSキャッチホンの場合、最初に話していた方には保留メロディが流れます。



- 4 最初に話していた方とお話するには、もう一度フッキングする。



ワンポイント

● フッキングとは (➡P2-9)

● 両方のアナログポートに電話機を接続しているときは

キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。(➡P2-14)

● INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン中にハンドセットを置くと

着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とお話ができます。

● 特定の相手からの着信のみキャッチホンを可能にするには (通信中着信識別通知)

通信中着信識別通知を利用すると、登録されている相手からの着信のみ、通話中に電話がかかってきたことを知らせるようにすることができます。(➡P2-23)



お知らせ

- 次の場合は、INSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。
 - ・ 接続機器の設定が「ファクス」になっているとき (➡P2-65)
 - ・ 相手側の接続機器の設定が「ファクス」になっているとき
- FAX自動転送を「する」に設定しているときは、TEL2ポートではINSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。(➡P2-38)
- 他のアナログポートでフレックスホン (➡P20) のいずれかを利用しているときは、INSキャッチホンをご利用になれません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 三者通話と通信中転送の設定のいずれかが「使用する」のときは、手順4でフッキングすると「ブップブッ…」という音が聞こえたあと、最初に話していた方とお話ができます。
- 通信中着信通知サービスを契約していて、両方のアナログポートにINSキャッチホンを設定している場合、両方のアナログポートに接続した電話機でお話中に電話がかかってきたときは、TEL1ポートに接続した電話機から「ブップ、ブップ…」という着信音が聞こえます。
- 疑似キャッチホンのご利用には、INSネット64の付加サービス契約は必要ありません。
- 疑似キャッチホンはBチャンネル2本を使用するため、以下の制限があります。
 - ・ 2つのアナログポートで同時に利用できません。
 - ・ Bチャンネル2本を同時に使用しているときは利用できません。
 - ・ お話中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。
 - ・ 新たな着信があった場合、フッキングしても応答できません。

特定の相手からかかってきた電話を識別するには (INSなりわけサービス/疑似なりわけ)

あらかじめ登録した電話番号からの電話は、電話機の着信音を変えてお知らせします。登録していない電話番号からの電話は、通常の着信音を鳴らすか、受け付けられないようにするかを選択できます。

なりわけには、INSなりわけサービスと疑似なりわけの2つの方法があります。



INSなりわけサービス



相手が通知してきた発信者番号を、当社の交換機に登録された電話番号リストと照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。すべての着信が識別されます。

● 必要な契約

INSなりわけサービスの契約（有料）が必要です。識別する電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。契約者回線番号および追加番号ごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

● 必要な設定

INSなりわけサービスを利用するアナログポートごとに、INSなりわけの設定、なりわけ動作の選択が必要です。

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSなりわけサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
INSなりわけ	機能番号：05 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞P6-16)	「する」を選択する
なりわけ動作 設定	機能番号：07 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞P6-16)	次のどちらかを選択する 「識別リングング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない
発信者番号 （i・ナンバー、 ダイヤルイン、 代表取扱サー ビスを契約さ れている場合 のみ）	機能番号：20 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞P6-12)	INSなりわけサービスを契約している電話 番号（最大32桁）を入力する



ワンポイント

● INSなりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには

INSなりわけサービスを契約し、INSなりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INSなりわけサービスは1つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大10件、疑似なりわけは1つのアナログポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大30件なりわけられます。



お知らせ

- INSなりわけサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。



お願い

- i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSなりわけサービスを契約した電話番号を必ず発信者番号に設定してください。

疑似なりわけ



相手が通知してきた発信者番号を疑似なりわけ番号と照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。

● 必要な契約

一般の電話回線からの電話を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

疑似なりわけを利用するアナログポートごとに、疑似なりわけの設定、なりわけ動作の選択、疑似なりわけ番号の登録が必要です。

アナログポートごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ	機能番号：06 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞P6-16)	「する」を選択する
なりわけ動作 設定	機能番号：07 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞P6-16)	次のどちらかを選択する 「識別リングング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の 着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け 付けない

（次ページへ続きます）

特定の相手からかかってきた電話を識別するには (INSなりわけサービス／疑似なりわけ)

(前ページの続きです)

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ番号	機能番号: 90～99 (☞P2-90)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞P6-16)	識別する電話番号（最大32桁）を市外局 番から入力する サブアドレス（最大19桁）も登録できる



ワンポイント

● 相手が発信者番号を通知しないでかけてきたときは

疑似なりわけを設定していても、電話番号の識別はできません。なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リングング	セキュリティ（着信拒否）
通常の着信音が鳴る（ブルブル、ブルブル…）	電話を受け付けない

● INSなりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには

INSなりわけサービスを契約し、INSなりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INSなりわけサービスは、1つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大10件、疑似なりわけは、1つのポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大30件なりわけられます。



お知らせ

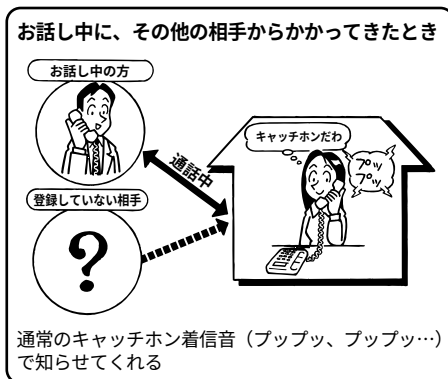
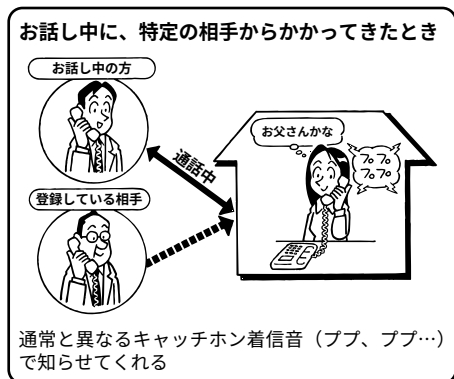
- 「110」、「118」、「119」を疑似なりわけ番号として登録しても、設定は無効になります。着信音を変えたり、着信を拒否することはできません。
- アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。
- 疑似なりわけ番号にサブアドレスを登録したときは、疑似なりわけ番号と、INSネット64から送られてくる発信者番号／サブアドレスが一致すると識別されます。

お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには（通信中着信識別通知）



なりわけ（INSなりわけサービスまたは疑似なりわけ）と、キャッチホン（INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン）の機能を組み合わせて利用することができます。

外線または内線でお話し中に、あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたとき、通常とは異なるキャッチホン着信音（プブ、プブ…）でお知らせします。



● 必要な契約

INSなりわけサービスとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約（有料）が必要です。

INSなりわけサービスと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INSなりわけサービスの契約（有料）が必要です。

疑似なりわけとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、INSキャッチホンの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

「なりわけ」と「キャッチホン」の設定を行います。なりわけ動作の設定は「識別リングング」を選択してください。

INSキャッチホン／疑似キャッチホン（☞P2-15、2-16）

INSなりわけサービス／疑似なりわけ（☞P2-20、2-21）

TELで設定（☞P2-84）

PCで設定（☞P6-15、6-16）



ワンポイント

● お話し中に、登録していない相手から電話がかかってきたときは

なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リングング	セキュリティ（着信拒否）
通常のキャッチホンでお知らせする（プップツ、プップツ…）	電話を受け付けない

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送／メッセージ

7 電話機からの設定

3人でお話しするには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

外の相手とお話し中に、お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しすることができます。

フレックスホンの三者通話、疑似三者通話の2つの方法があります。

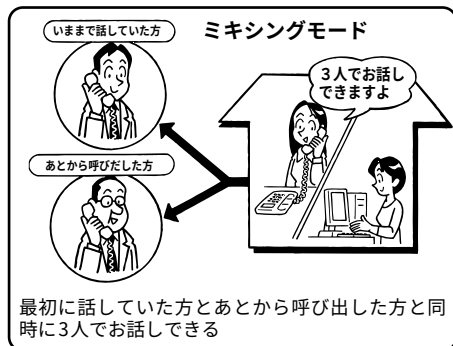
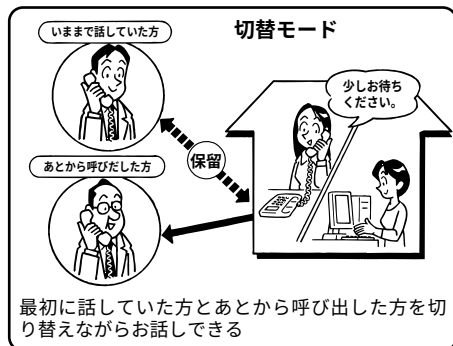
フレックスホン三者通話 (切替モード／ミキシングモード)



設定

お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しできます。ほかのポートを使用中でも、三者通話ができます。

最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、同時に3人でお話しする「ミキシングモード」があります。



● 必要な契約

フレックスホンの三者通話機能の契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

三者通話の設定が必要です。

機 能	TELで設定 (P2-78)	PCで設定 (P6-19)	設定内容
三者通話	機能番号: 50	TEL1・2共通設定画面 「三者通話・通信中転送」	「三者通話する」を選択する

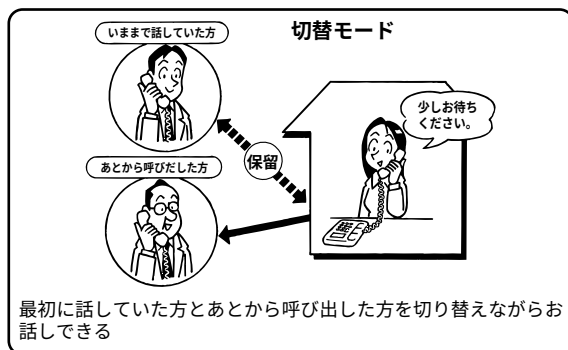
疑似三者通話（切替モード）

設定

お話を保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話できます。Bチャンネルが1本空いているときに三者通話ができます。

最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しします。（切替モード）

3人同時にお話すること（ミキシングモード）はできません。



● 必要な設定

疑似三者通話の設定が必要です。

機 能	TELで設定 (←P2-78)	PCで設定 (←P6-19)	設定内容
三者通話	機能番号：50	TEL1・2共通設定画面 「三者通話・通信中転送」	「疑似三者通話する」を選択する

(次ページへ続きます)

3人でお話するには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

(前ページの続きです)

相手を切り替えてお話する (切替モード)

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブップブップ…」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。(ダイヤル桁間タイム)
電話番号のあとに **Ⓜ** ボタンを押すと、すぐに発信します。(ダイヤル終了識別)



3 相手が出たら、お話しする。



4 お話する相手を切り替えるには、フッキングする。

「ブップブップ…」という発信音が聞こえたあと、約4秒後に別の相手に切り替わります。(話者切替タイム)

5 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



3人で同時にお話する（ミキシングモード）

※疑似三者通話の場合、ご利用になれません。

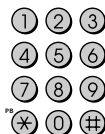
1 お話中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ププププッ…」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話
しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。
(ダイヤル桁間タイム)
電話番号のあとに **(Ⓜ)** ボタンを押すと、すぐに
発信します。(ダイヤル終了識別)



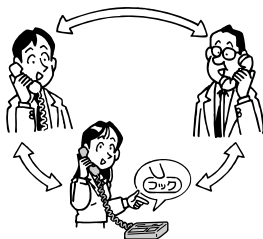
3 相手が出たら、三者通話にすることを伝え、フッキングする。

「ププププッ…」という発信音が聞こえます。
約4秒以内に手順4の操作を行ってください。約
4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話
しに戻ります。(話者切替タイム)



4 1回フッキングする。

最初に話していた方とつながり、3人でお話
できます。
お話中に一方が電話を切っても、もう一方と
の通話は継続できます。



5 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



(次ページへ続きます)

3人でお話しするには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

(前ページの続きです)



ワンポイント

- 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）
お買い求め時は4秒に設定されています。
TELで設定（機能番号：74）（←P2-80）
PCで設定（TEL1・2共通設定画面「その他」）（←P6-21）
- ㊦ ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）
お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを㊦ ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「＃＃で識別する」に設定を変更してください。
TELで設定（機能番号：75）（←P2-82）
PCで設定（TEL1・2共通設定画面「その他」）（←P6-21）
- フッキングとは（←P2-9）
- 相手を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイマ）
お買い求め時は4秒に設定されています。
TELで設定（機能番号：72）（←P2-80）
PCで設定（TEL1・2共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（←P6-19）
- 三者通話のモードを変えるには
フレックスホンの三者通話をご利用の場合は、次の操作でモードを変えることができます。
 - ・切替モードからミキシングモードへ
1対1でお話し中にフッキングして、「プッププッ…」という音が聞こえたら、もう一度フッキングします。
 - ・ミキシングモードから切替モードへ
3人でお話し中にフッキングします。「プッププッ…」という音が聞こえたあと、前の相手の方に切り替わります。
- 三者通話（切替モード）中にハンドセットを置くと
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とお話できます。



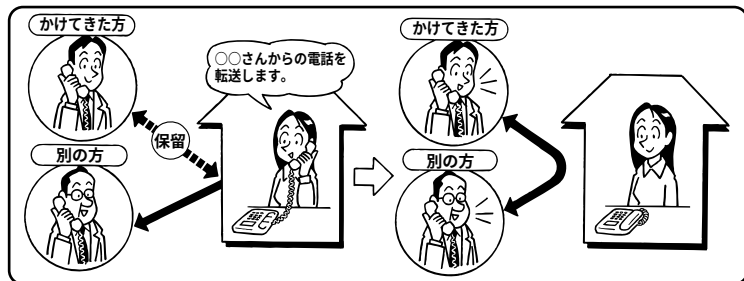
お知らせ

- 三者通話の料金は、それぞれの発信を行った方に通話料金がかかります。
- 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（←P20）の三者通話をご利用になれません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等お問い合わせください。
- 三者通話（ミキシングモード）中にハンドセットを置くと、両方の相手との電話が切れます。
- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- ミキシングモードから切替モードにするためにフッキングすると、「プッププッ…」という音が聞こえます。このとき、ハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげるとミキシングモードに戻りますが、フレックスホンの三者通話をご利用の場合に、通信中転送（←P2-29）の設定が「使用する」になっているときは、電話が転送されます。

お話し中の電話を別の電話番号 へ転送するには（通信中転送）



外の相手からかかってきた電話を保留にして、別の電話番号へ転送することができます。
あとから呼び出した方が応答する前に転送する方法、応答してから転送する方法があります。



● 必要な契約

フレックスホンの通信中転送（有料）の契約が必要です。

● 必要な設定

通信中転送の設定が必要です。

機 能	TELで設定 (←P2-78)	PCで設定 (←P6-19)	設定内容
通信中転送	機能番号：51	TEL1・2共通設定画面 「三者通話・通信中転送」	「使用する」を選択する

お話し中に転送する

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「プッププッ…」という発音音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とお話しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとにⓂ ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）
呼び出した方とお話ししないで転送する場合は、「ブルルル、ブルルル…」という呼出音が聞こえている間に、ハンドセットを置きます。



（次ページへ続きます）

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろ
な使いかた

3 ファックスのいろいろ
な使いかた

4 発信者番号の
通知と表示

5 電話やファックス
の呼び分け

6 転送／メッセージ
録音

7 電話機からの
設定



（前ページの続きです）

3 相手が出たら、転送することを伝え、フッキングする。

「ブップブッ…」という発信音が聞こえます。
4秒以内に手順4の操作を行ってください。4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。（話者切替タイマ）



4 ハンドセットを置く。

転送が完了しました。



ワンポイント

● 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定（機能番号：74）（←P2-80）

PCで設定（TEL1・2共通設定画面「その他」）（←P6-21）

● ㊤ ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを㊤ ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「＃＃で識別する」に設定を変更してください。

TELで設定（機能番号：75）（←P2-82）

PCで設定（TEL1・2共通設定画面「その他」）（←P6-21）

● フッキングとは（←P2-9）

● 相手を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定（機能番号：72）（←P2-80）

PCで設定（TEL1・2共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（←P6-19）

● 通信中転送を中止するには

ハンドセットを置きます。着信音が鳴るので、もう一度ハンドセットを取りあげると、最初に話していた方とお話できます。



お知らせ

- 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（←P20）の通信中転送をご利用になれません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- こちらからかけた電話を転送することはできません。
- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。

短縮ダイヤルで電話をかけるには (短縮ダイヤル)

設定

よくかける電話番号を短縮ダイヤルに登録すると、アナログポートに接続した電話機で簡単に電話をかけることができます。短縮ダイヤルは、アナログポートごとに10件まで登録できます。

● 必要な設定

アナログポートごとに短縮ダイヤルの登録が必要です。

機 能	TELで設定 (P2-90)	PCで設定 (P6-18)	設定内容
短縮ダイヤル	機能番号: 40～49	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「短縮ダイヤル」	登録する電話番号（最大32桁）を入力する サブアドレス（最大19桁）も登録できる

短縮ダイヤルで電話をかける

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、話中音が聞こえます。

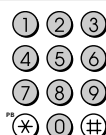


2 ＊ボタンを押す。



3 短縮番号（①～⑨）を押す。

登録した電話番号にダイヤルされます。



4 相手が出たら、お話しする。

ファックスの場合は、送信操作を行います。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



お知らせ

- 電話番号を登録していない短縮番号や、①～⑨以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送／メッセージ録音

7 電話機からの設定

ハンドセットを取りあげるだけで特定の相手に電話をかけるには（ホットライン）



アナログポートに接続した電話機のハンドセットを取りあげるだけで、あらかじめ登録した電話番号へ電話をかけることができます。

● 必要な設定

アナログポートごとにホットラインの設定、ホットライン番号の登録が必要です。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ホットライン	機能番号：27 (☞P2-88)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信2」 (☞P6-14)	「する」を選択する
ホットライン 番号	機能番号：28 (☞P2-90)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信2」 (☞P6-14)	登録する電話番号（最大32桁）を入力する サブアドレス（最大19桁）も登録できる

ホットラインで電話をかける

1 ハンドセットを取りあげる。

あらかじめ登録した電話番号に自動的にダイヤルします。



2 相手が出たら、お話しする。

ファクスの場合は、送信操作を行います。



3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのい
ろんな使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファク
スの呼び分け

6
転送／メッセ
ージ録音

7
電話機から
の設定



ワンポイント

● ホットラインを解除するには

ホットラインを設定していないアナログポートに接続した電話機で解除してください。または、ブラウザのホームページから解除してください。



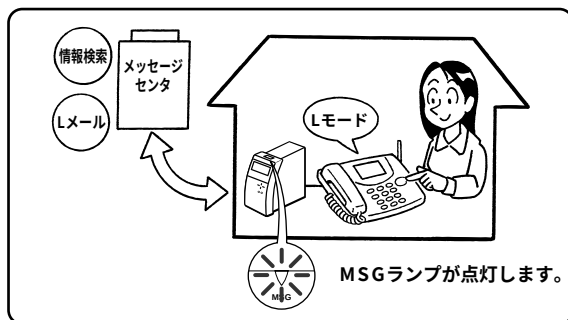
お知らせ

- Bチャンネルを2本とも使用しているときは、ホットラインは使用できません。
- ホットラインを「する」に設定すると、登録した番号以外への外線発信および内線発信はできません。ただし、相手が出る前にフッキングを行うと発信音が聞こえ、登録した番号以外での外線発信などが行えるようになります。
- 128KマルチリンクPPP通信（←CD-ROM「参考情報」）で2本のBチャンネルを使用中でも、リソースBOD（←CD-ROM「参考情報」）を設定しているときは、ホットラインで電話をかけることができます。

Lモードを利用するには



本商品は、Lモードに対応した電話機を接続してご利用になれます。Lメールがメッセージセンタに届いたときに、Lモード対応アナログ通信機器のディスプレイに表示させたり、本商品のMSGランプを点灯させたりすることができます。



● 必要な契約

Lモードの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。

また、Lモードをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

Lモードに対応したアナログ通信機器が必要です。

・ 本商品のMSGランプを点灯させる場合

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定 (Lモード関連)	機能番号：76 (☞P2-82)	TEL1・2共通設定画面 「メッセージ表示（Lモード関連）」 (☞P6-22)	「メッセージあり状態表示をする」を選択する
発信者番号	機能番号：20 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞P6-12)	Lモードを契約した電話番号を入力する

・アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器の設定が必要です。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	機能番号:09 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞P6-15)	「する」を選択する
発信者番号	機能番号:20 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞P6-12)	Lモードを契約した電話番号を入力する
接続機器 (☞P2-65)	機能番号:01 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信2」 (☞P6-14)	「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」を選択する



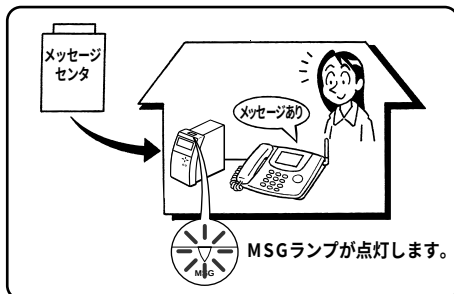
お知らせ

- メッセージあり情報通知を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- S/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- Lモードを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。
- MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- Lモードで使用するメッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン(☞P2-60)を同時に利用することはできません。
- MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSGランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- Lモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- Lモードについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには



本商品では、INSネット64のINSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になります。メッセージがメッセージセンタに届いたときに、本商品のMSGランプを点灯させたり、INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に表示させることができます。



● 必要な契約

INSメッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。また、INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

・ 本商品のMSGランプを点灯させる場合

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定 (Lモード関連)	機能番号：76 (☞P2-82)	TEL1・2共通設定画面 「メッセージ表示（Lモード関連）」(☞P6-22)	「メッセージあり状態表示をする」を選択する
発信者番号	機能番号：20 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞P6-12)	INSメッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する

・ アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定が必要です。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	機能番号：09 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞P6-15)	「する」を選択する
発信者番号	機能番号：20 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞P6-12)	INSメッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのい
ろんな使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファクス
の呼び分け

6
録音／メッセ
ージ

7
電話機からの
設定



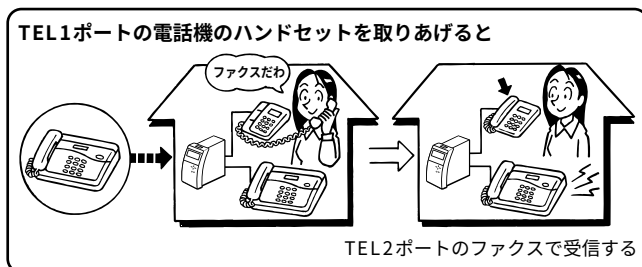
お知らせ

- メッセージあり情報通知を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- S/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- INSメッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。
- MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- メッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン（☎P2-60）を同時に利用することはできません。
- MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSGランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- INSメッセージ到着お知らせサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ファクスを自動転送するには (FAX自動転送)



TEL1ポートに電話機、TEL2ポートにファクスを接続している場合は、相手がファクスのとき、電話機のハンドセットを取りあげると、自動的にファクスに転送することができます。



● 必要な設定

電話機をTEL1ポート、ファクスをTEL2ポートに接続します。
FAX自動転送の設定が必要です。

機 能	TELで設定 (P2-80)	PCで設定 (P6-21)	設定内容
FAX自動転送	機能番号: 65	TEL1・2共通設定画面 「その他」	「する」を選択する

電話機からファクスへ自動転送する

1 電話機の着信音が鳴る。



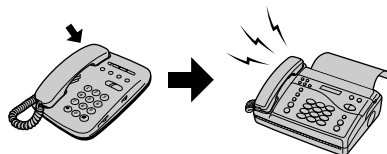
2 ハンドセットを取りあげる。

相手がファクスのときは、「ポーポー…」という音が聞こえ、TEL2ポートのファクスへ自動転送されます。



3 「プープー…」という話中音が聞こえたら、ハンドセットを置く。

ファクスの着信音が鳴ったあと、ファクスを受信します。





ワンポイント

● ファックスの着信音を鳴らさずに受信するには

TEL2ポートのFAX無鳴動着信を「する」に設定すると、着信音を鳴らさずにファックスを受信することができます。(☞P2-40)



お知らせ

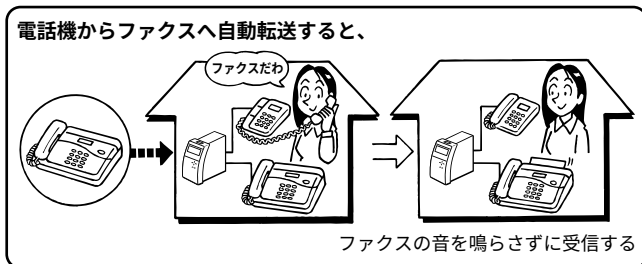
- TEL1ポートにファックス、TEL2ポートに電話機を接続した場合、ファックスの自動転送はできません。
- TEL2ポートが使用中の場合、またはTEL1ポートでお話中にキャッチホンで応答した場合は、自動転送されません。
- 「ブーブー…」という話中音が聞こえる前にハンドセットを置くと、自動転送されないことがあります。
- TEL2ポートに接続したファックスが約30秒間応答しないと、自動転送を中止して、通信を切断します。このとき、相手には通話料金がかかります。
- TEL2ポートのファックスに自動転送した場合は、転送先のファックスにはナンバー・ディスプレイの発信者番号およびモデムダイヤルインの着信番号は通知されません。
- FAX自動転送を「する」に設定すると、TEL2ポートでは通信中着信通知は行われません。
- 相手がファックス以外でも、相手先の音声の状態により、まれに自動転送されることがあります。
- 相手からファックス信号が送られていても、まれに自動転送されないことがあります。この場合は、内線転送による手動転送を行ってください。(☞P2-10)

着信音を鳴らさずにファクスを受信 するには (FAX無鳴動着信)



無鳴動信号1300 Hz対応のファクスをお使いの場合は、ファクスの着信音を鳴らさずに自動受信することができます。

この機能をご利用になるには、FAX自動転送または接続機器の設定が必要です。



● 必要な設定

アナログポートごとにFAX無鳴動着信の設定が必要です。

無鳴動信号1300 Hzを受信できるファクスが必要です。詳しくはファクスの取扱説明書でご確認ください。

FAX無鳴動着信は、次の場合にご利用になれます。

- FAX自動転送 (←P2-38) を設定し、TEL2ポートのファクスに自動転送したとき
FAX無鳴動着信、FAX自動転送の設定が必要です。
- 接続機器の設定を「ファクス」、「電話機1」または「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」に設定し (←P2-65)、接続機器の設定を「ファクス」に設定した通信機器から着信したとき
FAX無鳴動着信、接続機器の設定が必要です。

■ 設定例

TEL1ポートに電話機、TEL2ポートに無鳴動信号1300 Hz対応のファクスを接続し、ファクスの着信音を鳴らさずに自動転送する場合

FAX自動転送の設定を行います。(←P2-38)

TEL2ポートにFAX無鳴動着信の設定が必要です。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
FAX無鳴動着信	機能番号：29 (←P2-90)	TEL2ポート設定画面 「その他」(←P6-17)	「する」を選択する
FAX自動転送	機能番号：65 (←P2-80)	TEL1・2共通設定画面 「その他」(←P6-21)	「する」を選択する



お知らせ

- 次のような場合は、接続機器の設定によってFAX無鳴動着信を利用することはできません。FAX自動転送によってご利用になることはできません。

- 相手が一般の電話回線からファクスを送信したとき
- 相手の接続機器の設定が「電話機1」、「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」、「電話機2」のとき
- 本商品の接続機器の設定が「電話機2」のとき

発信者番号の通知について



発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。INSネット64のご契約者間、一般の電話回線のナンバー・ディスプレイご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機との通信でご利用になれます。

■ 通知される電話番号

通常は、契約者回線番号が通知されます。

サブアドレスを設定している場合は、サブアドレスも通知されます。（←P2-64）

i・ナンバーやダイヤルインをご利用の場合など、発信者番号を設定しているときはその番号が通知されます。（←P6-29、6-12）

■ 電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、INSネット64ご契約時の内容、本商品の発信者番号通知の設定、発信時のダイヤル操作の組み合わせで決まります。

● INSネット64ご契約時の内容

INSネット64のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

● 発信者番号通知の設定

ポートごとに「発信者番号通知する」、「発信者番号通知しない」、「INSネット64申込内容に従う」を設定することができます。お買い求め時は、各ポートとも「INSネット64申込内容に従う」に設定されています。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	本商品の設定	ダイヤル操作		
		相手番号 (通常の操作)	184+相手番号	186+相手番号
通常通知 (通話ごと非通知)	発信者番号通知する	○	×	○
	発信者番号通知しない	×	×	○
	INSネット64申込内容に従う	○	×	○
通常非通知 (回線ごと非通知)	発信者番号通知する	○	×	○
	発信者番号通知しない	×	×	○
	INSネット64申込内容に従う	×	×	○

○：通知する

×：通知しない

(次ページへ続きます)

1
すぐに使えます

2
電話の
いろいろ
な使
いの
かた
を
い
ろ
ろ

3
フ
ァ
ク
ス
の
い
ろ
ろ
な
使
い
か
た

4
発
信
者
番
号
の
通
知
と
表
示

5
電
話
や
フ
ァ
ク
ス
の
呼
び
分
け

6
録
音
／
メ
ッ
セ
ー
ジ

7
電
話
機
か
ら
の
設
定

(前ページの続きです)

● 設定の変更

ポートごとに、発信者番号通知の設定を変更することができます。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号通知	機能番号：21 (☞P2-88)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞P6-12) データポート設定画面 「発信・着信」(☞P6-23)	次のいずれかを選択する 「発信者番号通知する」：発信者番号を通知する 「発信者番号通知しない」：発信者番号を通知しない 「INSネット申込内容に従う」：INSネット64の契約時の内容（「通常通知」または「通常非通知」）に従って通知する



お知らせ

- 発信者番号通知を「発信者番号通知する」または「発信者番号通知しない」に設定し、i・ナンバー(☞P2-50)を「使用する」に設定した場合は、必ず発信者番号を正しく設定してください。

TELで設定 (機能番号：20) (☞P2-86)

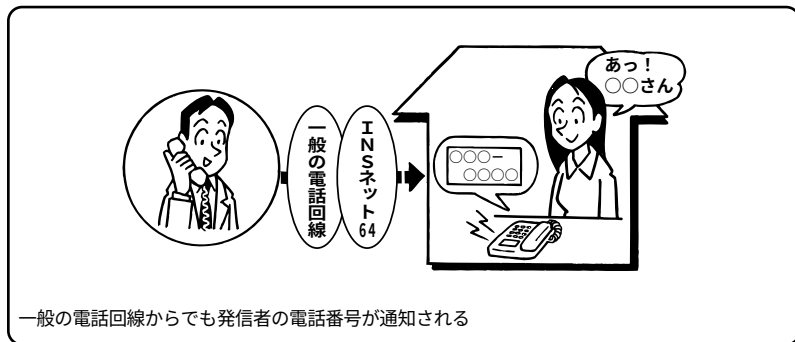
PCで設定 (TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☞P6-12)、データポート設定画面「発信・着信」(☞P6-23))

- 発信者番号の設定をしなかったり、間違えて設定した場合は、契約者回線番号が通知されます。ただし、i・ナンバー(☞P2-50)を「使用する」に設定した場合は、発信者番号の設定をしないと、発信ポート番号指定で選択したi・ナンバー情報に対応する電話番号が通知されます。

一般回線からの電話番号も表示する には (INSナンバー・ディスプレイ)



一般の電話回線から着信があった場合でも、発信者の電話番号を本商品の液晶ディスプレイまたはナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



● 必要な契約

INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。相手の方の電話番号が表示されない場合の非通知理由を表示するには、非通知理由の契約を「有」にする必要があります。相手がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、このサービスを契約していなくても、発信者番号通知サービスによって発信者番号が通知されます。

● 必要な設定

アナログポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

INSナンバー・ディスプレイを設定する

TELで設定 (←P2-86)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→＊＊＊→設定するTELポートの番号（①または②）→①①→＊→①→④→ハンドセットを置く

PCで設定 (←P6-15)

1 ホームページを表示する。(←P3-2)

2 メニューの「詳細設定」をクリックする。

3 「TEL1ポート設定」または「TEL2ポート設定」の「キャッチホン・番号通知」をクリックする。

(次ページへ続きます)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
ファクスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

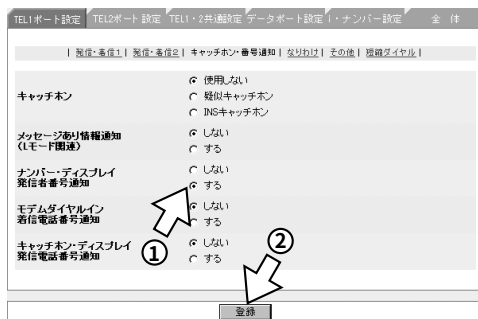
6
転送／メッセージ

7
電話機からの設定



(前ページの続きです)

4 [ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知] の [する] をクリックし、[登録] をクリックする。



5 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックする。

ホームページに戻るときは、[ホーム] アイコンをクリックします。



ワンポイント

● サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合はナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TELで設定 (機能番号: 11) (☞P2-86)

● 着信転送の転送元の電話番号を表示するには (転送元電話番号表示)

INSボイスワープ/ボイスワープセレクトのサービスによって、外から電話が転送されてきたときに、転送元の電話番号と転送理由をアナログポートに接続した電話機の液晶ディスプレイに表示することができます。

TELで設定 (機能番号: 14) (☞P2-86)

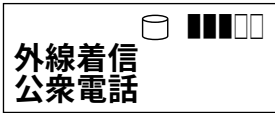
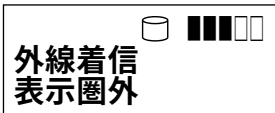


お知らせ

- INSナンバー・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能、または転送元電話番号表示機能がない場合は、ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定、または転送元電話番号表示設定を「しない」に設定してください。
- リソースBOD (☞CD-ROM「参考情報」) を「発信/着信時に使用する」または「着信時に使用する」に設定した場合は、128KマルチリンクPPP (☞CD-ROM「参考情報」) を使用して128 kbit/sでデータ通信中、着信は受けられますが、アナログポートに接続したアナログ通信機器に発信者番号は通知されません。

■ 相手の電話番号が通知されない理由（非通知理由）

電話番号が通知されないときの液晶ディスプレイ表示と非通知理由は次の通りです。

液晶ディスプレイ表示	非通知理由
 外線着信 非通知	相手が電話番号を通知しない操作をしたとき 相手が電話番号を通知しない契約になっているとき
 外線着信 公衆電話	公衆電話からかかってきたとき
 外線着信 表示圏外	INSナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき サービスが競合しているために電話番号を通知できないとき INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合に一般の電話回線から着信したとき INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合に相手が電話番号を通知しない操作をしたときや 相手が電話番号を通知しない契約になっているとき

電話番号が通知されないときにメッセージで応答する (INSナンバー・リクエスト)



電話番号を通知しないでかけてきた相手に、「こちらは〇〇〇です。おそれいりますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。」と音声で伝えることができます。この場合、電話機の着信音は鳴りません。

● 必要な契約

INSナンバー・リクエストの契約（有料）が必要です。ただし、INSナンバー・ディスプレイを契約の方のみお申し込みいただけます。

● 必要な設定

INSナンバー・リクエストをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

(次ページへ続きます)



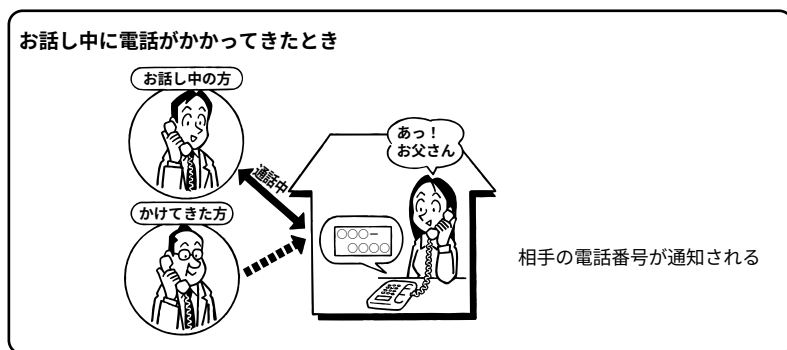
(前ページの続きです)

キャッチホンと組み合わせて利用する (キャッチホン・ディスプレイ)



INSナンバー・ディスプレイと、キャッチホン (INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン) の機能を組み合わせて利用することができます。

外の相手とお話中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号または非通知理由を表示させることができます。



● 必要な契約

INSナンバー・ディスプレイとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約 (有料) が必要です。

INSナンバー・ディスプレイと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INSナンバー・ディスプレイの契約 (有料) が必要です。

相手がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、INSナンバー・ディスプレイを契約していなくても、キャッチホン・ディスプレイをご利用になれます。

● 必要な設定

キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機、ファクスが必要です。
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、キャッチホンの設定、キャッチホン・ディスプレイ発信電話番号通知の設定が必要です。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞P6-15)	「する」を選択する
キャッチホン	機能番号：02 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞P6-15)	「INSキャッチホン」または「疑似キャッチホン」を選択する
キャッチホン・ディスプレイ発信電話番号通知	機能番号：25 (☞P2-88)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞P6-15)	「する」を選択する



ワンポイント

● サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TELで設定 (機能番号：26) (☞P2-88)



お知らせ

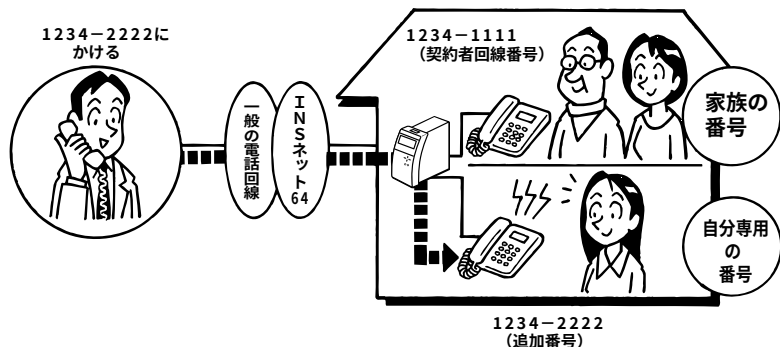
- INSナンバー・リクエストについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」にすると、アナログ通信機器が正常に動作しないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- キャッチホン・ディスプレイによる着信時には、「ブツブツ、ブツブツ…」という音に加えて、「ピッ」という割込音が聞こえます。この割込音とお話中の音が重なると、電話番号などの表示ができないことがあります。また、1秒程度、通話が途切れます。

呼び分けのいろいろな方法

アナログポートに複数の機器を接続しているときは、いろいろな方法で呼び分けることができます。

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分ける (P2-50)

1回線で2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話番号ごとにポートを呼び分けることができます。

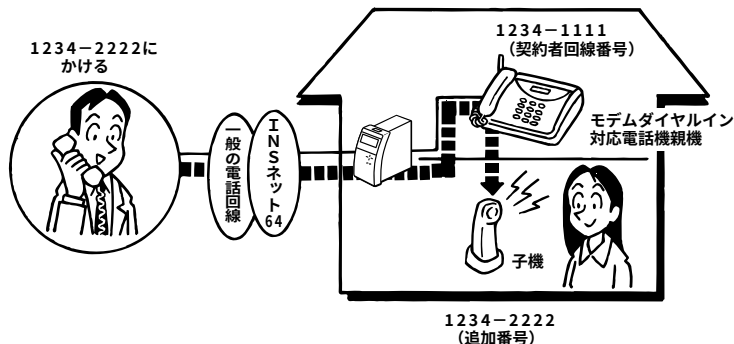


ダイヤルインで複数の電話番号を使い分ける (P2-58)

i・ナンバーと同様に、契約者回線番号のほかに追加番号を持つことができます。3つより多くの電話番号を使い分けたいとき、通信機器ごとに電話番号を使い分けたいときなどは、ダイヤルインを契約します。

1台のアナログ通信機器で電話番号を使い分ける (P2-60)

i・ナンバーまたはダイヤルインをご利用の場合、アナログポートにモデムダイヤルイン対応電話機親機を接続して、1台の機器で複数の電話番号を使い分けることができます。



1 すぐに使えます

2 電話のいろいろ

3 ファクスのいろいろ

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファクスの呼び分け

6 転送/メッセージ

7 電話機からの設定

設定

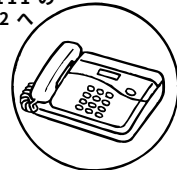
サブアドレスを指定して呼び分ける (←P2-64)

電話をかけるときにサブアドレスを続けてダイヤルすることによって、そのアナログポートを呼び出すことができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。

1234-1111 の
サブアドレス11 へ
かける



1234-1111 の
サブアドレス12 へ
かける



INSネット
64



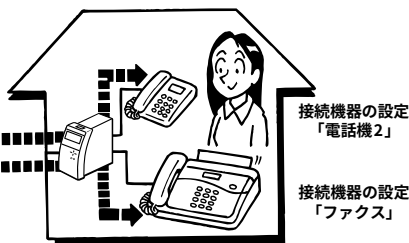
設定

接続機器の設定で呼び分ける (←P2-65)

INSネット64からの着信は、相手の接続機器の設定と一致したアナログポートだけに着信するので、1つの電話番号で呼び分けることができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



INSネット
64



i・ナンバーで複数の電話番号を 使い分けるには (i・ナンバー)



i・ナンバーをご契約になると、2つまたは3つの電話番号を持つことができます。
電話機やファクスを別々の番号で受けたいときなどは、電話番号ごとに呼び分けるこ
とができます。

● 必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

i・ナンバーを「使用する」に設定して、i・ナンバー電話番号を登録します。1つめの電話番号（契約
者回線番号）が i・ナンバー情報1、2つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報2、3つめの
電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報3となります。

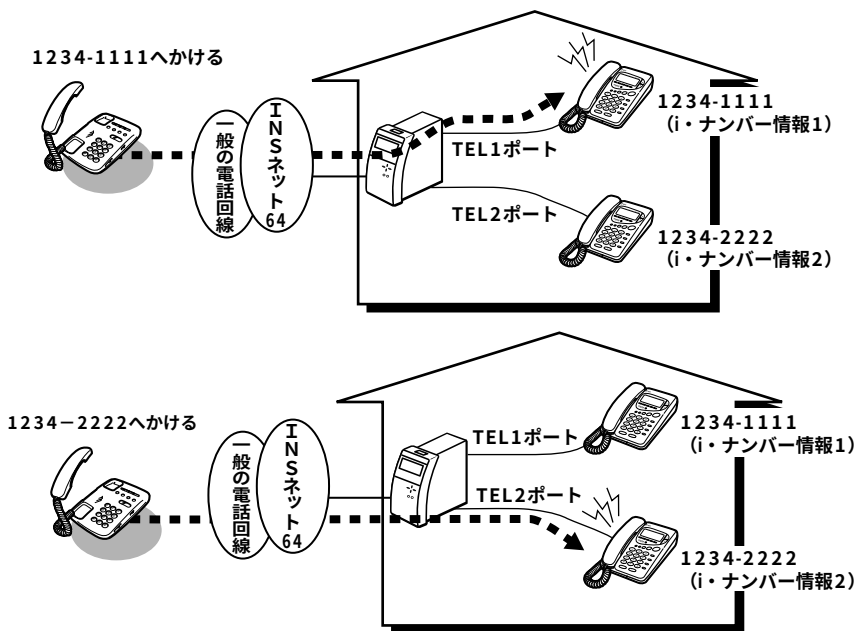
お買い求め時は、1つめの電話番号はTEL1ポート、2つめの追加番号はTEL2ポートに着信するよう
に設定されています（3つめの追加番号に電話がかかってきた場合には着信しません）。着信するポ
ートを変更するには、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定の変更が必要です。

フレッツ・ISDNをご利用の場合は、データポートの発信者番号は契約者回線番号を設定してくださ
い。追加番号を設定すると、インターネットに接続できません。

i・ナンバーを設定する

■ 設定例1

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポート、追加番号（1234-2222）はTEL2ポートに着信
させる場合



TELで設定

(設定例1) (←P2-82、2-88)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● i・ナンバーを「使用する」に設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*) (* *) (*)**→**(0)**→**(8)** **(3)**→**(*)**→**(1)**→**(#)**→ハンドセットを置く

● i・ナンバー情報1の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*) (* *) (*)**→**(0)**→**(8)** **(4)**→**(*)**→契約者回線番号 (例: 12341111)
→**(#)**→ハンドセットを置く

● i・ナンバー情報2の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*) (* *) (*)**→**(0)**→**(8)** **(5)**→**(*)**→追加番号 (例: 12342222)
→**(#)**→ハンドセットを置く

● TEL1ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*) (* *) (*)**→**(1)**→**(2)** **(0)**→**(*)**→契約者回線番号 (例: 12341111)
→**(#)**→ハンドセットを置く

● TEL2ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*) (* *) (*)**→**(2)**→**(2)** **(0)**→**(*)**→追加番号 (例: 12342222)
→**(#)**→ハンドセットを置く

PCで設定

(設定例1) (←P6-29)

1 ホームページを表示する。(←P3-2)

2 メニューの「詳細設定」をクリックし、「TEL1・2共通設定」の「i・ナンバー設定」をクリックする。

3 「使用する」をクリックする。

i・ナンバー
☒ 使用する
※ 発信者番号通知を通知し、自ら「通知する」に設定し、i・ナンバーを「使用する」にした場合、必ず各ポートの発信者番号を入力してください。
※ 「メッセージ」入力情報通知サービスを設定した場合、発信時に通知する番号と発信する番号を同じにしてください。

i・ナンバー-電話番号
i・ナンバー-情報1
※ 最大半角20桁
i・ナンバー-情報2
※ 最大半角20桁
i・ナンバー-情報3
※ 最大半角20桁

i・ナンバー-発信設定
TEL1 TEL2 データ
☒ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐

発信ポート番号指定
TEL1 TEL2 データ
☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

登録

(次ページへ続きます)

i・ナンバーで複数の電話番号を 使い分けるには (i・ナンバー)



(前ページの続きです)

4 i・ナンバー電話番号を入力する。

[i・ナンバー情報1] の [i・ナンバー電話番号] に契約者回線番号 (例: 12341111) を入力し、
[i・ナンバー情報2] の [i・ナンバー電話番号] に追加番号 (例: 12342222) を入力します。

5 [登録] をクリックする。

6 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックし、[TEL1ポート設定] をクリックする。

7 [発信者番号] に電話番号を入力し、[登録] をクリックする。

[発信者番号] に契約者回線番号 (例: 12341111) を入力します。

8 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックし、[TEL2ポート設定] をクリックする。

9 [発信者番号] に電話番号を入力し、[登録] をクリックする。

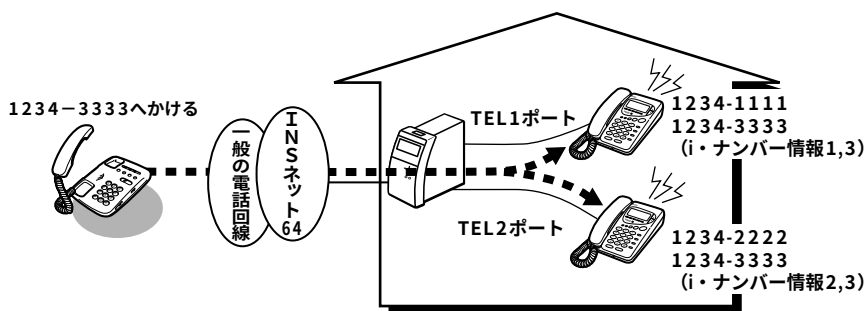
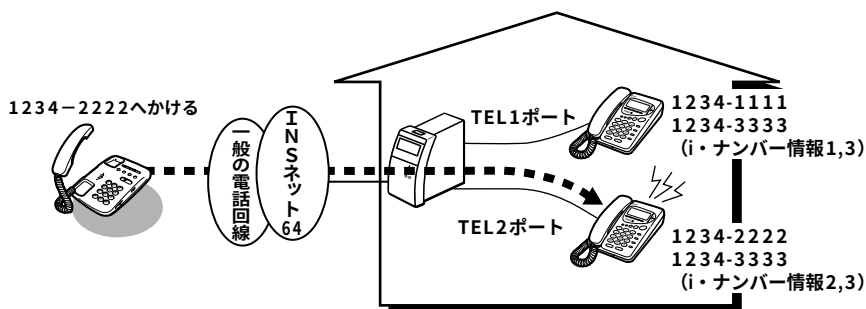
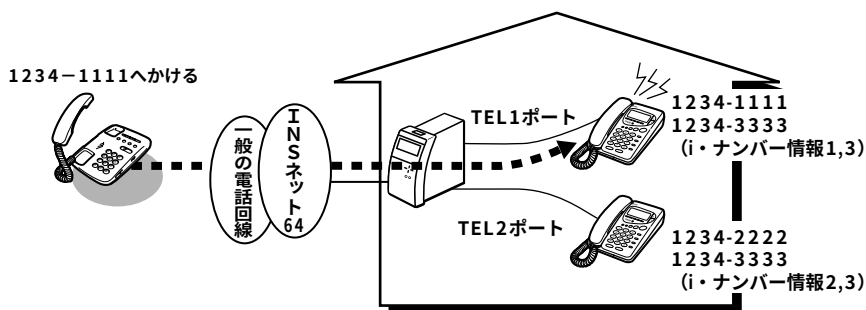
[発信者番号] に追加番号 (例: 12342222) を入力します。

10 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックする。

ホームページに戻るときは [ホーム] アイコンをクリックします。

■ 設定例2

契約者回線番号 (1234-1111) はTEL1ポート、追加番号 (1234-2222) はTEL2ポートへ、追加番号 (1234-3333) はTEL1ポートとTEL2ポートに着信させる場合



(次ページへ続きます)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
ファックスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送/メッセージ

7
電話機からの設定

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには (i・ナンバー)



(前ページの続きです)

TELで設定 (設定例2) (←P2-82、2-86、2-88)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● i・ナンバーを「使用する」に設定する

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→①→⑧③→[*]→①→[#]→ハンドセットを置く

● i・ナンバー情報1の電話番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→①→⑧④→[*]→契約者回線番号 (例：12341111) →[#]→ハンドセットを置く

● i・ナンバー情報2の電話番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→①→⑧⑤→[*]→追加番号 (例：12342222) →[#]→ハンドセットを置く

● i・ナンバー情報3の電話番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→①→⑧⑥→[*]→追加番号 (例：12343333) →[#]→ハンドセットを置く

● TEL1ポートの発信設定を行う

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→①→②③→[*]→①または③→[#]→ハンドセットを置く

● TEL2ポートの発信設定を行う

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→②→②③→[*]→②または③→[#]→ハンドセットを置く

● TEL1ポートの着信設定を行う

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→①→②④→[*]→⑤→[#]→ハンドセットを置く

● TEL2ポートの着信設定を行う

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→②→②④→[*]→⑥→[#]→ハンドセットを置く

● TEL1ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→①→②①→[*]→契約者回線番号 (例：12341111) または追加番号 (例：12343333) →[#]→ハンドセットを置く

● TEL2ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→[*][*][*]→②→②①→[*]→追加番号 (例：12342222または12343333) →[#]→ハンドセットを置く

PCで設定 (設定例2) (←P6-29)

1 ホームページを表示する。(←P3-2)

2 メニューの「詳細設定」をクリックし、「TEL1・2共通設定」の「i・ナンバー設定」をクリックする。

1
すぐに使えます2
電話のいろいろ3
ファックスのいろいろ4
発信者番号の通知と表示5
電話やファックスの呼び分け6
録音／メッセージ7
電話機からの設定

3 [使用する] をクリックする。

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 **i・ナンバー設定** 全 閉

i・ナンバー
☐ 使用しない ※発信者番号通知を通知しない。 (通知する)に設定し、i・ナンバーを(使用する)にした場合、必ず各ポートの発信者番号を入力してください。
☒ 使用する ※i・ナンバーが情報通知サービスを設定した場合、発信時に通知する番号と発信する番号を同じにしてください。

i・ナンバー電話番号

	i・ナンバー着信設定			発信ポート番号指定		
	TEL1	TEL2	データ	TEL1	TEL2	データ
i・ナンバー情報1	☒	☐	☒	☒	☐	☐
i・ナンバー情報2	☐	☒	☒	☐	☒	☐
i・ナンバー情報3	☐	☐	☐	☐	☐	☐

登録

4 i・ナンバー電話番号を入力する。

[i・ナンバー情報1] の [i・ナンバー電話番号] に契約者回線番号 (例: 12341111)、[i・ナンバー情報2] の [i・ナンバー電話番号] に追加番号 (例: 12342222)、[i・ナンバー情報3] の [i・ナンバー電話番号] に追加番号 (例: 12343333) を入力します。

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 **i・ナンバー設定** 全 閉

i・ナンバー
☐ 使用しない ※発信者番号通知を通知しない。 (通知する)に設定し、i・ナンバーを(使用する)にした場合、必ず各ポートの発信者番号を入力してください。
☒ 使用する ※i・ナンバーが情報通知サービスを設定した場合、発信時に通知する番号と発信する番号を同じにしてください。

i・ナンバー電話番号

	i・ナンバー着信設定			発信ポート番号指定		
	TEL1	TEL2	データ	TEL1	TEL2	データ
i・ナンバー情報1	☒	☐	☒	☒	☐	☐
i・ナンバー情報2	☐	☒	☒	☐	☒	☐
i・ナンバー情報3	☐	☐	☐	☐	☐	☐

登録

(次ページへ続きます)

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには (i・ナンバー)



(前ページの続きです)

5 i・ナンバー着信設定をする。

[i・ナンバー情報1] の [i・ナンバー着信設定] は [TEL1] のみをチェックします。

[i・ナンバー情報2] の [i・ナンバー着信設定] は [TEL2] のみをチェックします。

[i・ナンバー情報3] の [i・ナンバー着信設定] は [TEL1] と [TEL2] をチェックします。

i・ナンバー着信設定			
TEL1	TEL2	データ	
☒	☐	☐	
☐	☒	☐	
☒	☒	☐	

6 発信ポート番号指定を確認する。

[発信ポート番号指定] の [TEL1] で [i・ナンバー情報1] または [i・ナンバー情報3] を選択します。

[発信ポート番号指定] の [TEL2] で [i・ナンバー情報2] または [i・ナンバー情報3] を選択します。

発信ポート番号指定		
TEL1	TEL2	データ
☒	☐	☒
☐	☒	☐
☒	☒	☐

7 [登録] をクリックする。

8 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックし、[TEL1ポート設定] をクリックする。

[発信・着信1] が表示されます。

9 [発信者番号] に電話番号を入力し、[登録] をクリックする。

[発信者番号] に契約者回線番号 (例: 12341111) または追加番号 (例: 12343333) を入力します。

10 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックし、[TEL2ポート設定] をクリックする。

[発信・着信1] が表示されます。

11 [発信者番号] に電話番号を入力し、[登録] をクリックする。

[発信者番号] に追加番号 (例: 12342222 または 12343333) を入力します。

12 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックする。

ホームページに戻るときは [ホーム] アイコンをクリックします。



ワンポイント

● 親機と子機で番号を使い分けるには

モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、i・ナンバーを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。(☞P2-60)



お知らせ

- i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。



お願い

- 発信者番号は正しく設定してください。i・ナンバー使用時に相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知 (☞P2-41) で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。

TELで設定 (機能番号: 20) (☞P2-86)

PCで設定 (TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☞P6-12)、データポート設定画面「発信・着信」)(☞P6-23)

ダイヤルイン/グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには (ダイヤルイン/グローバル着信)



ダイヤルインをご契約になると、アナログポートに接続した電話機やファクスで複数の電話番号を使い分けることができます。TEL1ポート、TEL2ポートそれぞれに、最大8個の電話番号を設定することができます。

● 必要な契約

ダイヤルインの契約 (有料) が必要です。

INSネット64の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、INSメイトG100のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号 (追加番号が1つであれば2つの電話番号) を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。

「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

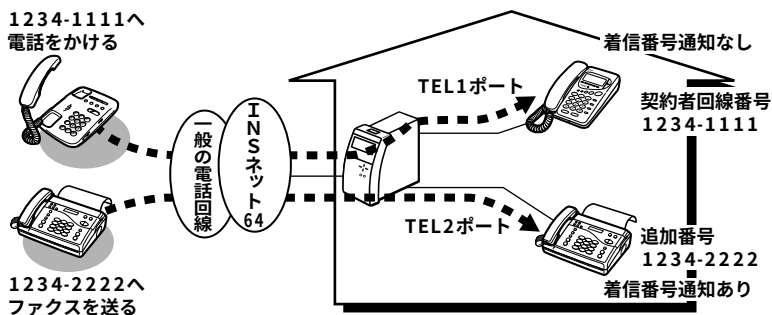
● 必要な設定

発信者番号の設定、着信する番号の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合は、グローバル着信選択の設定が必要です。

フレッツ・ISDNをご利用の場合は、データポートの発信者番号は契約者回線番号を設定してください。追加番号を設定すると、インターネットに接続できません。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号 (1234-1111) はTEL1ポート、追加番号 (1234-2222) はTEL2ポートに着信させる場合



機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
グローバル着信選択	機能番号:03 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞P6-12)	TEL1ポートは「着信する」を選択する TEL2ポートは「着信しない」を選択する
発信者番号	機能番号:20 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞P6-12)	TEL1ポートは契約者回線番号 (1234-1111) を入力する TEL2ポートは追加番号 (1234-2222) を入力する
着信する番号	機能番号:30~37 (☞P2-90)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞P6-12)	TEL1ポートの着信する番号0に契約者回線番号 (1234-1111) を入力する TEL2ポートの着信する番号0に追加番号 (1234-2222) を入力する



ワンポイント

● グローバル着信とは

契約者回線番号への着信時に、契約者回線番号を通知しない機能です。グローバル着信を契約すると、通常は契約者回線番号に電話がかかってきたとき、すべてのアナログ通信機器の着信音が鳴りますが、INSメイト G100は、グローバル着信選択の設定により、着信するかどうかを選択できます。このため、追加番号を1つ契約するだけで2台のアナログ通信機器を呼び分けることができます。

● グローバル着信を利用しないときは

グローバル着信選択の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。

● 1台のアナログ通信機器で番号を使い分けするには

モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、ダイヤルインを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファックスの着信を呼び分けたりすることができます。(☞P2-60)



お知らせ

- ダイヤルイン、グローバル着信について、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、ダイヤルイン、グローバル着信はご利用になれません。



お願い

- 発信者番号は正しく設定してください。相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知(☞P2-41)で設定した内容が有効とされない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。

TELで設定 (機能番号：20) (☞P2-86)

PCで設定 (TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☞P6-12)、データポート設定画面「発信・着信」)(☞P6-23)

1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには (モデムダイヤルイン)



モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、電話番号を使い分けることができます。コードレス電話機の親機と子機で番号を使い分けたり、ファクス付き電話機で電話とファクスの番号を使い分けたりすることができます。

この機能をご利用になるには、i・ナンバーまたはダイヤルインの契約が必要です。

i・ナンバーを利用する場合

● 必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

i・ナンバーの設定、i・ナンバー電話番号の設定、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。

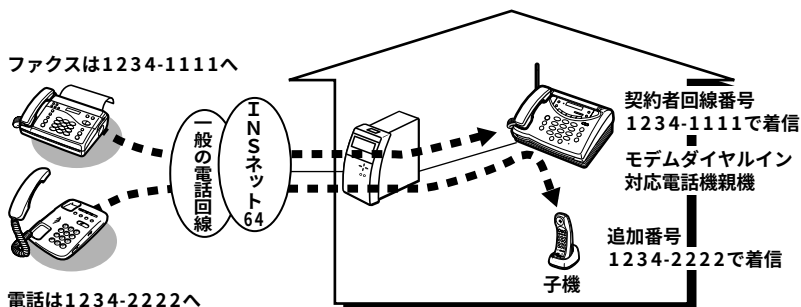
モデムダイヤルイン対応電話機の親機および子機から、同じ発信者番号が通知されるように、発信者番号の設定も必要です。

また、モデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号（←P2-50）に設定した電話番号を登録してください。

■ 設定例

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
i・ナンバー	機能番号:83 (☞P2-82)	i・ナンバー設定画面 (☞P6-29)	「使用する」を選択する
i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報1	機能番号:84 (☞P2-82)	i・ナンバー設定画面 (☞P6-29)	契約者回線番号(1234-1111)を入力する
i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報2	機能番号:85 (☞P2-82)	i・ナンバー設定画面 (☞P6-29)	追加番号(1234-2222)を入力する
i・ナンバー着信設定	機能番号:24 (☞P2-88)	i・ナンバー設定画面 (☞P6-29)	i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2のTEL1のみ選択する
発信ポート番号指定	機能番号:23 (☞P2-88)	i・ナンバー設定画面 (☞P6-29)	i・ナンバー情報1のTEL1を選択する
発信者番号	機能番号:20 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞P6-12)	発信者番号として、契約者回線番号(1234-1111)または追加番号(1234-2222)を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号:12 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞P6-15)	「する」を選択する

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
ファックスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
録音／メッセージ

7
電話機からの設定

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

ダイヤルインを利用する場合

● 必要な契約

ダイヤルインの契約（有料）が必要です。

INSネット64の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号（追加番号が1つであれば2つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。

「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

● 必要な設定

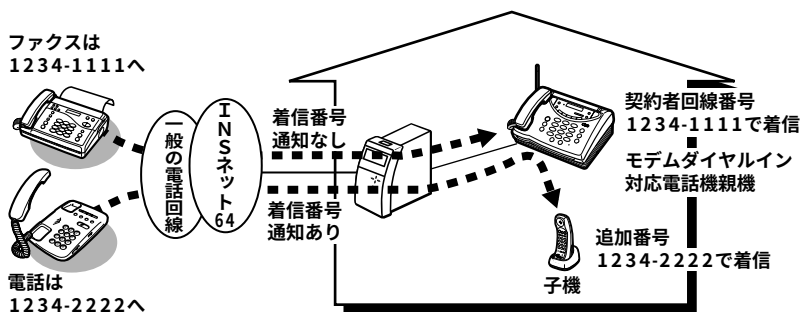
モデムダイヤルイン用契約者回線番号の設定、着信する番号の設定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合はグローバル着信選択の設定が必要です。

また、モデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
モデムダイヤル イン用契約 者回線番号	機能番号: 61 (←P2-80)	TEL1・2ポート共通設 定画面「その他」 (←P6-21)	契約者回線番号 (1234-1111)を入力する
グローバル着 信選択	機能番号: 03 (←P2-84)	TEL1ポート設定画面 「発信・着信1」(←P6-12)	「着信する」を選択する
着信する番号	機能番号: 30 ～37 (←P2-90)	TEL1ポート設定画面 「発信・着信1」(←P6-12)	着信する番号0に追加番号(1234-2222) を入力する
モデムダイヤ ルイン着信電 話番号通知	機能番号: 12 (←P2-86)	TEL1ポート設定画面 「キャッチホン・番号通 知」(←P6-15)	「する」を選択する



ワンポイント

● モデムダイヤルインとは

受信した追加番号をモデム信号に変換して、電話機などに送る機能です。モデムダイヤルイン対応の電話機に登録されている追加番号に応じて、該当する機器（親機または子機）で着信します。

● モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレスを通知するには

モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレス受信機能がある場合は、モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、サブアドレスを通知することができます。

TELで設定 (機能番号: 13) (←P2-86)

● グローバル着信を利用しないときは

グローバル着信選択の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。



お知らせ

- リソースBOD (←CD-ROM「参考情報」)を「発信／着信時に使用する」または「着信時に使用する」に設定した場合は、128KマルチリンクPPP (←CD-ROM「参考情報」)を使用して128 kbit/sでデータ通信中、着信は受け付けられますが、追加番号または i・ナンバー電話番号はアナログポートに接続したアナログ通信機器に通知されません。
- モデムダイヤルインとメッセージあり情報通知 (←P2-34、2-36)を同時に利用することはできません。



お願い

- i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、必ず i・ナンバー電話番号も設定してください。i・ナンバー電話番号を設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。
- ダイヤルイン、グローバル着信をご利用の場合は、必ずモデムダイヤルイン用契約者回線番号を設定してください。設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。

1
すぐに使えます

2
電話の
使いかた
いろいろ

3
ファク
スの
使いかた

4
発信
番号の
表示

5
電話
の呼び
分け

6
録音
／メ
ッセージ

7
電話
機から
の

サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには (サブアドレス)



サブアドレスを設定すると、相手が電話をかけるとき、電話番号に続けてサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機やファクスを直接呼び出すことができます。サブアドレスは、相手がINSネット64に加入している場合のみ利用できます。通知されたサブアドレスと、本商品のサブアドレスが完全に一致しないと、着信は受け付けられません。

● 必要な設定

お買い求め時は、各ポートのサブアドレスは設定されていません。サブアドレスを利用するには、各ポートにサブアドレスを設定する必要があります。

お買い求め時は、相手がサブアドレスを付けなくても着信するように設定されています。サブアドレスなしの着信を受けないようにするには、サブアドレスなし着信選択の設定を「着信しない」にします。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
サブアドレス	機能番号: 38 (☞P2-90)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞P6-12) データポート設定画面 「発信・着信」 (☞P6-23)	ポートごとに任意の番号（最大19桁）を入力する
サブアドレスなし着信選択 (サブアドレスなしの着信を受け付け ない場合)	機能番号: 04 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞P6-12) データポート設定画面 「発信・着信」 (☞P6-23)	サブアドレスなしの着信を受け付け ない場合は、「着信しない」を選択する



ワンポイント

● 相手が一般の電話回線からかけてきたときは

サブアドレスを指定できない一般の電話回線からの着信は、サブアドレスを設定していても受けることができます。サブアドレスによる呼び分けはできません。



お知らせ

- サブアドレスなし着信選択を「着信しない」に設定すると、一般の電話回線からの着信やサブアドレスのない着信は受けられません。

接続機器の設定で呼び分けるには (接続機器設定)

アナログポートに接続したアナログ通信機器を「電話機1」、「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」、「電話機2」、「ファクス」の4種類のいずれかに設定します。

相手の接続機器の設定と一致したアナログポートに着信するので、同じ電話番号で呼び分けることができます。この機能は、相手がINSネット64から発信した場合、携帯電話機やPHS対応電話機から発信した場合にご利用になります。

●必要な設定

アナログポートごとに接続機器の設定が必要です。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
接続機器	機能番号: 01 (☞P2-84)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面 「発信・着信2」 (☞P6-14)	TEL1ポート、TEL2ポートそれぞれに接続している機器に合わせて、次のいずれかを選択する 「電話機1」：電話機を接続する場合 「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」：G3ファクス、ファクス付き電話機、モデム、Lモード対応電話機を接続する場合 「電話機2」：電話専用として使う場合 「ファクス」：ファクス専用として使う場合



ワンポイント

- 相手が一般の電話回線からかけてきたときは
一般の電話回線からの着信は、すべて「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」と認識します。
接続機器の設定による呼び分けはできません。
- 接続機器の設定の違いにより着信できないときは
次の場合は着信できません。接続機器の設定を「電話機1」または「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」に変更してください。
 - 接続機器を「ファクス」に設定しているとき
相手の接続機器の設定が「電話機2」の場合、または相手が携帯電話機、PHS対応電話機の場合
 - 接続機器を「電話機2」に設定しているとき
相手の接続機器の設定が「ファクス」の場合、または相手がG4ファクスの場合



お知らせ

- 相手がINSネット64から「電話機1」または「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」の設定で発信した場合、接続機器の設定による呼び分けはできません。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使い方がた

3
ファクスのいろいろな使い方がた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送/メッセージ

7
電話機からの設定

電話に出られないときのいろいろな方法

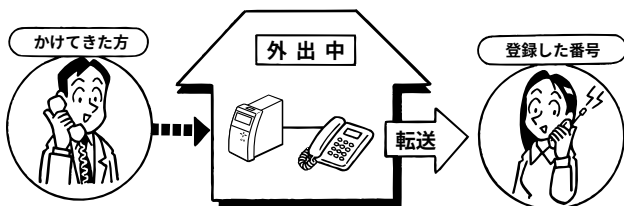
かかってきた電話に出られないときは、ほかの電話に転送したり、相手にメッセージを録音していただいたりすることができます。

着信転送で指定した番号へ転送する (←P2-68)



フレックスホンの着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。電話をかけてきた方と、転送先の方に、転送していることを知らせるアナウンスを流すことができます。

本商品のおでかけボタンを押して、着信転送を開始/停止することができます。(←P2-69、2-71)



疑似着信転送で指定した番号へ転送する (←P2-68)



疑似着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。すべてのポートが空いているときだけ利用できます。

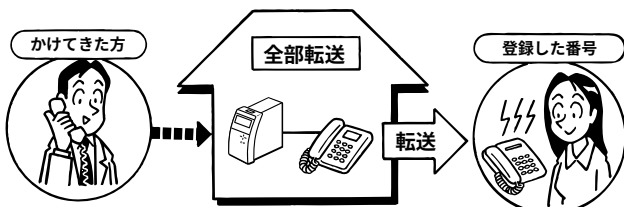
本商品のおでかけボタンを押して、疑似着信転送を開始/停止することができます。(←P2-69、2-71)

INSボイスワープ/INSボイスワープセレクトで条件を指定して転送する (←P2-73)

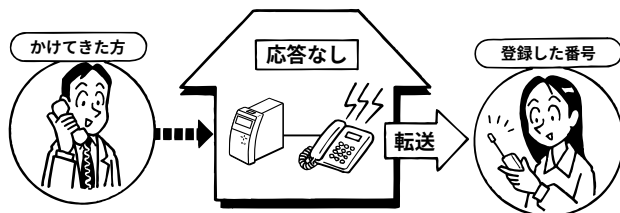


かかってきた電話を無条件で転送する、設定した時間内に応答できなければ転送する、2つのポートを使用中に転送するの3つの中から、条件を選択して転送します。転送先は5か所まで登録できます。

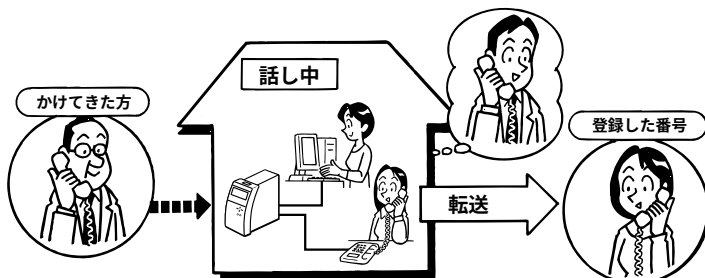
◆無条件転送



◆無応答時転送



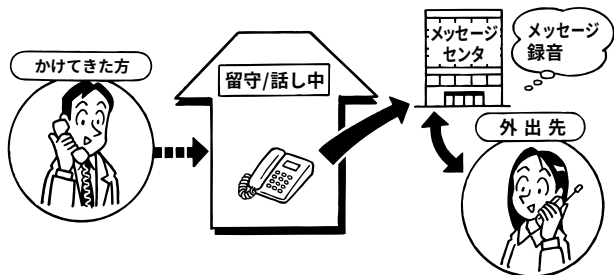
◆話中時転送



INSマジックボックスですべての電話をキャッチする

(←P2-75)

お話し中や不在時など、電話に出られないときは、相手に当社のメッセージセンタにメッセージを録音してもらって、あとで聞くことができます。また、あらかじめ登録しておいた電話番号へ転送することもできます。キャッチホンもご利用になれます。



外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送/疑似着信転送)

外からの電話を、あらかじめ登録しておいた別の相手に転送することができます。

フレックスホンの着信転送、疑似着信転送の2つの方法があります。

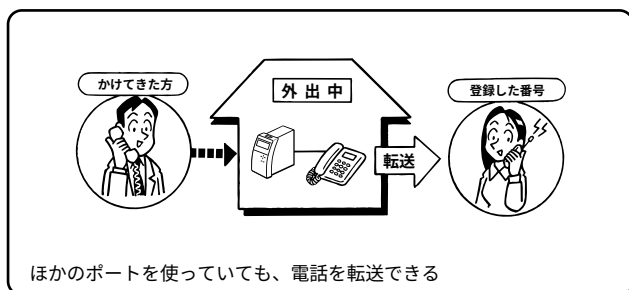
着信転送または疑似着信転送を開始、停止するときは、本商品のおでかけボタンを押します。

着信転送（フレックスホン）



かかってきた電話を転送することができます。

電話をかけてきた相手、転送先に転送することを音声で知らせることができます。(転送トーキ、転送元トーキ)



転送中の音声アナウンス（転送トーキ、転送元トーキ）

転送中は、次のような音声アナウンスを流すことができます。音声の内容は、地域によって若干異なる場合があります。

- 電話をかけてきた方へのアナウンス（転送トーキ）
「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください。」
- 転送先へのアナウンス（転送元トーキ）
「電話が転送されてまいりますので、そのままお待ちください。」

● 必要な契約

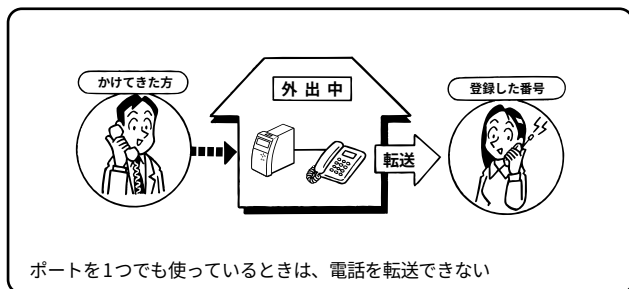
フレックスホンの着信転送機能の契約（有料）が必要です。

フレックスホンの他の機能（INSキャッチホン、通信中転送、三者通話）もあわせてご利用になれます。

疑似着信転送



すべてのポートが空いているときに、かかってきた電話を転送することができます。



着信転送または疑似着信転送を設定する

着信転送の設定、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号の登録が必要です。電話番号は、契約者回線番号、i・ナンバーまたはダイヤルインの追加番号ごとに設定します。

着信転送（フレックスホン）の場合、転送中に、電話をかけてきた方や、転送先へアナウンスを流す場合は、着信転送トーキの設定が必要です。ユーザ情報（転送する方へ通知する情報）はご利用になれませんので、「ユーザ情報なし」を選択してください。

■ 設定例

契約者回線番号（03-1234-1111）にかかってきた電話を03-XXXX-5555へ転送する場合

TELで設定（←P2-78、2-80）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● 着信転送または疑似着信転送を設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*)****(*)****(*)**→**(0)**→**(5)****(2)**→**(*)**→**(1)**または**(2)**（疑似着信転送：**(1)**、着信転送：**(2)**）→**(#)**→ハンドセットを置く

● 着信転送先電話番号（契約者回線番号用）を設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*)****(*)****(*)**→**(0)**→**(5)****(4)**→**(*)**→転送先の電話番号（03-XXXX-5555）→**(#)**→ハンドセットを置く

● 着信転送元電話番号（契約者回線番号用）を設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*)****(*)****(*)**→**(0)**→**(5)****(7)**→**(*)**→転送元の電話番号（03-1234-1111）→**(#)**→ハンドセットを置く

● 着信転送（フレックスホン）の場合は着信転送トーキを設定する

ハンドセットを取りあげる→**(*)****(*)****(*)**→**(0)**→**(5)****(3)**→**(*)**→**(0)～(4)**のいずれか→**(#)**→ハンドセットを置く

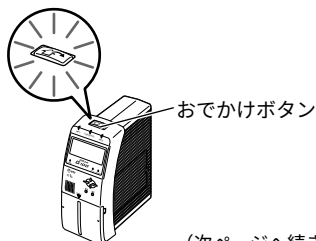
- ①：転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報なし
- ②：転送トーキあり、転送元トーキなし、ユーザ情報なし
- ③：転送トーキなし、転送元トーキあり、ユーザ情報あり
- ④：転送トーキあり、転送元トーキあり、ユーザ情報あり
- ⑤：転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報あり

● 着信転送または疑似着信転送を開始する

本商品のおでかけボタンを押す。

おでかけランプが点灯し、着信転送または疑似着信転送がセットされます。

ACTランプが緑色の点滅を繰り返します。



（次ページへ続きます）

外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送／疑似着信転送)

(前ページの続きです)

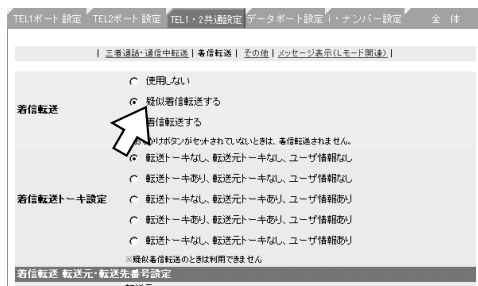
PCで設定 (←P6-20)

1 ホームページを表示する。(←P3-2)

2 メニューの「詳細設定」をクリックする。

3 「TEL1・2共通設定」の「着信転送」をクリックする。

4 「着信転送する」または「疑似着信転送する」をクリックする。



1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送／メッセージ
録音

7
電話機からの
設定

5 契約者回線番号用の転送元電話番号（例：03-1234-1111）、転送先電話番号（例：03-XXXX-5555）を入力する。

6 着信転送（フレックスホン）の場合は、着信転送トーキを次のいずれかから設定する。

- 転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報なし
- 転送トーキあり、転送元トーキなし、ユーザ情報なし
- 転送トーキなし、転送元トーキあり、ユーザ情報あり
- 転送トーキあり、転送元トーキあり、ユーザ情報あり
- 転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報あり

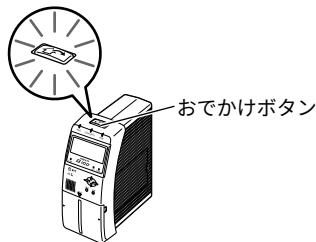
7 [登録] をクリックする。

8 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックする。

ホームページに戻るときは「ホーム」アイコンをクリックします。

9 本商品のおでかけボタンを押す。

おでかけランプが点灯し、着信転送または疑似着信転送がセットされます。
ACTランプが緑色の点滅を繰り返します。



(次ページへ続きます)

外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送／疑似着信転送)

(前ページの続きです)



ワンポイント

● 着信転送、疑似着信転送を停止／再開するには

本商品のおでかけボタンを押すと、着信転送または疑似着信転送を一時的に停止したり、再開したりすることができます。また、電話機からの操作で、着信転送または疑似着信転送を停止したり、再開することもできます。

- 着信転送または疑似着信転送を停止する

ハンドセットを取りあげる→ * * * ① ⑤ ② * ① # を押す

- 着信転送を再開する

ハンドセットを取りあげる→ * * * ① ⑤ ② * ② # を押す

- 疑似着信転送を再開する

ハンドセットを取りあげる→ * * * ① ⑤ ② * ① # を押す

● 着信転送、疑似着信転送が行われているときは

ACTランプが緑色の点灯と点滅を繰り返します。(➡P1-4) ただし、回線に異常がある場合やデータポートで通信している場合は、その表示が優先されます。



お知らせ

- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 転送元および転送先の電話番号を登録しないと、転送の設定は無効になります。
- 転送先としてディスプレイポケットベルの電話番号を登録することはできません。
- 転送元としてサブアドレスのみを登録することはできません。
- 転送元に着信があっても、アナログポートに接続した通信機器の着信音は鳴りません。
- 疑似着信転送では、転送先への通話料金はTEL1ポートに加算されます。
- グローバル着信があった場合は、契約者回線番号用の転送元電話番号の設定内容に関係なく、転送先電話番号に転送されます。
- ダイヤルインでグローバル着信を利用しない契約をしている場合、契約者回線番号で着信転送するには、ダイヤルイン用1またはダイヤルイン用2の着信転送元電話番号に契約者回線番号を設定してください。
- i・ナンバー (➡P2-50) をご利用の場合、転送元電話番号、転送元サブアドレス、転送先電話番号は、i・ナンバー用1またはi・ナンバー用2の欄に設定してください。
- i・ナンバー (➡P2-50) をご利用のときに、3つめの電話番号(追加番号)で着信転送を行う場合は、i・ナンバー用1またはi・ナンバー用2の欄に設定してください。
- i・ナンバー (➡P2-50) を「使用する」に設定した場合は、転送元の電話番号を必ず i・ナンバー電話番号に設定してください。設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

条件を指定して転送するには（INSボイスワープ／INSボイスワープセレクト）

INSボイスワープおよびINSボイスワープセレクトは、高機能な着信転送サービスです。INSボイスワープをご利用になると、転送する条件を選択することができます。転送先は5か所まで登録できます。

INSボイスワープセレクトをご利用になると、INSボイスワープの機能に加えて、転送する方法を選択することができます。

INSボイスワープ



転送条件を次の中から選択することができます。

- かかってきた電話を無条件で転送する（無条件転送）
- あらかじめ設定した秒数だけ着信を通知し、応答がなければ転送する（無応答時転送）
- 2つのポートを使用中のとき、または、着信拒否、i・ナンバー、ダイヤルインなどの設定により、1つのポートが空いていても着信できないときに転送する（話中時転送）

INSボイスワープセレクト



INSボイスワープの機能に加えて、転送方法を次の中から選択することができます。

- 登録した電話番号からの着信を転送する（登録番号転送モード）
- 登録した電話番号以外からの着信を転送し、登録した電話番号からの着信は転送しない（登録番号着信モード）
- すべての着信を転送する（全番号転送モード）

● 必要な契約

INSボイスワープ／ボイスワープセレクトの契約（有料）が必要です。転送先の電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。

● 必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

INSボイスワープ／ボイスワープセレクトをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

（次ページへ続きます）



お知らせ

- INSボイスワープ、INSボイスワープセレクトについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
フアックスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話の呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定

条件を指定して転送するには (INSボイスワープ/INSボイスワープセレクト)

(前ページの続きです)

INSボイスワープ/INSボイスワープセレクトをご利用になる場合の設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSボイスワープ/INSボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

TELで設定 (←P2-86)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● 発信者番号を登録する

ハンドセットを取りあげる→(※)(※)(※)→設定するTELポートの番号(①または②)→②①→(※)→電話番号→(※)→ハンドセットを置く

PCで設定 (←P6-12)

1 ホームページを表示する。(←P3-2)

2 メニューの「詳細設定」をクリックする。

3 [TEL1ポート設定] または [TEL2ポート設定] の [発信・着信1] をクリックし、[発信者番号] に電話番号を入力して、[登録] をクリックする。

4 [登録完了] 画面が表示されるので、[了解] をクリックする。
ホームページに戻るときは [ホーム] アイコンをクリックします。

すべての電話をキャッチするには (INSマジックボックス)



INSマジックボックスは、メッセージ録音、着信転送、INSキャッチホンの機能を1つにまとめたサービスです。不在時には、相手にメッセージを録音していただいたり、登録した電話番号へ転送することができます。お話し中にかかってきた電話にも出ることができます。

■ メッセージ録音について

録音されたメッセージは、当社のメッセージセンタに保存されます。外出先からメッセージを聞くこともできます。

メッセージは1件3分まで、最大20件まで録音できます。メッセージの保存期間は7日間です。

● 必要な契約

INSマジックボックスの契約（有料）が必要です。ご契約時に転送先の電話番号を登録してください。

● 必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSマジックボックスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

機 能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号	機能番号：20 (☞P2-86)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞P6-12)	電話番号（最大32桁）を入力する

INSマジックボックスのINSキャッチホンをご利用になる場合は、INSキャッチホンの設定を行ってください。(☞P2-15)

INSマジックボックスの着信転送をご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
ファックスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定



お知らせ

- INSマジックボックスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

電話機から機能を設定するには

本商品のさまざまな機能をご利用になるには、設定が必要です。アナログポート（TEL1ポートまたはTEL2ポート）に接続した電話機を使って、アナログポートのいろいろな機能を設定することができます。

本商品をINSネット64回線に接続していなくても、設定は行えます。

以下の手順をご確認のうえ、設定一覧（←P2-78）の表をご覧ください。

■ 設定手順

〈例〉TEL1ポートに疑似キャッチホンを設定する

共通の開始操作です。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。INSネット64回線に接続していないときは話中音が聞こえます。



2 ＊ ＊ ＊を押す。

「ブツ」という設定開始音が聞こえます。



3 ポート番号を押す。

- ①：TEL1、TEL2ポート共通設定
- ①：TEL1ポート設定
- ②：TEL2ポート設定

〈例〉TEL1ポート設定



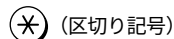
4 機能番号を押す。

現在の設定内容が表示されます。

〈例〉キャッチホン



5 ＊ ボタンを押す。



6 設定値をダイヤルボタンで押す。

〈例〉疑似キャッチホン



共通の終了操作です。

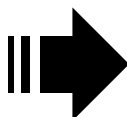
7 ㊦ ボタンを押す。

「ブップ」という確認音が聞こえます。



8 ハンドセットを置く。

設定内容が保存されます。



その他の設定は、設定一覧（←P2-78）の表をご覧ください。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
録音／メッセージ

7
電話機からの設定



ワンポイント

● 続けて設定するには

手順7の操作のあと、手順3に戻ります。すべての設定が終わったら、ハンドセットを置きます。

● 操作を間違えたときは

「ブブブブブ」 という音が聞こえます。手順3からやり直してください。

● 設定を中止するには

ハンドセットを置きます。また、何も操作しないまま約60秒過ぎると、設定が中止されます。中止したときは、「ブブブ」 という確認音が聞こえたところまでの設定が保存されます。

● リセット処理（お買い求め時の設定に戻す）を行ったときは

手順7で「ブブブ」 という確認音は聞こえず、本商品が再起動します。



お知らせ

- 2台の電話機から同時に設定操作をすることはできません。
- 手順7で(Ⓜ)ボタンを押したあと、ハンドセットを置く前に本商品の電源プラグを抜き差しするなどにより、電源が切断された状態になった場合は、設定内容は保存されません。

電話機から機能を設定するには

■ 設定一覧

● アナログポート共通の機能

TEL1ポート、TEL2ポート共通の機能です。ポート番号は①を押します。設定手順（P2-76）を参考に、左から順に操作します。

機能番号	機 能	開始操作	ポート番号	機能番号
50	三者通話 (P2-24、2-25)	 * * *	①	⑤ ①
51	通信中転送 (P2-29)	 * * *	①	⑤ ①
52	着信転送 (P2-68)	 * * *	①	⑤ ②
53	着信転送トーク設定 (P2-68)	 * * *	①	⑤ ③
54	着信転送先電話番号 (契約者回線番号用) (P2-69)	 * * *	①	⑤ ④
55	着信転送先電話番号 (ダイヤルイン / i・ナ ンバー用1) (P2-69)	 * * *	①	⑤ ⑤
56	着信転送先電話番号 (ダイヤルイン / i・ナ ンバー用2) (P2-69)	 * * *	①	⑤ ⑥

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
録音／メッセージ

7
電話機からの
設定

※下線——は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容				終了操作
✳	①：使用しない				✎ 
	②：疑似三者通話				
	③：三者通話				
✳	①：使用しない				✎ 
	②：使用する				
✳	①：使用しない				✎ 
	②：疑似着信転送				
	③：着信転送				
✳		転送トーキ	転送元トーキ	ユーザ情報	✎ 
	①	なし	なし	なし	
	②	あり	なし	なし	
	③	なし	あり	あり	
	④	あり	あり	あり	
	⑤	なし	なし	あり	
✳	転送先の電話番号（最大32桁）				✎ 
✳	転送先の電話番号（最大32桁）				✎ 
✳	転送先の電話番号（最大32桁）				✎ 

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機 能	開始操作	ポート番号	機能番号
57	着信転送元電話番号 (契約者回線番号用) (☞P2-69)	 (***)	①	⑤ ⑦
58	着信転送元電話番号 (ダイヤルイン / i・ナ ンバー用1) (☞P2-69)	 (***)	①	⑤ ⑧
59	着信転送元電話番号 (ダイヤルイン / i・ナ ンバー用2) (☞P2-69)	 (***)	①	⑤ ⑨
61	モデムダイヤルイン用 契約者回線番号 (☞P2-62)	 (***)	①	⑥ ①
62	優先着信ポート指定 (☞P2-14)	 (***)	①	⑥ ②
64	内線機能 (☞P2-9)	 (***)	①	⑥ ④
65	FAX自動転送 (☞P2-38)	 (***)	①	⑥ ⑤
72	話者切替タイマ (☞P2-28)	 (***)	①	⑦ ②
73	フッキング検出タイマ (☞P2-9)	 (***)	①	⑦ ③
74	ダイヤル桁間タイマ (☞P2-3)	 (***)	①	⑦ ④

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
録音／メッセージ

7
電話機からの
設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	電話番号（最大20桁）	⊞ 
⊛	①：指定しない ①：TEL1ポート ②：TEL2ポート	⊞ 
⊛	①：使用しない ①：使用する	⊞ 
⊛	①：しない ①：する	⊞ 
⊛	②～⑨：話者切替までの時間（2～9秒） （お買い求め時：4秒）	⊞ 
⊛	①：短い（100～500 ms） ①：普通（300～1000 ms） ②：長い（500～1500 ms）	⊞ 
⊛	① ②～① ⑤：ダイヤル桁間の空き時間（2～15秒） （お買い求め時：4秒）	⊞ 

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機 能	開始操作	ポート番号	機能番号
75	ダイヤル終了識別 (☞P2-3)	 * * *	⑦	⑤
76	MSGランプ設定 (Lモード関連) (☞P2-34、2-36)	 * * *	⑦	⑥
83	i・ナンバー (☞P2-50)	 * * *	⑧	③
84	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報1 (☞P2-50)	 * * *	⑧	④
85	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報2 (☞P2-50)	 * * *	⑧	⑤
86	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報3 (☞P2-50)	 * * *	⑧	⑥
999	リセット処理 (お買い求め時の設定) に戻す	 * * *	⑨	⑨ ⑨

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
録音／メッセージ

7
電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⌘	①：識別しない ②：⌘で識別する ③：⌘⌘で識別する	⌘ 
⌘	①：メッセージあり状態表示をしない ②：メッセージあり状態表示をする	⌘ 
⌘	①：使用しない ②：使用する	⌘ 
⌘	i・ナンバー情報1に対応した電話番号（最大20桁）	⌘ 
⌘	i・ナンバー情報2に対応した電話番号（最大20桁）	⌘ 
⌘	i・ナンバー情報3に対応した電話番号（最大20桁）	⌘ 
⌘	④ ④：すべての設定値をお買い求め時に戻す	⌘ 

電話機から機能を設定するには

● アナログポート個別の機能

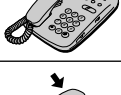
TEL1ポート、TEL2ポートごとに設定が必要です。

TEL1ポートの設定→ポート番号 ① を押す

TEL2ポートの設定→ポート番号 ② を押す

機能番号	機 能	開始操作	ポート番号	機能番号
01	接続機器 (☞P2-65)	 * * *	① または ②	① ①
02	キャッチホン (☞P2-15、2-16)	 * * *	① または ②	① ②
03	グローバル着信選択 (☞P2-58)	 * * *	① または ②	① ③
04	サブアドレスなし着信 選択 (☞P2-64)	 * * *	① または ②	① ④
05	INSなりわけ (☞P2-20)	 * * *	① または ②	① ⑤
06	疑似なりわけ (☞P2-21)	 * * *	① または ②	① ⑥
07	なりわけ動作設定 (☞P2-20、2-21)	 * * *	① または ②	① ⑦

※下線____は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
＊	①：電話機1 <u>①：ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機</u> ②：電話機2 ③：ファクス	③ 
＊	<u>①：使用しない</u> ①：疑似キャッチホン ②：INSキャッチホン	② 
＊	<u>①：着信する</u> ①：着信しない	① 
＊	<u>①：着信する</u> ①：着信しない	① 
＊	<u>①：使用しない</u> ①：使用する	① 
＊	<u>①：使用しない</u> ①：使用する	① 
＊	<u>①：識別リング</u> ①：セキュリティ（着信拒否）	① 

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機 能	開始操作	ポート番号	機能番号
09	メッセージあり情報通知 (Lモード関連) (☛P2-34、2-36)	 * * *	① または ②	① ⑨
10	ナンバー・ディスプレイ 発信者番号通知 (☛P2-43)	 * * *	① または ②	① ①
11	ナンバー・ディスプレイ 発サブアドレス付加 設定 (☛P2-44)	 * * *	① または ②	① ①
12	モデムダイヤルイン着信 電話番号通知 (☛P2-60、2-62)	 * * *	① または ②	① ②
13	モデムダイヤルイン着 サブアドレス付加設定 (☛P2-63)	 * * *	① または ②	① ③
14	転送元電話番号表示 (☛P2-44)	 * * *	① または ②	① ④
15	内線呼出信号設定 (☛P2-9)	 * * *	① または ②	① ⑤
16	着信拒否 (☛P2-3)	 * * *	① または ②	① ⑥
17	受話音量調整 (☛P2-3)	 * * *	① または ②	① ⑦
20	発信者番号 (☛P2-41)	 * * *	① または ②	② ①

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①：しない ②：する	⊞ 
⊛	①：しない ②：する	⊞ 
⊛	①：しない ②：する	⊞ 
⊛	①：しない ②：する	⊞ 
⊛	①：しない ②：する	⊞ 
⊛	①：しない ②：する	⊞ 
⊛	①：呼出信号1「ブルブル、ブルブル…」 ②：呼出信号2「ブルブル、ブルブル…」	⊞ 
⊛	①：する ②：しない	⊞ 
⊛	①：小 ②：中 ③：大	⊞ 
⊛	電話番号（最大32桁）	⊞ 

（次ページへ続きます）

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機 能	開始操作	ポート番号	機能番号
21	発信者番号通知 (☞P2-41)	 * * *	① または ②	② ①
22	発信規制 (☞P2-3)	 * * *	① または ②	② ②
23	発信ポート番号指定 (☞P2-50)	 * * *	① または ②	② ③
24	i・ナンバー着信設定 (☞P2-50)	 * * *	① または ②	② ④
25	キャッチホン・ディス プレイ発信電話番号通 知 (☞P2-47)	 * * *	① または ②	② ⑤
26	キャッチホン・ディス プレイ発サブアドレス 付加設定 (☞P2-47)	 * * *	① または ②	② ⑥
27	ホットライン (☞P2-32)	 * * *	① または ②	② ⑦

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
ファックスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送／メッセージ

7
電話機からの設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作																																				
⌘	①：発信者番号通知しない ②：発信者番号通知する ③：INSネット64申し込み内容に従う	⌘ 																																				
⌘	①：発信規制しない ②：0発信規制 ③：外線発信規制	⌘ 																																				
⌘	①：i・ナンバー情報1（TEL1ポートのお買い求め時の設定） ②：i・ナンバー情報2（TEL2ポートのお買い求め時の設定） ③：i・ナンバー情報3	⌘ 																																				
⌘	<table><thead><tr><th></th><th>i・ナンバー情報1</th><th>i・ナンバー情報2</th><th>i・ナンバー情報3</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>②</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>③</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>④</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><td>⑤</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>⑥</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>⑦</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>⑧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></tbody></table> お買い求め時の設定 TEL1ポート：① TEL2ポート：②		i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2	i・ナンバー情報3	①	×	×	×	②	○	×	×	③	×	○	×	④	○	○	×	⑤	×	×	○	⑥	○	×	○	⑦	×	○	○	⑧	○	○	○	○＝着信可 ×＝着信不可 ⌘ 
	i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2	i・ナンバー情報3																																			
①	×	×	×																																			
②	○	×	×																																			
③	×	○	×																																			
④	○	○	×																																			
⑤	×	×	○																																			
⑥	○	×	○																																			
⑦	×	○	○																																			
⑧	○	○	○																																			
⌘	①：しない ②：する	⌘ 																																				
⌘	①：しない ②：する	⌘ 																																				
⌘	①：しない ②：する	⌘ 																																				

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機 能	開始操作	ポート番号	機能番号
28	ホットライン番号 (☛P2-32)	 * * *	① または ②	② ⑧
29	FAX無鳴動着信 (☛P2-40)	 * * *	① または ②	② ⑨
30～ 37	着信する番号 (0～7) (☛P2-58)	 * * *	① または ②	③ ⑦ ③ ⑧
38	サブアドレス (☛P2-64)	 * * *	① または ②	③ ⑧
40～ 49	短縮ダイヤル (0～9) (☛P2-31)	 * * *	① または ②	④ ⑨ ④ ⑧
90～ 99	疑似なりわけ番号(0～9) (☛P2-21)	 * * *	① または ②	⑨ ⑨ ⑨ ⑧

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送／メッセージ
録音

7
電話機からの
設定

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	①：しない ②：する	⊞ 
⊛	電話番号（最大32桁）	⊞ 
⊛	サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 
⊛	電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⊛、サブアドレス（最大19桁）	⊞ 

ホームページの利用編

- 1 ブラウザでの設定 3-2
- 2 基本設定を行う 3-7

ホームページについて

本商品のいろいろな機能を利用するには、パソコンからブラウザを使用して設定を行う必要があります。

ホームページを表示する

1 パソコンの設定を行う。

「パソコン準備ガイド」を参照して、必要な設定を行ってください。

2 パソコンから本商品に接続する。

- ・「パソコン準備ガイド」の「本商品に接続する」を参照してください。
- ・「パソコン準備ガイド」の手順によりすでに接続が済んでいる場合はこの手順は不要です。

3 パソコンでブラウザを起動し、URL欄に「http://192.168.1.2」と入力し、Enterキーを押す。

ホームページが表示されます。
画面はInternet Explorerの例です。



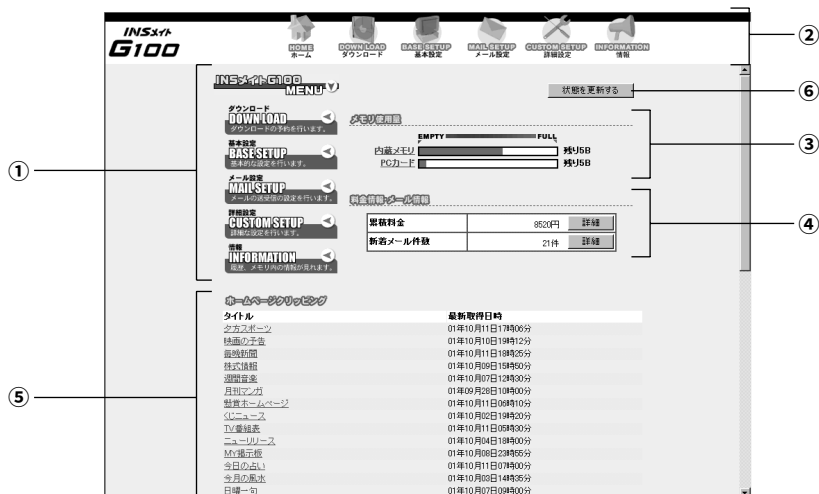
STOP お願い

- お使いのブラウザのインターネット一時ファイルの設定を「ページを表示することに確認する」などにしてお使いください。
Internet Explorerでの設定例
 - ① [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックする。
 - ② [インターネットオプション] 画面の [インターネット一時ファイル] の [設定] をクリックする。
 - ③ [設定] 画面の [保存しているページの新しいバージョンの確認] で、[ページを表示することに確認する] を選択し、[OK] をクリックする。
 - ④ [インターネットオプション] 画面で [OK] をクリックする。

お知らせ

- ブラウザはInternet Explorer 4.X以上またはNetscape Navigator® 4.5以上をご利用ください。
- ブラウザの画面サイズは横640ピクセル以上でご利用ください。

ホームページの見かた



①メニュー

設定のメニューが表示されます。メニュー項目をクリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。

②画面上部のアイコン

アイコンをクリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。[ホーム] アイコンをクリックすると、ホームページ（この画面）に戻ります。

ダウンロード：ダウンロードの予約を行います。

基本設定：基本的な設定を行います。

メール設定：メールの送受信の設定を行います。

詳細設定：詳細な設定を行います。

情報：履歴や詳細な情報を見ることができます。

③メモリ使用量

本商品の内蔵メモリとPCカードのメモリ使用量が表示されます。[内蔵メモリ]、[PCカード]をクリックすると、それぞれの内容表示画面が表示されます。

④料金情報・メール情報

累積料金と新着メール件数が表示されます。[詳細]をクリックすると、それぞれの詳細画面が表示されます。

⑤ホームページクリッピング

ホームページクリッピングで定期取得の予約がされ、ダウンロードを完了したファイルが表示されます。

⑥[状態を更新する]をクリックすると現在の状況が表示されます。

最初に関くページに設定する

ブラウザを起動したとき、最初にINSメイトG100のホームページが表示されるように設定することができます。本商品を活用していただくために、この設定を行うことをお勧めします。例は、Internet Explorer 5.5の場合です。

1 ホームページを表示する。(P3-2)

2 [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックする。

3 [現在のページを使用] をクリックし、[ホームページ] の [アドレス] に「http://192.168.1.2」と表示されていることを確認する。

他のページを開いているときは、[アドレス] に「http://192.168.1.2」と入力してください。



4 [OK] をクリックする。

次回、ブラウザを起動すると、最初にINSメイトG100のホームページが表示されます。また、ブラウザの [ホーム] ボタンをクリックしてホームページを表示することもできます。

設定画面の基本操作

ブラウザの設定画面では、次のように操作します。

ホームページからの操作

設定画面では、次のように操作します。

- **項目の左や右に○や●があるとき**
グループ内で1つの項目を選択します。●が現在選択されているものです。変更するときは、○をクリックして●にします。

キャッチホン	☒ 使用しない
	☐ 疑似キャッチホン
	☐ INSキャッチホン

- **項目の左や右に□があるとき**
クリックして設定／解除を行います。設定するときは□をクリックして☑にします。複数の項目を選択できます。

i-ナンバー着信設定		
TEL1	TEL2	データ
☒	☐	☒
☐	☒	☒
☐	☐	☐

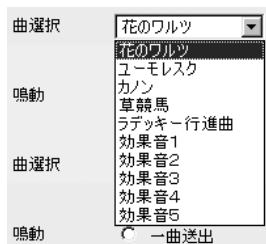
- **入力欄があるとき**
入力欄をクリックして、設定内容を入力します。入力欄のカーソルは、パソコンの [Tab] キーで移動できます。

i-ナンバー情報1	
	※最大半角20桁
i-ナンバー情報2	
	※最大半角20桁
i-ナンバー情報3	
	※最大半角20桁

設定画面の基本操作

● 項目に▼があるとき

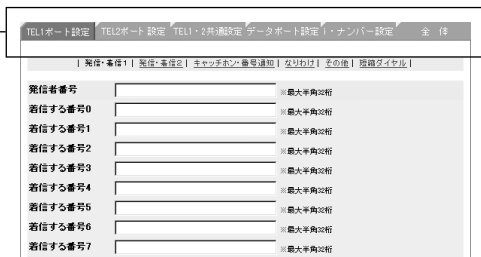
表示されているものが現在の設定内容です。変更するときは▼をクリックして、一覧から設定するものを選択します。



● タブ

複数の画面をタブで分類して配置した画面です。タブをクリックして画面を切り替えます。

タブ



● [BACK]

ブラウザの設定画面下部に「[BACK]」がある場合は、「[BACK]」をクリックすると1つ前に見ていた画面に戻ります。



お知らせ

- ブラウザの設定画面で「登録」をクリックしても、登録前の画面を表示することがあります。このような場合は設定画面の中央にマウスのカーソルを合わせて右クリックし、表示されたショートカットメニューの「最新の情報に更新」などをクリックしてください。

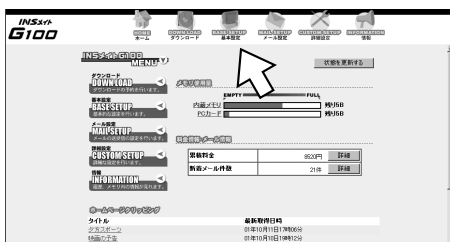
日時を設定するには

日付・時刻を本商品に設定します。

1 ホームページを表示する。(←P3-2)

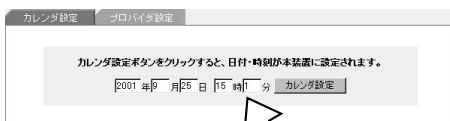
2 [基本設定] アイコンをクリックする。

カレンダー設定画面が表示されます。



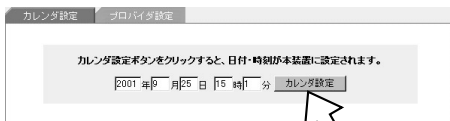
3 日付、時刻を入力する。

例：2001年9月25日15時1分



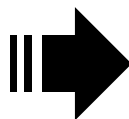
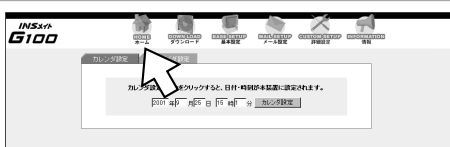
4 [カレンダー設定] をクリックする。

日付・時刻が本商品に設定されます。



5 [ホーム] アイコンをクリックする。

ホームページに戻ります。



引き続き「プロバイダの設定を行うには」(←P3-8)へ進みます。



お知らせ

- 本商品の時刻は目安としてご利用ください。
- 日付・時刻は、停電時動作用の乾電池により、停電時でも保持されます。(←P1-10)
- Windows®をご利用の場合は、手順2で「基本設定」アイコンをクリックしたときにパソコンに設定されている日付・時刻が表示されます。このとき、以前に手順2で「基本設定」アイコンをクリックしたときにパソコンに設定されていた日付・時刻が表示されることもあります。
- Macintoshをご利用の場合は、手順2で「基本設定」アイコンをクリックしたときに表示される日付・時刻は不定の値です。

プロバイダの設定を行うには

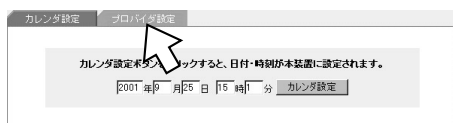
ご利用になるインターネットサービスプロバイダのサーバの情報を設定します。プロバイダから通知されたDNSサーバなどの情報が必要です。

1 ホームページを表示する。(←P3-2)

2 [基本設定] アイコンをクリックする。

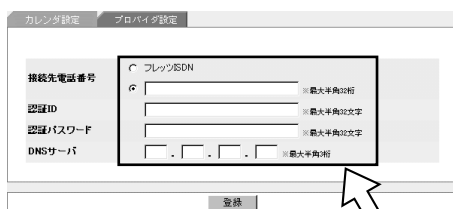


3 [プロバイダ設定] をクリックする。



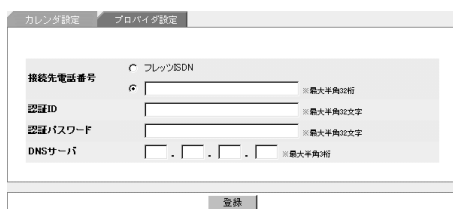
4 プロバイダの情報を入力する。

- ・フレッツ・ISDNをご利用になる場合は、[フレッツISDN] を選択し、[認証ID]、[認証パスワード]、[DNSサーバ] に、プロバイダから通知された情報を入力します。
- ・フレッツ・ISDNをご利用にならない場合は、[接続先電話番号] 入力欄左の○をクリックして●にし、[接続先電話番号]、[認証ID]、[認証パスワード]、[DNSサーバ] に、プロバイダから通知された情報を入力します。
- ・プロバイダによっては、DNSサーバのIPアドレスを入力する必要がない場合もあります。



5 [登録] をクリックする。

これでインターネットに接続する準備が完了しました。



インターネット活用編

- 1 インターネットの利用 4-2
- 2 ダウンロード 4-5
- 3 便利に使う 4-22

インターネットを利用するには

必要なソフトウェア

■ ブラウザ

ホームページを見るためのソフトウェアです。Webブラウザ、WWWブラウザと言うこともあります。代表的なブラウザとして、Internet Explorer、Netscape Navigator® があります。OSに付属しているソフトウェア以外の市販品、フリーウェアを利用することもできます。

■ 電子メールソフト

インターネットで電子メールを送信、受信するためのソフトウェアです。代表的なメールソフトとして、Outlook Express、Netscape Messengerなどがあります。OSに付属しているソフトウェア以外の市販品、フリーウェアを利用することもできます。

フレッツ・ISDNをご利用になる場合

フレッツ・ISDNは、ご契約の回線を使用した同期64 kbit/sのデジタル通信のみをサポートしています。ご利用になる場合は、次の点をご確認ください。

- ・ フレッツ・ISDNに対応したプロバイダと契約する必要があります。
- ・ 契約いただいたISDN回線以外の回線からは接続できません。
- ・ 128 kbit/sの通信はご利用になれません。
- ・ アナログポートを利用した通信はできません。
- ・ i・ナンバーまたはダイヤルインをご契約の場合、発信者番号の設定が追加番号に設定されていると接続できません。



ワンポイント

● インターネット上のホームページを直接見るには

ブラウザのアドレス（URL）欄にURLを入力してEnterキーを押します。Internet Explorerをお使いの場合、お気に入りに登録しているページは、お気に入りのメニューから選択することもできます。



お知らせ

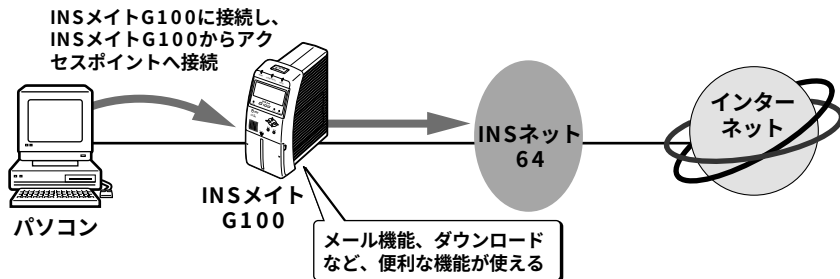
- 本書での説明は、一例を示しています。詳細は、ソフトウェアメーカ、パソコンメーカ、インターネットサービスプロバイダなどへお問い合わせください。

ノーマルモードとダイレクトモード

本商品は、ノーマルモードとダイレクトモードでお使いになることができます。通常は、ノーマルモードでお使いください。

●ノーマルモード

パソコンから「9999」をダイヤルして本商品に接続します。データポートに接続したパソコンで、本商品のメール機能、Webコンテンツのダウンロード機能をご利用になることができます。同期64 kbit/sでインターネットに接続します。



●ダイレクトモード

ネットミーティングやオンラインゲームなど、ノーマルモードではご利用になれないサービスをお使いになる場合は、ダイレクトモードでインターネットに接続します。パソコンからプロバイダのアクセスポイントの電話番号にダイヤルしてインターネットに接続します。

同期64 kbit/sまたは128 kbit/sでインターネットに接続することができます。

ダイレクトモードでインターネットに接続するための設定については、INSメイトG100専用CD-ROMの「参考情報」を参照してください。



お知らせ

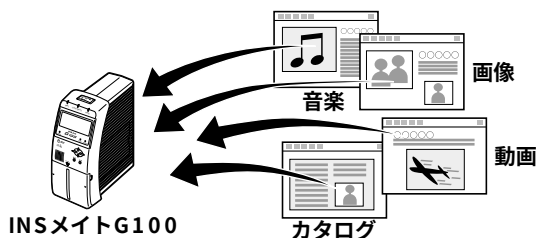
- プロバイダの専用アプリケーション等で、パソコンとプロバイダが直接接続する必要がある場合、ノーマルモードでは正常に接続できない場合があります。

コンテンツのダウンロードと ホームページクリッピング

本商品では、コンテンツのダウンロードと、ホームページクリッピングを行うことができます。

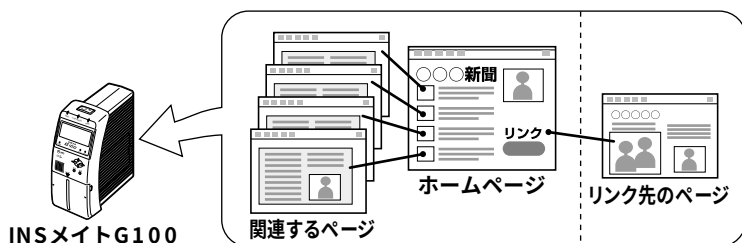
コンテンツダウンロード

インターネットのWebサイトから、音楽ファイル、画像ファイル、動画ファイルなどをダウンロードすることができます。



ホームページクリッピング

Web上のホームページをダウンロードすることができます。新聞記事などのデータをまるごとダウンロードできます。



指定したホームページの関連ファイルをダウンロードする。
1つ先のリンク先のページをダウンロードすることもできる。

お知らせ

- 人気サイトなどからのダウンロードは、サーバが込み合っている場合がありますダウンロードを失敗する場合があります。失敗したときはダウンロードを行う時間をずらして再度行ってください。
- コンテンツダウンロードやホームページクリッピングにおいて、コンテンツやホームページをダウンロードできない場合があります。また、javascript、CGI、リダイレクトやSSLなどの記述のホームページもダウンロードすることができない場合があります。このような場合は、コンテンツダウンロード／ホームページクリッピング画面の「状況」欄が「済み」になりますが、内容を見たり開いたりすることはできません。
- ダウンロードしたホームページに表示される画像などのリンク先は、本商品の保存先書き換えます。
- ブラウザのインターネット一時ファイルにより以前の画面を表示することがあります。このような場合は設定画面の中央にマウスのカーソルを合わせて右クリックし、表示されたショートカットメニューの「最新の情報に更新」などをクリックしてください。
- ブラウザの「戻る」や「更新」ボタンをクリックしても動作しない場合があります。

コンテンツダウンロードの予約をするには

インターネットのコンテンツを本商品の内蔵メモリやPCカードにダウンロードすることができます。パソコンを起動していなくても、指定した時刻にダウンロードすることができます。最大50件まで予約することができ、最大3予約まで同時にダウンロードできます。

コンテンツダウンロード画面で「状態を更新する」をクリックして、現在の予約状況を確認してから予約を行ってください。

1
イン
ター
ネッ
ト

2
ダウ
ンロ
ード

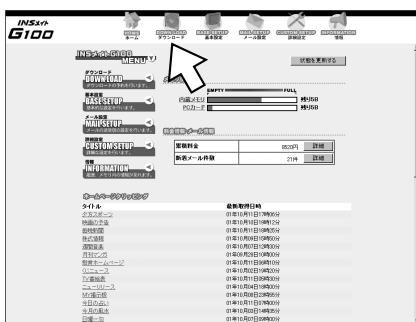
3
便
利
に
使
う

コンテンツダウンロードの予約をする

ダウンロードするサイトのURLを指定して、データをダウンロードします。

1 ホームページの「ダウンロード」アイコンをクリックする。

コンテンツダウンロードの現在の予約状況が表示されます。



2 「新規に登録する」をクリックする。

コンテンツダウンロード ホームページクリップ

状態を更新する		新規に登録する			
タイトル	本文	予約	削除		
1 スクリーンセーバ	済み	登録済	削除		
2 音楽再生ソフト	済み	登録済	削除		
3 Winamp.dll	済み	PCカード	登録済	削除	
4 山の風景.jpg	ダウンロード中	内蔵メモリ	登録済	削除	
5 kame.kth	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
6 秋の静寂	予約(指定)	内蔵メモリ	登録済	削除	
7 小沢1st	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
8 カシゴ	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
9 プラザマップ	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
10 虫の囁き声	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
11 チャレンジ	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
12 ユーティリティソフト	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
13 ワイヤレスゲーム	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
14 ベービーホビー	予約(指定)	内蔵メモリ	登録済	削除	
15 映画のポスター	予約(指定)	内蔵メモリ	登録済	削除	
16 TVCM	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
17 圧縮ソフト	予約(指定)	内蔵メモリ	登録済	削除	
18 ビューアソフト	予約(指定)	内蔵メモリ	登録済	削除	
19 ファイル転送ソフト	予約(指定)	内蔵メモリ	登録済	削除	
20 取扱説明書	予約(指定)	PCカード	登録済	削除	
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

3 ダウンロードするコンテンツのタイトル、アドレス (URL) を入力する。

[タイトル] : 任意のタイトルを入力します。
(全角32文字／半角64文字以内)

ここで入力したタイトルは
[コンテンツダウンロード]
画面でタイトルとして表示されます。

[アドレス] : URLを「http://」または
「ftp://」から入力します。
(半角255文字以内)

URLにファイル名を付けない場合は、サーバ
が指定したファイルをダウンロードします。

4 [保存場所] で [内蔵メモリ] または [PCカード] を選択する。

[内蔵メモリ] :

内蔵メモリにデータを保存します。

[PCカード] :

PCカードにデータを保存します。フォルダを指定する場合は、[フォルダの指定] にフォルダ名を入力します。何も入力しないと、フォルダを作成しないでそのまま保存されます。



お知らせ

- タイトルを入力しないときは、「http://」または「ftp://」を除いたURLがタイトルに置き換わります。
- URLにおいて、「?」や「#」は設定できません。
- PCカードの [フォルダ指定] のフォルダ名において、先頭または最後に、(ピリオド) は設定できません。
- PCカードのフォルダ名において、フォルダが作成できない文字は「_」(アンダーバー) に変換します。
- PCカードのフォルダ名において、(¥) はフォルダの階層の区切りになります。

<例> フォルダ名にAAA¥BBBと入力すると、以下のようにフォルダが作成されます。



お願い

- PCカード内のフォルダ名+ファイル名(拡張子含む)は最大半角255文字までです。これを超えると保存できません。

5 [今すぐダウンロード] または [指定時間にダウンロード] を選択する。

[今すぐダウンロード]：

今すぐデータをダウンロードします。

[指定時間にダウンロード]：

時刻を指定して、その時刻になると自動的にデータをダウンロードするように設定します。

予約内容

タイトル サイコロゲーム ※最大全角10文字

アドレス (URL) http://***** ※最大半角255文字

保存場所
☐ 内蔵メモリ
☐ PCカード ファイル名の指定 ※最大半角100文字

予約設定
☐ 今すぐダウンロード
☒ 指定時間にダウンロード

指定時間 0 時 0 分

優先度 最後 ※

登録

BACK

6 [指定時間にダウンロード] を選択した場合は、[指定時間] で時刻を選択する。

時刻は5分単位で指定することができます。

予約内容

タイトル サイコロゲーム ※最大全角10文字

アドレス (URL) http://***** ※最大半角255文字

保存場所
☐ 内蔵メモリ
☐ PCカード ファイル名の指定 ※最大半角100文字

予約設定
☐ 今すぐダウンロード
☒ 指定時間にダウンロード

指定時間 0 時 0 分

優先度 最後 ※

登録

BACK

7 優先度を選択する。

ダウンロードする順番を選びます。

1～49と「最後」の中から優先度を選択します。優先度の数字が小さいものからダウンロードを実行します。「最後」を選択すると、優先度が既存の予約のあとになります。

予約内容

タイトル サイコロゲーム ※最大全角10文字

アドレス (URL) http://***** ※最大半角255文字

保存場所
☐ 内蔵メモリ
☐ PCカード ファイル名の指定 ※最大半角100文字

予約設定
☐ 今すぐダウンロード
☒ 指定時間にダウンロード

指定時間 0 時 30 分

優先度 最後 ※

登録

BACK

8 [登録] をクリックする。

予約が設定されます。

予約内容

タイトル サイコロゲーム ※最大全角10文字

アドレス (URL) http://***** ※最大半角255文字

保存場所
☐ 内蔵メモリ
☐ PCカード ファイル名の指定 ※最大半角100文字

予約設定
☐ 今すぐダウンロード
☒ 指定時間にダウンロード

指定時間 0 時 30 分

優先度 5 ※

登録

BACK

(次ページへ続きます)

コンテンツダウンロードの予約をするには

(前ページの続きです)

予約状況を確認する

コンテンツダウンロードの画面で、現在の予約状況を確認することができます。予約の状況が「済み」、「ダウンロード中」、「予約」、「予約（指定）」の順に表示され、予約状況が同じ場合は、予約を設定した順に表示されます。

[済み]：ダウンロードが完了しているとき

[ダウンロード中]：

ダウンロード実行中のとき

[予約]：

「今すぐダウンロード」で予約しているとき

[予約（指定）]：

時刻を指定して予約しているとき（時刻の早い順に表示されます。）

コンテンツダウンロード ホームページのリロード

状態を更新する 新規に登録する

タイトル	状況	保存先	詳細	削除
1 スクリーンセーバーA	済み	PCカード	詳細	削除
2 音楽再生ソフト	済み	PCカード	詳細	削除
3 shroudf	済み	PCカード	詳細	削除
4 山の紅葉.jpg	ダウンロード中	内蔵メモリ	詳細	削除
5 came.1st	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
6 秋の風景	予約(指定)	内蔵メモリ	詳細	削除
7 小銃1st	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
8 カレンダー	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
9 ドライブマップ	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
10 虫の鳴き声	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
11 チャレンジ	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
12 ユーザイロチノフ	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
13 ユーザイロチノフ	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
14 ベー(ー)オビ	予約(指定)	内蔵メモリ	詳細	削除
15 映画のポスター	予約(指定)	内蔵メモリ	詳細	削除
16 TVCM	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
17 音楽ソフト	予約(指定)	内蔵メモリ	詳細	削除

ダウンロードに失敗したときは

ダウンロードに失敗したとき、自動的にダウンロードし直すように設定することができます。また、ダウンロードをやり直す回数を指定することができます。(☞P6-28)

ダウンロードするファイルの容量が大きく、ダウンロードに失敗したときは、NATタイマの設定時間を長くして予約し直してください。(☞P6-28)



ワンポイント

- 「コンテンツダウンロードの予約をする」の手順3～7で予約の設定を中止するには
[BACK] をクリックします。
- 付属アプリケーションを利用するには
本商品の付属アプリケーション（Windows®専用）を使って、ダウンロードの設定を行うこともできます。
付属アプリケーションについては、「付属アプリケーション取扱説明書」を参照してください。
- 最新の予約状況を確認するには
コンテンツダウンロードの画面で「状態を更新する」をクリックします。
- ダウンロードに時間がかかるファイルを指定するときは
容量の大きいファイルはダウンロードに時間がかかるので、ダウンロード中に次の予約のダウンロード開始時刻になってしまうことがあります。ダウンロードに時間がかかりそうな場合は、次の予約と時間が重ならないように、優先度を最後にするか、次の予約の開始時刻を遅く設定してください。
- 保存先に同じファイル名のファイルがあるときは
同じ予約でダウンロードを再度実行した場合や、保存先に同じファイル名がある場合、ダウンロードしたファイルのファイル名は、次のようになります。
(例)
最初に保存したファイル：index.html
2番目に保存したファイル：index(1).html
3番目に保存したファイル：index(2).html



お知らせ

- 同一のファイル名のコンテンツを同時にダウンロードしようとしたときは、エラーになりファイルを開くことができない場合があります。
- ダウンロード中のファイルを開くことはできません。
- 上限料金を設定している場合は、その金額を超えると、予約を設定していてもダウンロードは行われません。
- 内蔵メモリの容量は11Mバイトです。メールとダウンロードファイルを内蔵メモリに保存すると、容量が足りなくなることがありますので、定期的に内蔵メモリからパソコンへデータをコピーし、予約情報を削除してください。(☞P4-16)
- ダウンロードしたデータ、ダウンロード履歴や予約情報は、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されます。(☞P1-10)

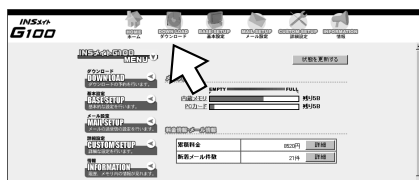
ホームページクリッピングの予約をするには

指定したURLを定期的にクリッピングして、ホームページをダウンロードします。最大50件まで予約することができ、最大3予約まで同時にダウンロードできます。ホームページクリッピング画面で「状態を更新する」をクリックして、現在の予約状況を確認してから予約を行ってください。

ホームページクリッピングの予約をする

ダウンロードするサイトのURLを指定して、ダウンロードする条件を設定します。

1 ホームページの「ダウンロード」アイコンをクリックする。



2 「ホームページクリッピング」をクリックする。

ホームページクリッピングの現在の予約状況が表示されます。

コンテスタダウンロード ホームページクリッピング

状態を更新する 新規に登録する

タイトル	状況	保存先	詳細	削除
1 スクリーンセーバ	済み	PCカード	詳細	削除
2 音楽再生ソフト	済み	PCカード	詳細	削除
3 shikouadl	済み	PCカード	詳細	削除
4 山の紅葉.jpg	ダウンロード中	内蔵メモリ	詳細	削除
5 name.htm	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
6 秋の絵巻	予約(指定)	内蔵メモリ	詳細	削除
7 小説.txt	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
8 カレンダー	予約(指定)	PCカード	詳細	削除

3 「新規に登録する」をクリックする。

コンテスタダウンロード ホームページクリッピング

状態を更新する 新規に登録する

タイトル	状況	保存先	詳細	削除
1 文庫情報	済み	PCカード	詳細	削除
2 車のカタログ	済み	PCカード	詳細	削除
3 企業の地図	済み	内蔵メモリ	詳細	削除
4 時刻表	済み	PCカード	詳細	削除
5 紅葉情報	予約(指定)	PCカード	詳細	削除
6 犬のイラスト	予約(定期)	PCカード	詳細	削除
7 映画の予告	予約(定期)	PCカード	詳細	削除
8 音楽動画	予約(定期)	PCカード	詳細	削除

4 ダウンロードするホームページのタイトル、アドレス(URL)を入力する。

タイトルはダウンロードするホームページごとに変わって入力してください。

【タイトル】：

任意のタイトルを入力します。(全角32文字／半角64文字以内)

【アドレス】：

URLを「http://」または「ftp://」から入力します。(半角255文字以内)

URLにファイル名を付けない場合は、サーバが指定したファイルをダウンロードし、ファイル名をindex.htmlとして保存します。

予約内容

タイトル
アドレス(URL)
予約指定
保存場所
予約日時設定
優先度

予約情報
http://*****
1つ先のリンク画面もダウンロード
内蔵メモリ
PCカード フォルダの指定
今すぐダウンロード
指定時間にダウンロード
毎日指定時間にダウンロード
毎週指定曜日、指定時間にダウンロード
毎月指定日、指定時間にダウンロード
指定日 1 日
指定時間 0 時 0 分
優先度 最優先

登録

BACK

5 リンク先の画面もダウンロードする場合は、[1つ先のリンク画面もダウンロード] をチェックする。

6 [保存場所] で [内蔵メモリ] または [PCカード] を選択する。

[内蔵メモリ]：

内蔵メモリにデータを保存します。

[PCカード]：

PCカードにデータを保存します。フォルダを指定する場合は、[フォルダの指定] にフォルダ名を入力します。何も入力しないと、フォルダを作成しないでそのまま保存されます。

ダウンロードしたホームページのファイルは、タイトル名のフォルダを自動的に作成

して、そのフォルダにまとめて保存されます。PCカードのフォルダを指定すると、指定したフォルダの中にタイトル名のフォルダが作成されます。

タイトル名のフォルダの中に、ダウンロードしたホームページにリンクしているlink.htmlが自動的に作成されます。

(次ページへ続きます)



お知らせ

- タイトルを入力しないときは、「http://」または「ftp://」を除いたURLがタイトルに置き換わります。
- タイトル名で、フォルダが作成できない文字は「_」（アンダーバー）に変換します。
- URLにおいて、「?」=; および先頭に#）は設定できません。
- PCカードの [フォルダ指定] のフォルダ名において、先頭または最後に、（ピリオド）は設定できません。
- PCカードのフォルダ名において、フォルダが作成できない文字は「_」（アンダーバー）に変換します。
- PCカードのフォルダ名において、（¥）はフォルダの階層の区切りになります。

<例>フォルダ名にAAA¥BBBと入力すると、以下のようにフォルダが作成されます。



お願い

- タイトルはダウンロードするホームページごとに覚えて入力してください。
異なるホームページに対して同じタイトルを付けた場合は、すでにダウンロードが終了したファイルの内容が消えたり、内容を見ることができなくなる場合があります。
- PCカード内のフォルダ名+ファイル名（拡張子含む）は最大半角255文字までです。これを超えると保存できません。

ホームページクリッピングの予約をするには

(前ページの続きです)

7 予約日時を設定する。

[今すぐダウンロード] :

今すぐデータをダウンロードします。

[指定時間にダウンロード] :

日時を指定して、その日時になると自動的にデータをダウンロードするように設定します。

[毎日指定時間にダウンロード] :

毎日、同じ時刻にダウンロードします。

[毎週指定曜日、指定時間にダウンロード] :

毎週、同じ曜日の同じ時刻にダウンロードします。

[毎月指定日、指定時間にダウンロード] :

毎月、同じ日、同じ時刻にダウンロードします。

8 [指定時間にダウンロード]、[毎日指定時間にダウンロード] を選択した場合は、[指定時間] で時刻を選択する。

時刻は5分単位で指定することができます。

9 [毎週指定曜日、指定時間にダウンロード] を選択した場合は、曜日をクリックスし、[指定時間] で時刻を選択する。

10 [毎月指定日、指定時間にダウンロード] を選択した場合は、[指定日] で日付を選択し、[指定時間] で時刻を選択する。

予約内容

タイトル 様式情報 ※最大全角32文字

アドレス (URL) http://***** ※最大半角128文字

解解指定 ☒ 1つ先のリンク画面もダウンロード

解解指定 ☐ 内蔵メモリ

保存場所 ☐ PCカード フォルダの指定 ※最大半角1024文字

☐ 今すぐダウンロード

☐ 指定時間にダウンロード

☐ 毎日指定時間にダウンロード

予約日時設定 ☐ 毎週指定曜日、指定時間にダウンロード

☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土

☐ 毎月指定日、指定時間にダウンロード

指定日 10 日

指定時間 10 時 30 分

優先度 最後

登録

戻る

11 優先度を選択する。

ダウンロードする順番を選びます。
1～49と「最後」の中から優先度を選択します。優先度の数字が小さいものからダウンロードを実行します。「最後」を選択すると、優先度が既存の予約のあとになります。

予約内容

タイトル 様式情報 ※最大全角32文字

アドレス (URL) http://***** ※最大半角128文字

解解指定 ☒ 1つ先のリンク画面もダウンロード

解解指定 ☐ 内蔵メモリ

保存場所 ☐ PCカード フォルダの指定 ※最大半角1024文字

☐ 今すぐダウンロード

☐ 指定時間にダウンロード

☐ 毎日指定時間にダウンロード

予約日時設定 ☐ 毎週指定曜日、指定時間にダウンロード

☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土

☐ 毎月指定日、指定時間にダウンロード

指定日 17 日

指定時間 15 時 30 分

優先度 最後

登録

戻る

12 [登録] をクリックする。
予約が設定されます。

予約内容

タイトル 様式情報 ※最大全角32文字

アドレス (URL) http://***** ※最大半角128文字

解解指定 ☒ 1つ先のリンク画面もダウンロード

解解指定 ☐ 内蔵メモリ

保存場所 ☐ PCカード フォルダの指定 ※最大半角1024文字

☐ 今すぐダウンロード

☐ 指定時間にダウンロード

☐ 毎日指定時間にダウンロード

予約日時設定 ☐ 毎週指定曜日、指定時間にダウンロード

☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土

☐ 毎月指定日、指定時間にダウンロード

指定日 10 日

指定時間 10 時 30 分

優先度 10

登録

戻る

(次ページへ続きます)

ホームページクリッピングの予約をするには

(前ページの続きです)

予約状況を確認する

ホームページクリッピングの画面で、現在の予約状況を確認することができます。予約の状況が「済み」、「ダウンロード中」、「予約」、「予約（指定）」、「予約（定期）」の順に表示され、予約状況が同じ場合は、予約を設定した順に表示されます。

【済み】：ダウンロードが完了しているとき

【ダウンロード中】：

ダウンロード実行中のとき

【予約】：

「今すぐダウンロード」で予約しているとき

【予約（指定）】：

時刻を指定して予約しているとき（時刻の早い順に表示されます。）

【予約（定期）】：

定期的にダウンロードする予約をしているとき

コンテンツダウンロード - ホームページクリッピング

状態を更新する

新規に登録する

タイトル	状況	保存先	詳細	削除
1 現在位置	済み	PCカード	登録済	削除済
2 旅の日記	済み	PCカード	登録済	削除済
3 全国地図	済み	内蔵メモリ	登録済	削除済
4 時刻表	済み	PCカード	登録済	削除済
5 紅葉情報	予約(指定)	PCカード	登録済	削除済
6 空のページ	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
7 映画の手帳	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
8 旅の地図	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
9 旅行情報	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
10 旅の地図	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
11 旅行情報	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
12 旅の地図	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
13 (メニュー)	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
14 TV番組表	予約(定期)	内蔵メモリ	登録済	削除済
15 ニュース	予約(定期)	内蔵メモリ	登録済	削除済
16 M5放送	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
17 今日の占い	予約(定期)	内蔵メモリ	登録済	削除済
18 今月の占い	予約(定期)	内蔵メモリ	登録済	削除済
19 日曜一占	予約(定期)	内蔵メモリ	登録済	削除済
20 今日の占い	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
21 抽籤ニュース	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
22 今週の占い	予約(定期)	PCカード	登録済	削除済
23				
24				
25				
26				
27				

ダウンロードに失敗したときは

ダウンロードに失敗したとき、自動的にダウンロードし直すように設定することができます。また、ダウンロードをやり直す回数を指定することができます。(☞P6-28)

ダウンロードするファイルの数が多く、ダウンロードに失敗したときは、NATタイマの設定時間を短くして予約し直してください。(☞P6-28)



ワンポイント

- 「ホームページクリッピングの予約をする」の手順4～11で予約の設定を中止するには
[BACK] をクリックします。
- 付属アプリケーションを利用するには
本商品の付属アプリケーション（Windows®専用）を使って、ダウンロードの設定を行うこともできます。
付属アプリケーションについては、「付属アプリケーション取扱説明書」を参照してください。
- 最新の予約状況を確認するには
ホームページクリッピング画面で [状態を更新する] をクリックします。
- ダウンロードに時間がかかるファイルを指定するときは
容量の大きいファイルはダウンロードに時間がかかるので、ダウンロード中に次の予約のダウンロード開始時刻になってしまうことがあります。ダウンロードに時間がかかりそうな場合は、次の予約と時間が重ならないように、優先度を最後にするか、次の予約の開始時刻を遅く設定してください。
- 同じタイトルの予約を設定すると
ダウンロードすると、前のデータに上書きされます。



お知らせ

- 上限料金を設定している場合は、その金額を超えると、予約を設定していてもダウンロードは行われません。
- 内蔵メモリの容量は11Mバイトです。メールとダウンロードファイルを内蔵メモリに保存すると、容量が足りなくなることがありますので、定期的に内蔵メモリからパソコンへデータをコピーし、予約情報を削除してください。（☞P4-16）
- ダウンロードしたデータ、ダウンロード履歴や予約情報は、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されます。（☞P1-10）

予約を削除／変更するには

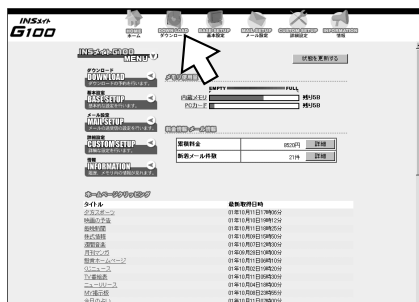
コンテンツダウンロードやホームページクリッピングの予約を削除したり、変更することができます。また、予約の順番を入れ替えることができます。

予約を削除する

コンテンツダウンロードまたはホームページクリッピングの予約情報を削除します。内蔵メモリにダウンロード済みのファイルがある場合は、予約を削除すると、ダウンロードしたファイルも削除されます。

ダウンロード中の予約情報を削除すると、ダウンロードを中止します。

- 1 ホームページの「ダウンロード」アイコンをクリックする。



- 2 コンテンツダウンロードまたはホームページクリッピングの画面を表示させる。

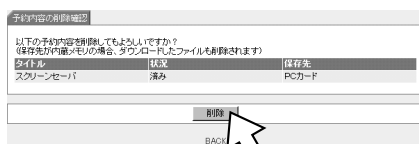


- 3 タイトルの右横の「削除」をクリックする。



- 4 削除するデータを確認し、「削除」をクリックする。

「予約内容の削除」画面が表示されたら「了解」をクリックします。



予約を変更する

コンテンツダウンロードまたはホームページクリッピングの予約内容を変更します。ダウンロード中の予約内容を変更すると、ダウンロードは一時中断されます。

1 ホームページの「ダウンロード」アイコンをクリックする。



2 コンテンツダウンロードまたはホームページクリッピングの画面を表示させる。



3 タイトルの右横の「詳細」をクリックする。



(次ページへ続きます)

予約を削除／変更するには

(前ページの続きです)

4 予約の登録と同様の手順で、予約を変更する。(⇐P4-10)

5 [登録] をクリックする。

予約が変更されます。



ワンポイント

● 最新の予約状況を表示するには

コンテンツダウンロードまたはホームページクリッピングの画面で「状態を更新する」をクリックします。



お知らせ

- ダウンロード中の予約内容を変更しても、コンテンツダウンロード画面またはホームページクリッピング画面の表示が変更されない場合があります。この場合は、時間をおいてから「状態を更新する」をクリックして予約状況を確認してください。

ダウンロードした内容を確認するには

コンテンツダウンロードでダウンロードしたファイルや、ホームページクリッピングした内容を確認することができます。

ダウンロードしたコンテンツの内容を見る／ホームページクリッピングした内容を見る

内蔵メモリまたはPCカードに保存したコンテンツの内容をブラウザで表示します。

1 ホームページの「ダウンロード」アイコンをクリックする。



2 タイトルをクリックする。

確認画面が表示されます。

ホームページクリッピングした内容を見る場合は、「ホームページクリッピング」タブをクリックして、タイトルをクリックします。



3 確認画面の「ブラウザで開く」をクリックする。

確認画面が表示されずにファイルの内容を開くこともあります。
ダウンロードしたファイルの内容を開きます。



お知らせ

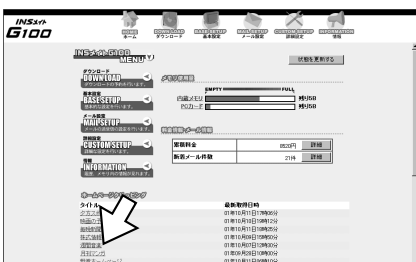
- タイトルは全角16文字／半角32文字まで表示します。

予約（定期）でホームページクリッピングした内容を見る

内蔵メモリまたはPCカードに保存したホームページをブラウザで表示します。

1 ホームページクリッピングの一覧で、タイトルをクリックする。

予約（定期）でダウンロードしたホームページが表示されます。



お知らせ

- タイトルは全角32文字／半角64文字まで表示します。

液晶ディスプレイでダウンロード履歴を確認するには

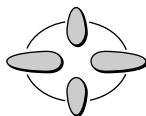
液晶ディスプレイで、ダウンロードした日時やファイル名を確認することができます。
ダウンロード履歴は、最大20件まで表示されます。

ダウンロード履歴を確認する

ボタン操作でダウンロード履歴を確認します。

- 1** 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: ダウンロード履歴

- 2** 方向ボタンの上または下を押して、「3: ダウンロード履歴」を選択し、決定ボタンを押す。

1件目のダウンロード履歴が表示されます。

1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: ダウンロード履歴

- 3** ダウンロード履歴を確認する。

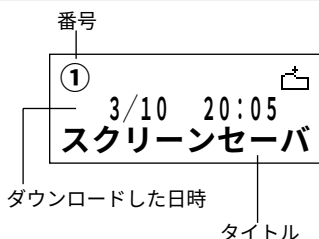
▶: 方向ボタンの右を押すと、続きが表示されます。

◀: 方向ボタンの左を押すと、前の部分が表示されます。

アイコンの表示で、ダウンロードに成功したかどうかを確認できます。

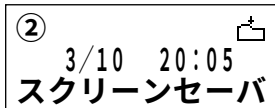
 : ダウンロードに成功したとき

 : ダウンロードに失敗したとき



- 4** 方向ボタンの下を押して、次のダウンロード履歴を確認する。

方向ボタンの上を押すと、1つ前のダウンロード履歴が表示されます。



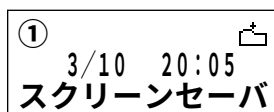
ワンポイント

- ブラウザの画面でダウンロード履歴を確認するには (P6-6)

ダウンロード履歴を消去する

ダウンロード履歴を内蔵メモリから消去します。ダウンロード履歴を消去しても、ダウンロードしたファイルは消去されません。

- 1 1件目のダウンロード履歴が表示されている状態で、方向ボタンの上を押す。



- 2 決定ボタンを押す。

決定



全履歴クリア

- 3 方向ボタンの下を押して、「履歴を消去する」を選択し、決定ボタンを押す。



すべてのダウンロード履歴が消去されます。

中止するときは、「戻る」を選択し、決定ボタンを押します。



ワンポイント

- ブラウザの画面でダウンロード履歴を消去するには（➡P6-6）
- ダウンロードを完了したときは
正常にダウンロードしたときは、CONTENTSランプが赤く点灯します。ダウンロードに失敗したときは、CONTENTSランプが遅く点滅（赤）します。液晶ディスプレイやブラウザの画面でダウンロード履歴を確認するとランプが消えます。
- 前の画面に戻るには
戻るボタンを押すと、1つ前の画面が表示されます。何も操作しないまま約60秒過ぎると、日付・時刻表示に戻ります。

アドレス帳を利用するには

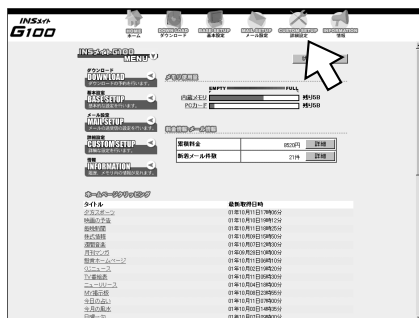
アドレス帳に相手の名前、電話番号、メールアドレスを登録しておくと、電話がかかってきたときやメールを受信したとき、液晶ディスプレイに名前を表示することができます。アドレス帳には、最大20件登録できます。

アドレス帳に登録する

アドレス帳に相手先の情報を登録します。

1 ホームページの「詳細設定」アイコンをクリックする。

ホームページを表示するには (←P3-2)



2 「アドレス帳の設定」をクリックする。

アドレス帳に登録されている内容が表示されます。



3 「新規に登録」をクリックする。



4 相手の名前、電話番号、メールアドレスを入力し、[登録] をクリックする。

アドレス

名前 JOJO 〇 ※最大全角10文字

電話番号 0123456 ※最大半角10桁

メールアドレス *****@*****.co.jp ※最大半角30文字

登録



お知らせ

- アドレス帳の一覧は、電話番号は15桁、メールアドレスは半角30文字まで表示します。表示されていない部分を確認する場合は、[変更] をクリックして内容を確認してください。
- アドレス帳の内容は、停電時でも保持されます。

アドレス帳を利用するには

アドレス帳の内容を変更する

アドレス帳に登録した内容を変更します。

- 1 アドレス帳の画面で、変更したい相手先の右にある「変更」をクリックする。



- 2 相手の名前、電話番号、メールアドレスを変更し、「登録」をクリックする。

アドレス

名前: ※最大全角16文字

電話番号: ※最大半角11桁

メールアドレス: ※最大半角32文字

登録

バック

アドレス帳から削除する

アドレス帳に登録した内容を削除します。

- 1 アドレス帳の画面で、削除したい相手先の右にある「削除」をクリックする。



- 2 内容を確認し、「削除」をクリックする。

「アドレスの削除」画面が表示されたら「了解」をクリックします。

アドレスの削除確認

以下のアドレスを削除してもよろしいですか？

名前	電話番号	メールアドレス
メイト君	0312345678	meito@ntt.co.jp

削除

バック

上限料金を設定するには

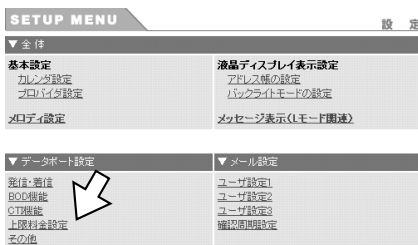
従量制課金でインターネットをご利用の場合は、あらかじめ指定した金額を超えると、インターネットに接続できなくなるように設定することができます。データポートの通信、メール受信、ダウンロードが終了した時点で、累積料金が設定した料金を超えた場合は、液晶ディスプレイに「料金オーバーです」と表示され、メール受信とダウンロードができなくなります。料金オーバーの表示は、5秒ごとに日付・時刻表示と切り替わります。

1
インターネット
利用2
ダウンロード3
便利に使う

1 ホームページの「詳細設定」アイコンをクリックする。



2 [データポート設定] の [上限料金設定] をクリックする。

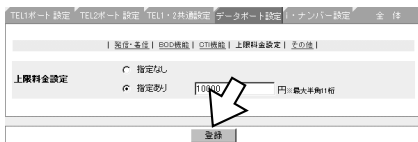


3 [指定あり] をクリックし、料金を入力する。

最大半角11桁まで入力できます。



4 [登録] をクリックする。



ワンポイント

- 料金オーバーの表示を消してインターネットへの接続を続けるには
上限料金の変更するか、累積料金をクリアします。「ご参考」のQ&A「課金」(←参-16)を参照してください。



お知らせ

- 累積料金が、設定した上限料金を超えた場合も以下の機能は利用できます。
 - ・インターネット上のホームページを直接見る場合 (←P4-2)
 - ・手動でメールの到着を確認する場合 (←P5-10、6-5)
 - ・アナログポートの着信履歴の送信で、あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたタイミングで送信する場合 (←P5-25)
 - ・ダイレクトモードでの使用 (←P4-3)

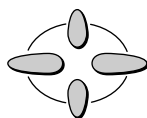
液晶ディスプレイで累積料金を確認するには

液晶ディスプレイと操作ボタンを使って、アナログポート、データポートそれぞれの累積料金を確認したり、累積料金を消去することができます。

累積料金を確認する

- 1** 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アナログ着信履歴
2: メール新着件数
3: データダウンロード履歴

- 2** 方向ボタンの下または上を押して「4: 料金情報」を選択し、決定ボタンを押す。

2: メール新着件数
3: データダウンロード履歴
4: 料金情報

- 3** 方向ボタンの下または上を押して、累積料金を表示するポートを選択し、決定ボタンを押す。

[アナログ1累積料金] :

TEL1ポートの累積料金を表示する

[アナログ2累積料金] :

TEL2ポートの累積料金を表示する

[データ累積料金] :

データポートの累積料金を表示する

アナログ1累積料金
アナログ2累積料金
データ累積料金



ワンポイント

- ブラウザの画面で累積料金を確認するには (➡P6-27)

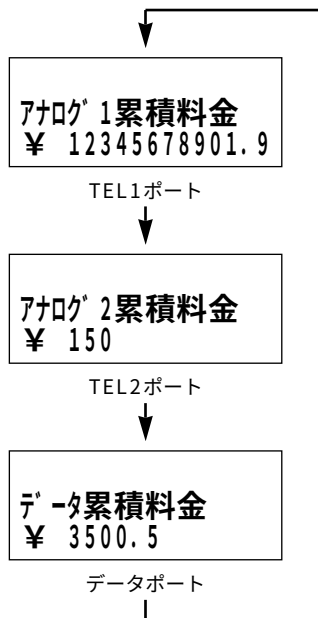


お知らせ

- 累積料金は、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されます。(➡P1-10)

4 累積料金を確認する。

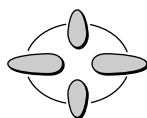
方向ボタンの下または上を押して他のポートの累積料金を見ることができます。
累積料金は、小数点以下1桁まで表示されます。



累積料金を消去する

- 1** 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: データダウンロード履歴

- 2** 方向ボタンの下または上を押して「4: 料金情報」を選択し、決定ボタンを押す。

2: メール新着件数
3: データダウンロード履歴
4: 料金情報

- 3** 方向ボタンの下または上を押して、「累積料金クリア」を選択し、決定ボタンを押す。

アナログ 2 累積料金
データ 累積料金
累積料金クリア

- 4** 方向ボタンの下または上を押して、「料金情報を消去」を選択し、決定ボタンを押す。

「戻る」を選択すると、1つ前の画面に戻ります。

戻る
料金情報を消去



ワンポイント

- ブラウザの画面で累積料金を消去するには (←P6-2)



お知らせ

- 累積料金は最大9999999999.9円まで記録されます。この金額をオーバーした場合は累積料金がクリアされ、オーバーした金額が表示されます。
- アナログポートから他のアナログポートに転送した場合は、転送元の累積料金に加算されます。

メール活用編

- 1 メールの設定 5-2
- 2メールの保存 5-11
- 3メールの転送 5-22
- 4 伝言メールの利用 5-28

ユーザを登録するには

メール機能を利用するために、ユーザの情報をブラウザの設定画面で登録します。プロバイダから通知されたアカウント、パスワード、POPサーバなどの情報が必要です。

ユーザについて

ユーザは3名まで登録することができます。ユーザごとにアカウント、パスワード、POPサーバを設定できます。ただし、接続先は基本設定（プロバイダ設定）で設定した1か所のみです。

ユーザ1とユーザ2、ユーザ3に登録したユーザでは、利用できる機能に違いがあります。利用できる機能は次のとおりです。

● すべてのユーザが利用できる機能

メールの受信	指定した時間ごとにプロバイダのメールサーバにアクセスして、メールを受信し、内蔵メモリに保存します。
メール着信履歴	受信したメールの着信履歴を見ることができます。
メールサーバからのメール削除	受信したメールをプロバイダのメールサーバから削除します。
メールスプール機能	受信したメールおよび添付ファイルを内蔵メモリに保存して、本商品をPOPサーバとして利用します。

● ユーザ1のみが利用できる機能

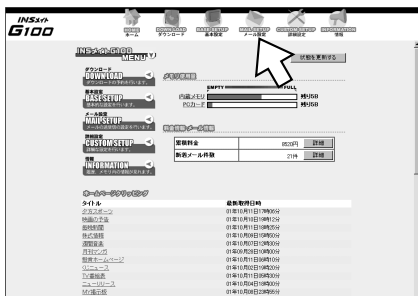
メールの転送	条件に一致したメールを指定したメールアドレスへ転送します。
メール本文のPCカードへの保存	条件に一致したメールの本文をPCカードに保存します。
添付ファイルのPCカードへの保存	条件に一致したメールの添付ファイルをPCカードに保存します。
伝言メール	条件に一致したメールを伝言メールとして液晶ディスプレイにタイトルを表示します。
アナログボートの着信履歴の転送	不在時にかかってきた電話の着信履歴を指定したメールアドレスへ転送します。

ユーザー1の情報を登録する

ユーザー1として登録したユーザーは、伝言メール、メール転送など、メールのすべての機能を利用することができます。

1 ホームページで「メール設定」アイコンをクリックする。

ユーザー1の設定画面が表示されます。



2 「メール確認」の「実行する」をクリックする。

メール設定

1 ユーザー設定1 | ユーザー設定2 | ユーザー設定3 | 無関係無関係設定

メール確認 ☒ 実行する

ユーザー名 ※最大全角6文字

メールアドレス ※最大半角64文字

アカウント ※最大半角32文字

パスワード ※最大半角32文字

POPサーバ ※最大半角32文字

SMTPサーバ ※最大半角32文字

スプール ☐ しない ☐ する

サーバのメール名確認 ☐ しない ☒ する [取得時]

転送先アドレス ※最大半角64文字

メールの保存・転送 ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

伝言メール ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

TELポート ☐ しない ☐ する

着信履歴の転送 ☐ しない ☐ する

認識電話番号 ※最大半角32桁

3 「ユーザー名」に任意の名前を入力する。

電子メールで使用する任意の名前を入力してください。この名前はメール着信履歴を見るときに表示されます。

全角5文字／半角10文字以内で入力します。
半角カタカナは入力できません。

ユーザー名 ※最大全角6文字

メールアドレス ※最大半角64文字

アカウント ※最大半角32文字

パスワード ※最大半角32文字

POPサーバ ※最大半角32文字

SMTPサーバ ※最大半角32文字

(次ページへ続きます)

ユーザを登録するには

(前ページの続きです)

4 [メールアドレス]、[アカウント]、[パスワード] を入力する。

プロバイダから通知された情報をもとに入力してください。

ユーザ名: ぼく ※最大全角5文字

メールアドレス: tanaka@**** ※最大半角64文字

アカウント: tanaka ※最大半角32文字

パスワード: ***** ※最大半角32文字

POPサーバ: ※最大半角32文字

SMTPサーバ: ※最大半角32文字

5 [POPサーバ] にドメイン名またはIPアドレスを入力する。

プロバイダから通知された情報をもとに入力してください。

ユーザ名: ぼく ※最大全角5文字

メールアドレス: tanaka@**** ※最大半角64文字

アカウント: tanaka ※最大半角32文字

パスワード: ***** ※最大半角32文字

POPサーバ: ※最大半角32文字

SMTPサーバ: ※最大半角32文字

6 [SMTPサーバ] にドメイン名またはIPアドレスを入力する。

プロバイダから通知された情報をもとに入力してください。

ユーザ名: ぼく ※最大全角5文字

メールアドレス: tanaka@**** ※最大半角64文字

アカウント: tanaka ※最大半角32文字

パスワード: ***** ※最大半角32文字

POPサーバ: mail**** ※最大半角32文字

SMTPサーバ: mail**** ※最大半角32文字

7 [登録] をクリックする。

メール確認: ☒ 実行する ☐ 停止する

ユーザ名: ぼく ※最大全角5文字

メールアドレス: tanaka@**** ※最大半角64文字

アカウント: tanaka ※最大半角32文字

パスワード: ***** ※最大半角32文字

POPサーバ: mail**** ※最大半角32文字

SMTPサーバ: mail**** ※最大半角32文字

スプール: ☒ しない ☐ する

サーバのメールを削除: ☒ しない ☐ する [取得待ち]

転送先アドレス: ※最大半角64文字

メールの保存・転送: ☒ 保存・転送 ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

伝言メール: ☒ 伝言 ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

TELポート: ☒ しない ☐ する

若信履歴の転送: ☒ しない ☐ する

認識電話番号: ※最大半角20桁

登録



お知らせ

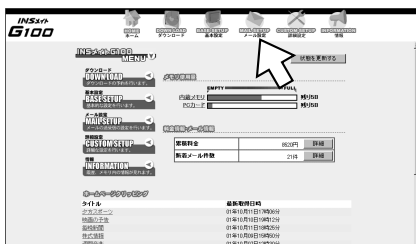
- 手順7で「登録」をクリックするかわりにパソコンの「Enterキー」を押すと、設定内容を登録後、メールの保存・転送の設定画面が表示されます。(P5-17、5-22)

ユーザ2、ユーザ3の情報を登録する

ユーザ2、ユーザ3として登録したユーザは、伝言メール、メール転送などの機能を利用することはできません。

1 ホームページで「メール設定」アイコンをクリックする。

ユーザ1の設定画面が表示されます。



2 「ユーザ設定2」または「ユーザ設定3」をクリックする。

メール設定

1 ユーザ設定1 | ユーザ設定2 | ユーザ設定3 | 伝言履歴設定 |

メール確認 ☒ 実行する ☐ 停止する

ユーザ名 ※最大全角40文字

メールアドレス ※最大半角64文字

アカウント ※最大半角32文字

パスワード ※最大半角32文字

POPサーバ ※最大半角32文字

SMTPサーバ ※最大半角32文字

スプール ☒ しない ☐ する

サーバのメールを削除 ☒ しない ☐ する [取消] ※最大半角64文字

転送先アドレス ※最大半角64文字

メールの保存・転送 ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

伝言メール ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

TELボート
着信履歴の転送 ☒ しない ☐ する

認識発信番号 ※最大半角32文字

3 「メール確認」の「実行する」をクリックする。

メール設定

1 ユーザ設定1 | ユーザ設定2 | ユーザ設定3 | 伝言履歴設定 |

メール確認 ☒ 実行する ☐ 停止する

ユーザ名 ※最大全角40文字

メールアドレス ※最大半角64文字

アカウント ※最大半角32文字

パスワード ※最大半角32文字

POPサーバ ※最大半角32文字

スプール ☒ しない ☐ する

サーバのメールを削除 ☒ しない ☐ する [取消] ※最大半角64文字

(次ページへ続きます)

ユーザを登録するには

(前ページの続きです)

4 [ユーザ名] に任意の名前を入力する。

全角5文字／半角10文字以内で入力します。

ユーザ名	お父さん	※最大全角5文字
アカウント		※最大半角32文字
パスワード		※最大半角32文字
POPサーバ		※最大半角32文字

5 [アカウント]、[パスワード] を入力する。

プロバイダから通知された情報をもとに入力してください。

ユーザ名	お父さん	※最大全角5文字
アカウント	taro	※最大半角32文字
パスワード	*****	※最大半角32文字
POPサーバ		※最大半角32文字

① ②

6 [POPサーバ] にドメイン名またはIPアドレスを入力する。

プロバイダから通知された情報をもとに入力してください。

ユーザ名	お父さん	※最大全角5文字
アカウント	taro	※最大半角32文字
パスワード	*****	※最大半角32文字
POPサーバ	mail.***.***	※最大半角32文字

7 [登録] をクリックする。

メール設定	
[ユーザ設定] [ユーザ設定2] [ユーザ設定3] [送信元設定]	
メール確認	☒ 実行する ☐ 停止する
ユーザ名	お父さん ※最大全角5文字
アカウント	taro ※最大半角32文字
パスワード	***** ※最大半角32文字
POPサーバ	mail.***.*** ※最大半角32文字
スプール	☒ しない ☐ する
サーバのメールを削除	☒ しない ☐ する [取得時]
登録	



お知らせ

- アカウントは、ユーザ1と異なるアカウントを入力してください。

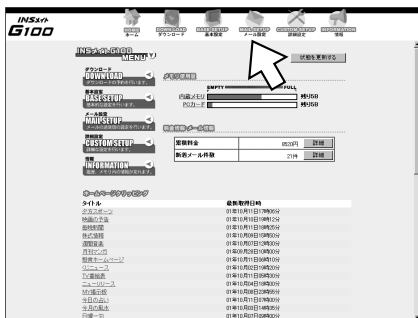
メールの到着を自動的に確認するには

メールを確認する周期を設定して、一定時間ごとにメールが来ているかどうかをチェックすることができます。確認する周期を設定すると、本商品が自動的にメールの到着を確認して、メールの着信履歴を内蔵メモリに保存します。着信履歴は、1ユーザにつき最大99件まで保存できます。

メールを確認する周期を設定する

この設定は、すべてのユーザで共通です。

1 ホームページで「メール設定」アイコンをクリックする。

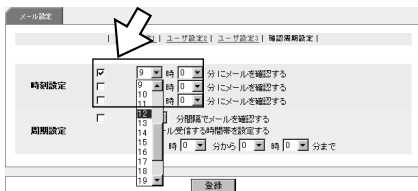


2 「確認周期設定」をクリックする。



3 毎日、指定時間にメールをチェックする場合は、「時刻設定」をチェックして、時刻をプルダウンメニューで選択する。

時刻は3つまで選択することができます。

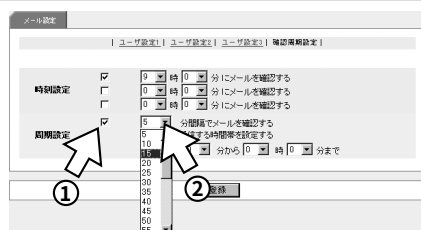


(次ページへ続きます)

メールの到着を自動的に確認するには

(前ページの続きです)

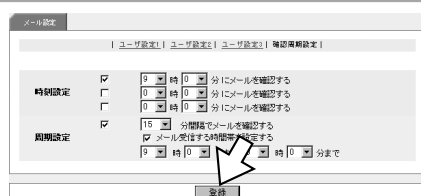
- 4** 常時、一定時間おきにメールをチェックする場合は、周期設定の「分間隔でメールを確認する」をチェックして、間隔をプルダウンメニューで選択する。



- 5** メールの到着を自動的に確認する時間帯を設定する場合は、「メールを受信する時間帯を設定する」をチェックして、時間帯をプルダウンメニューで選択する。



- 6** 「登録」をクリックする。



ワンポイント

● **メールを受信したときは**

メールを正常に受信したときはMAILランプが赤く点灯します。メールの受信中にエラーが起きたときは、MAILランプが遅く点滅(赤)します。メールの着信履歴を確認すると、MAILランプが消えます。スプール機能(☞P5-11)を使用している場合は、パソコンの電子メールソフトで、内蔵メモリに蓄積しているメールを確認したときも、MAILランプが消えます。

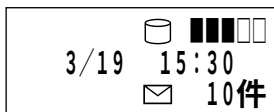


お知らせ

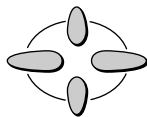
- 上限料金を設定している場合、その金額を超えると、メールチェックは行われませんが、メール確認のエラー履歴は残ります。
- メール受信において、メールサーバなどの状態によってはメール受信エラーとなることがあります。メールサーバによっては応答に時間がかかる場合があり、その場合は無通信監視タイマ(ノーマルモード)を長く設定してください。(☞P6-28)
- メールを受信等でプロバイダに接続(ノーマルモード)したまま、何も操作せず1分以上(お買い求め時の値)通信が行われなかったときは、プロバイダとの接続を切断します。(無通信監視タイマ)
- 送られてきたメールにより受信したメールが文字化けを起こす場合があります。
- プロバイダによっては監視バケットなどを定期的に発信する場合があります、この場合は無通信監視タイマを設定していても切断されませんので、強制切断タイマをご利用ください。(☞P6-28)

液晶ディスプレイで着信履歴を確認する

液晶ディスプレイには新着メールの件数が表示されます。ボタン操作でメールの着信履歴やメールのタイトルを確認することができます。



1 本商品の方向ボタンを押す。



1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: タウンロード履歴

2 方向ボタンの上または下を押して「2: メール新着件数」を選択し、決定ボタンを押す。

1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: タウンロード履歴

3 ユーザ名を選択し、決定ボタンを押す。

1: ぼく 1件
2: お父さん 4件
3: お母さん 4件

4 方向ボタンの上または下を押して、メールを選択し、決定ボタンを押す。

10/19!abcd@efghi
10/ 9*山田
9/25*鈴木

アドレス帳に相手が登録されているときは、相手の名前が表示されます。

アイコンの表示で、メール転送、PCカード保存、添付ファイル保存に成功したかどうかを確認できます。

＊：転送や保存に成功したとき

！：転送や保存に失敗したとき

●：新着メールを受信したとき

メールの到着を自動的に確認するには

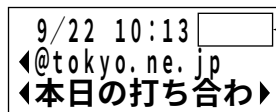
(前ページの続きです)

5 メールタイトルの確認する。

- ▶：方向ボタンの右を押すと、続きが表示されます。
- ◀：方向ボタンの左を押すと、前の部分が表示されます。

アイコンの表示で、メール転送、PCカード保存、添付ファイル保存に成功したかどうかを確認できます。

- ：メールや添付ファイルの保存に成功したとき
- ：メールや添付ファイルの保存に失敗したとき
- ：メールの転送に成功したとき
- ：メールの転送に失敗したとき



← アイコン表示



ワンポイント

- 前の画面に戻るには
戻るボタンを押すと、1つ前の画面が表示されます。何も操作しないまま約60秒過ぎると、日付・時刻表示の画面に戻ります。
- メール到着を確認した最終日時を表示するには
手順3で方向ボタンの下を押し続けると、メールの到着を確認した最終日時が表示されます。
- 着信履歴を消去するには
手順4で方向ボタンの下を押して「全メール履歴消去」を選択し、決定ボタンを押します。
- 手動でメールの到着を確認するには
決定ボタンを押し、方向ボタンの上または下を押して「メールを確認する」を選択し、決定ボタンを押すと、自動受信の時間でなくてもメールの到着を確認することができます。
メール受信を「停止する」に設定すると、手動でのメールの到着の確認もできません。
- 手動でメール受信を停止するには
決定ボタンを押し、方向ボタンの上または下を押して「メール受信を中止」を選択し、決定ボタンを押すと、メールの受信を停止することができます。
- ブラウザの画面で着信履歴を確認するには (←P6-5)



お知らせ

- ユーザ設定で、アカウントまたはPOPサーバの設定を消去したり、変更するとメールの着信履歴は消去されます。
- メール受信に失敗していた場合は、手順4で「受信エラー」と表示されます。
「受信エラー」を選択して決定ボタンを押すと、「詳細はブラウザ設定画面のエラー履歴を確認して下さい」と表示されます。
- メール着信履歴は、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されます。(←P1-10)

受信したメールを内蔵メモリに 蓄積するには

スプール機能を利用すると、受信したメールを内蔵メモリにスプール（蓄積）することができます。

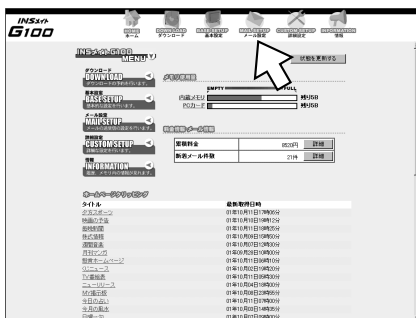
スプール機能を設定する

スプール機能を利用するかどうかは、ユーザごとに設定できます。

1 ホームページで【メール設定】アイコンをクリックする。

ユーザ1の設定画面が表示されます。

ほかのユーザの設定を行うときは、【ユーザ設定2】または【ユーザ設定3】をクリックします。



2 【スプール】の【する】をクリックする。

メール設定

ユーザ設定 | ユーザ設定2 | ユーザ設定3 | 設定履歴設定

メール確認

☐ 実行する

☐ 停止する

ユーザ名

メールアドレス

アカウント

パスワード

POPサーバ

SMTPサーバ

スプール

☐ しない

☒ する

サーバのメールを削除

☐ しない

☒ する

転送先アドレス

メールの保存・転送

☐ 保存・転送

伝言メール

☐ しない

☒ する

TELボート

受信履歴の転送

☐ しない

☒ する

認識電話番号

☐ しない

☒ する

登録

(前ページの続きです)

3 [登録] をクリックする。

これ以降、受信したメールは、内蔵メモリに蓄積されます。



ワンポイント

- スプール機能を使用しているときは
液晶ディスプレイのアイコン表示で、スプール機能のする／しないを見分けることができます。(☞P1-8)
- スプールしたメールを削除するには
パソコンのメールソフトで、「サーバからメールを削除する」を設定します。



お知らせ

- 内蔵メモリの容量は11Mバイトです。スプール機能を利用すると、容量が足りなくなることがありますので、定期的に内蔵メモリにスプールしたメールのデータをパソコンで受信してください。
- 内蔵メモリにスプールしたメールのデータは、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されます。(☞P1-10)
- ユーザ設定で、アカウントまたはPOPサーバの設定を消去したり、変更すると内蔵メモリにスプールされているデータが消去されます。

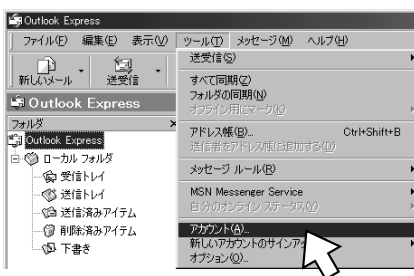
内蔵メモリに蓄積したメールをパソコンで受信する

最初に、お使いになるメールソフトの取扱説明書等をご覧になり、お使いになるパソコンに必要な設定を行います。

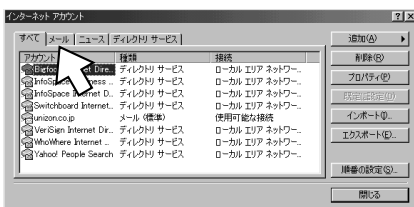
スプール機能を使用する場合は、お使いのパソコンのメールソフトでPOPサーバの設定を「192.168.1.2」に変更してください。

(例) Outlook Express 5の場合

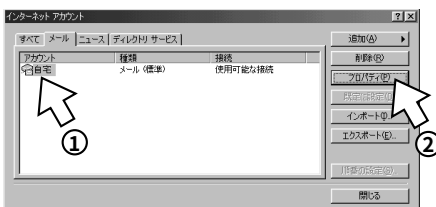
1 [ツール] メニューの [アカウント] をクリックする。



2 [メール] をクリックする。



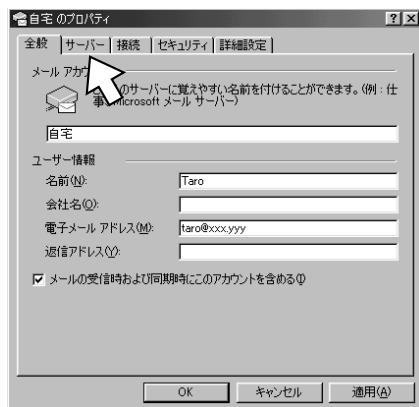
3 本商品で使用しているアカウントを選択し、[プロパティ] をクリックする。



(次ページへ続きます)

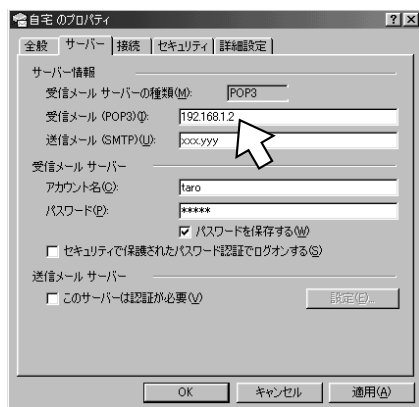
(前ページの続きです)

4 [サーバー] をクリックする。



5 [サーバー情報] の [受信メール (POP3)] に「192.168.1.2」と入力する。

[送信メール (SMTP)]、[アカウント名]、[パスワード] は、本商品に設定したSMTPサーバー、ユーザ名、パスワードと同じ内容を設定してください。



6 [OK] をクリックする。

7 [閉じる] をクリックする。

メールの本文や添付ファイルをPCカードに保存するには

受信したメールの本文や添付ファイルをPCカードに保存することができます。メールの本文は、テキストファイルとして保存されます。受信したメールの本文や添付ファイルをすべてPCカードに保存したり、保存する条件を設定して保存することができます。

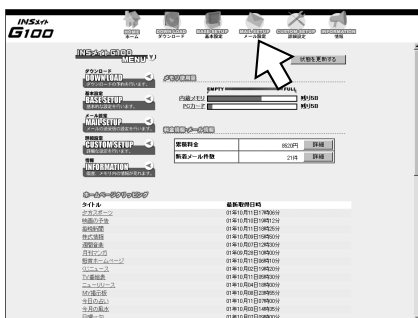
PCカードへの保存は、ユーザ1のみ行えます。

PCカードに保存する

相手のメールアドレスやメールの件名を設定して、特定のメールだけを保存することができます。

1 ホームページで「メール設定」アイコンをクリックする。

ユーザ1の設定画面が表示されます。



2 「メールの保存・転送」の「保存・転送」をクリックする。

メール設定

ユーザ設定1 | ユーザ設定2 | ユーザ設定3 | 権限管理設定1

メール確認 ☐ 実行する ☐ 停止する

ユーザ名 ※最大全角4文字

メールアドレス ※最大半角40文字

アカウント ※最大半角40文字

パスワード ※最大半角40文字

POPサーバ ※最大半角40文字

SMTPサーバ ※最大半角40文字

スプール ☐ しない ☐ する

サーバのメールアドレス ☐ しない ☐ する [取得時]

転送先アドレス ※最大半角40文字

メールの保存・転送 ※ブラウザのリンクをすると、現在表示中の値は登録されます。

伝言メール ☐ 伝言 ☐ ボク ☐ 誰か ☐ 誰か ☐ 誰か

TELボート 送信履歴の転送 ☐ しない ☐ する

認識発信番号 ※最大半角40文字

メールの本文や添付ファイルを PCカードに保存するには

(前ページの続きです)

3 メールを保存する条件を設定する。

差出人のメールアドレスと件名を設定することができます。メールアドレスと件名のどちらか一方、または両方を設定できます。

- ・両方を設定した場合は、両方に一致したメールが保存されます。
- ・すべてのメールを保存する場合は、両方を空白のままにします。
- ・保存・転送の1～10をクリックすることにより、保存条件を10件設定できます。保存条件1～10の順でチェックし、一致した条件で保存されます。

●メールアドレスを設定する

[from] に保存するメールの差出人のメールアドレス、またはメールアドレスの一部を入力します。

(例) 「yamada@aaa.bbb」と入力した場合

メールアドレスにyamada@aaa.bbbが含まれるメールが保存されます。

●件名を設定する

[subject] に保存するメールの件名、または件名の一部を入力します。

(例) 「旅行の予定」と入力した場合

件名に「旅行の予定」が含まれるメールが保存されます。

4 メール本文をPCカードに保存する場合は、[本文保存] の [PCカード] をクリックする。

5 メールの添付ファイルをPCカードに保存する場合は、[添付保存] の [PCカード] をクリックする。

メールの保存・転送

保存 転送

from j.yasuda@nissai.co.jp 日最大容量10万

subject 銀行の手配 (追加の案内) 日最大容量10万

転送

☒ 転送する

☐ 本文保存しない

本文保存

☒ PCの1-2xの大きさ ☐ 日最大容量100万

☐ 送付保存しない

送付情報

☒ PCの1-2xの大きさ ☐ 日最大容量100万

OK

6 フォルダを指定する場合は、データを保存するフォルダ名を入力する。

[illegible]

7 [登録] をクリックする。

メールの保存・転送

保存・転送	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100		無効化
条件	from	j-mas@brii.sbs	
	subject	国行の子室 (空白 無操作)	
転送		☐ 転送しない ☐ 転送する	
本文保存		☐ 本文保存しない ☒ PCカードフォルダ指定 国行のメール	
添付保存		☐ 添付保存しない ☒ PCカードフォルダ指定 国行の資料	

国大入学金22万円
国大入学金22万円
国大入学金100万円
国大入学金100万円

 お知らせ

- PCカードのフォルダ名において、フォルダが作成できない文字（”：”，；＊？<> | /および先頭または最後に、(ピリオド)）は設定できません。
- PCカードのフォルダ名において、(¥)はフォルダの階層の区切りになります。
 <例>フォルダ名にAAA¥BBBと入力すると、以下のようにフォルダが作成されます。

PCカードのフォルダ名において、(¥)はフォルダの階層の区切りになります。

＜例＞フォルダ名にAAA¥BBBと入力すると、以下のようにフォルダが作成されます。



(前ページの続きです)



ワンポイント

● メール本文のファイル名は

メールを受信した日付をファイル名として保存します。

(例) 01101001.txt (2001年10月10日に受信したメールの場合)

同じ日に受信したメールが複数ある場合、ファイル名は次のようになります。

(例) 最初のメール : 01101001.txt

2番目のメール : 01101002.txt

3番目のメール : 01101003.txt

}

6番目のメール : 01101006.txt

}

● 保存の結果を確認するには

メール本文、添付ファイルの保存の成功/失敗は、液晶ディスプレイのアイコン表示で確認することができます。(☞P5-10)



☑ : 保存に成功したとき



✕ : 保存に失敗したとき

● 保存するファイル形式は

受信したメールは、パートごとにHTML形式とテキスト形式のファイルとして保存されます。たとえば、初期設定時のOutlook Expressでは、メールはHTML形式とテキスト形式の両方が送信されます。このメールを受信すると、本商品ではHTML形式とテキスト形式のファイルが保存されます。

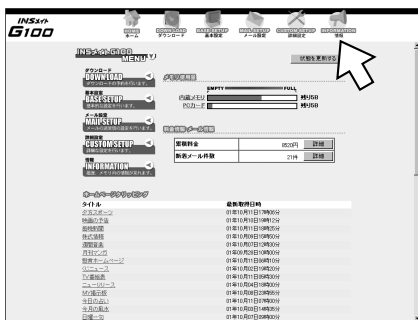
● PCカードへの保存に失敗したときは

ブラウザの画面で、エラー履歴やエラーの詳細を確認することができます。(☞P6-7)

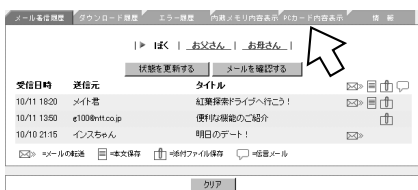
保存したメール本文や添付ファイルの内容を確認するには

PCカードに保存したメール本文や添付ファイルの内容を、ブラウザの画面で確認することができます。

- 1 ホームページの「情報」アイコンをクリックする。



- 2 「PCカード内容表示」をクリックする。



- 3 メール本文や添付ファイルをフォルダに保存した場合は、保存したフォルダのアイコンをクリックする。



- 4 内容を確認するファイルのアイコンをクリックする。

ファイルの内容が表示されます。



1 メールの設定

2 メールの保存

3 メールの転送

4 伝言メールの利用



お知らせ

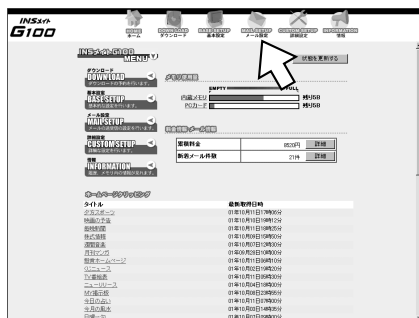
- 手順4で確認画面が表示された場合は、確認画面の「ブラウザで開く」をクリックします。

プロバイダのサーバからメールを 削除するには

スプール機能を「する」にしている場合は、受信したメールをプロバイダのメールサーバから削除するかどうかを設定することができます。削除する場合は、削除するタイミングを指定します。サーバからのメール削除は、ユーザごとに設定できます。スプール機能（P5-1.1）を「しない」に設定している場合は、「サーバのメールを削除」を「する」に設定することはできません。

1 ホームページで「メール設定」アイコンをクリックする。

ユーザ1の設定画面が表示されます。
ほかのユーザの設定を行うときは、[ユーザ設定2] または [ユーザ設定3] をクリックします。



2 「サーバのメールを削除」の「する」をクリックする。

メール設定

ユーザ設定 | ユーザ設定2 | ユーザ設定3 | 機能利用設定

メール確認
☐ 実行する
☐ 停止する

ユーザ名: ぼく (最大全角10文字)
 メールアドレス: fana@y***** (最大全角40文字)
 アカウント: fana (最大全角10文字)
 パスワード: ***** (最大全角10文字)
 POPサーバ: mail***** (最大全角10文字)
 SMTPサーバ: mail***** (最大全角10文字)

スプール
☐ しない
☒ する

サーバのメールを削除
☐ しない
☒ する (取得時)

転送先アドレス: (最大全角40文字)
 メールの保存・転送: ☒ (ポストをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。)

伝言メール: ☒ (ポストをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。)

TELポート
 着信履歴の転送: ☐ しない
☐ する

認識発信番号: (最大全角10桁)

登録

3 削除するタイミングをプルダウンメニューから選択する。

[取得時] : 受信後、ただちに削除します。

[1～30日後] :

指定した日時が経過した時点で削除します。

スプール
☐ しない
☒ する

サーバのメールを削除
☐ しない
☒ する (取得時)

転送先アドレス: (最大全角40文字)
 メールの保存・転送: ☒ (ポストをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。)

伝言メール: ☒ (ポストをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。)

TELポート
 着信履歴の転送: ☐ しない
☐ する

認識発信番号: (最大全角10桁)

登録

4 [登録] をクリックする。

メール設定

ユーザ設定 | ユーザ設定 | ユーザ設定 | 設定情報設定

メール確認
☒ 実行する
☐ 停止する

ユーザ名
[ぼく] ※ 最大全角4文字

メールアドレス
[fanta@a9****] ※ 最大半角46文字

アカウント
[fanta] ※ 最大半角16文字

パスワード
[*****] ※ 最大半角16文字

POPサーバ
[mail****] ※ 最大半角16文字

SMTPサーバ
[mail****] ※ 最大半角16文字

スプール
☐ しない
☒ する

サーバの
メールの削除
☐ しない
☒ する [3日後] ▼

転送先アドレス
[] ※ 最大半角46文字

メールの保存・転送
[保存・転送] ※ ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

伝言メール
[伝言] ※ ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

TELボート
着信履歴の転送
☐ しない
☐ する

認識発信番号
[] ※ 最大半角16桁

[登録]

メールを転送するには

受信したメールを別のメールアドレスに転送することができます。メールの転送は、メールの到着を確認するタイミングで行われます。メールの転送は、ユーザ1のみ行えます。

メールの転送をセットするには、おでかけボタンを押します。

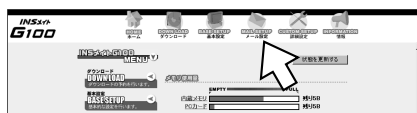
メールの転送を設定する

転送するメールの差出人は、ユーザ1のメールアドレスを使用します。受信したメールをすべて転送したり、転送する条件を指定してメールを転送することができます。

メールの添付ファイルは転送されません。

1 ホームページで「メール設定」アイコンをクリックする。

ユーザ1の設定画面が表示されます。



2 「転送先アドレス」に、転送先のメールアドレスを入力する。

メール設定

ユーザ設定1 | ユーザ設定2 | ユーザ設定3 | 設定画面設定

メール確認 ☒ 実行する ☐ 停止する

ユーザ名 ※最大半角6文字

メールアドレス ※最大半角64文字

アカウント ※最大半角32文字

パスワード ※最大半角32文字

POPサーバ ※最大半角32文字

SMTPサーバ ※最大半角32文字

スプール ☐ しない ☐ する

サーバのメールを削除 ☐ しない ☐ する [取得時] ※最大半角64文字

転送先アドレス ※最大半角64文字

メールの保存・転送 ※ボタンをクリックすると、現在表示中の場合は登録されます。

伝言メール ※ボタンをクリックすると、現在表示中の場合は登録されます。

TELポート 着信履歴の転送 ☐ しない ☐ する

認識電話番号 ※最大半角16桁

3 「メールの保存・転送」の「保存・転送」をクリックする。

メール設定

ユーザ設定1 | ユーザ設定2 | ユーザ設定3 | 設定画面設定

メール確認 ☒ 実行する ☐ 停止する

ユーザ名 ※最大半角6文字

メールアドレス ※最大半角64文字

アカウント ※最大半角32文字

パスワード ※最大半角32文字

POPサーバ ※最大半角32文字

SMTPサーバ ※最大半角32文字

スプール ☐ しない ☐ する

サーバのメールを削除 ☐ しない ☐ する [取得時] ※最大半角64文字

転送先アドレス ※最大半角64文字

メールの保存・転送 ※ボタンをクリックすると、現在表示中の場合は登録されます。

伝言メール ※ボタンをクリックすると、現在表示中の場合は登録されます。

TELポート 着信履歴の転送 ☐ しない ☐ する

認識電話番号 ※最大半角16桁

4 「転送する」をクリックする。

5 メールを転送する条件を設定する。

差出人のメールアドレスと件名を設定することができます。メールアドレスと件名のどちらか一方、または両方を設定できます。

- ・両方を設定した場合は、両方に一致したメールが転送されます。
- ・すべてのメールを転送する場合は、両方を空白のままにします。
- ・[保存・転送] の1～10をクリックすることにより、転送条件を10件設定できます。転送条件1～10の順でチェックし、一致した条件で転送されます。

●メールアドレスを設定する

[from] に転送するメールの差出人のメールアドレス、またはメールアドレスの一部を入力します。

(例) 「yamada@aaa.bbb」と入力した場合

メールアドレスにyamada@aaa.bbbが含まれるメールが転送されます。

●件名を設定する

[subject] に転送するメールの件名、または件名の一部を入力します。

(例) 「旅行の予定」と入力した場合

件名に「旅行の予定」が含まれるメールが転送されます。

メールを転送するには

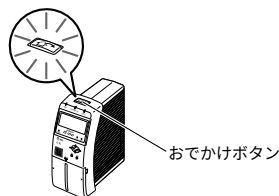
(前ページの続きです)

6 [登録] をクリックする。

メールの転送をセット／解除する

1 本商品のおでかけボタンを押す。

おでかけランプが点灯し、メールの転送がセットされます。



2 転送を解除するときは、もう一度おでかけボタンを押す。



ワンポイント

- メールが転送されたことを確認するには

液晶ディスプレイのアイコン表示でメールの転送が成功したかどうかを確認することができます。(☞P5-10)



お知らせ

- おでかけボタンを押してセットしたメールの転送は、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されますが、停電時は、メールの転送は行われません。(☞P1-10)
- 転送の際、Date、From、To、Ccを本文の先頭に追加して転送します。ただし、受信したメールのテキスト形式のメールに追加します。
- 受信したメールに添付ファイルがある場合は、以下の内容を本文の最後に追加して転送します。ただし、受信したメールのテキスト形式のメールに追加します。

Attached files :

“ 添付ファイルのファイル名 ”

}

“ 添付ファイルのファイル名 ”

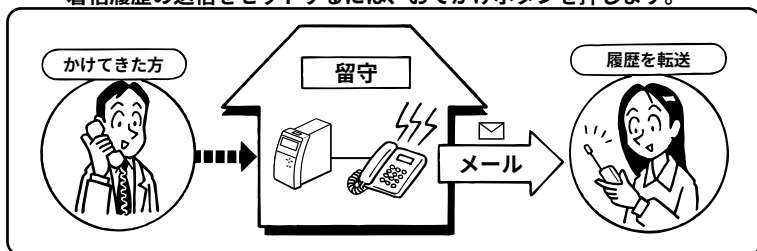
添付ファイルのファイル名が文字化けを起こす場合があります。

アナログポートの着信履歴を送信するには

不在時にかかってきた電話の着信履歴を、メールで送信できます。前回の着信履歴の送信以降の新しい着信履歴を最大10件送信します。着信履歴の送信は、メールの到着を確認するタイミングとあらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたタイミングで行われます。

着信履歴の送信は、ユーザ1のみ利用できます。

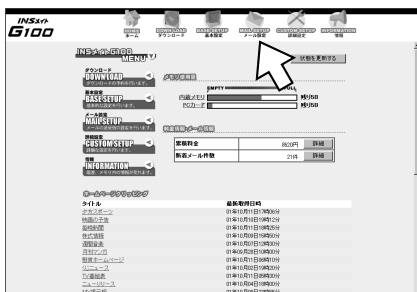
着信履歴の送信をセットするには、おでかけボタンを押します。



着信履歴の送信を設定する

1 ホームページで[メール設定] アイコンをクリックする。

ユーザ1の設定画面が表示されます。



2 [転送先アドレス] に、転送先のメールアドレスを入力する。

メール設定 | ユーザー設定1 | ユーザー設定2 | ユーザー設定3 | 送信履歴表示 |

メール確認

☐ 実行する

☐ 停止する

ユーザー名

ばく ※最大全角15文字

メールアドレス

tanaka@***** ※最大全角40文字

アカウント

tanaka ※最大全角40文字

パスワード

***** ※最大全角40文字

POPサーバ

mail***** ※最大全角40文字

SMTPサーバ

mail***** ※最大全角40文字

スプール

☐ しない

☐ する

サーバ上のメールを削除

☐ しない

☐ メールを削除時

転送先アドレス

tanaka@***** ※最大全角40文字

メールの保存・転送

※保存・転送する。現在表示中のメールは登録されます。

伝真メール

※ボイスレクシオンをする。表示中のメールは登録されます。

TELポート

☐ しない

☐ する

若右衛門の転送

認識発信番号

※最大全角10桁

1 メールの設定

2 メールの保存

3 メール転送

4 伝言メールの利用

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

3 [TELポート着信履歴の転送] の [する] をクリックする。

メール設定 | ユーザ設定 | ユーザ設定 | ユーザ設定 | 既定値戻す

メール確認 ☐ 実行する ☐ 停止する

ユーザ名 ※最大全角4文字

メールアドレス ※最大半角6文字

アカウント ※最大半角10文字

パスワード ※最大半角10文字

POPサーバ ※最大半角10文字

SMTPサーバ ※最大半角10文字

スプール ☐ しない ☐ する

サーバのメールを削除 ☐ しない ☐ する

転送先アドレス ※最大半角6文字

メールの保存・転送 ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

伝言メール ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

TELポート着信履歴の転送 ☐ しない ☒ する

認識電話番号 ※最大半角10桁

4 あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたタイミングで着信履歴を送信する場合は、[認識電話番号] にその電話番号を入力する。

〈利用例〉

携帯電話機などの電話番号を「認識電話番号」に登録しておくと、外出時にその携帯電話機から電話をかけ、呼び出し音を聞くだけで、アナログポートの着信履歴をメールで送信することができます。

メール設定 | ユーザ設定 | ユーザ設定 | ユーザ設定 | 既定値戻す

メール確認 ☐ 実行する ☐ 停止する

ユーザ名 ※最大全角4文字

メールアドレス ※最大半角6文字

アカウント ※最大半角10文字

パスワード ※最大半角10文字

POPサーバ ※最大半角10文字

SMTPサーバ ※最大半角10文字

スプール ☐ しない ☐ する

サーバのメールを削除 ☐ しない ☐ する

転送先アドレス ※最大半角6文字

メールの保存・転送 ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

伝言メール ※ボタンをクリックすると、現在表示中の値は登録されます。

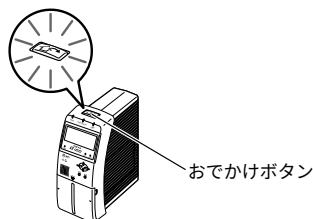
TELポート着信履歴の転送 ☐ しない ☒ する

認識電話番号 ※最大半角10桁

5 [登録] をクリックする。

着信履歴の送信をセット／解除する

- 1 本商品のおでかけボタンを押す。**
おでかけランプが点灯し、着信履歴の送信がセットされます。



2 着信履歴の送信を解除するときは、もう一度おでかけボタンを押す。



ワンポイント

● 着信履歴のメールの内容

「着信履歴 (xxxxxx)」(xxxxxxは着信履歴のメールが作成された月日時分) という件名のメールが送信されます。アドレス帳に登録している場合は、相手の名前も送信されます。

(例) subject: 着信履歴 (xxxxxx)

10/10 17:40 山本 (0312345678)

10/10 12:30 山田 (0312342222)

10/10 12:20 非通知

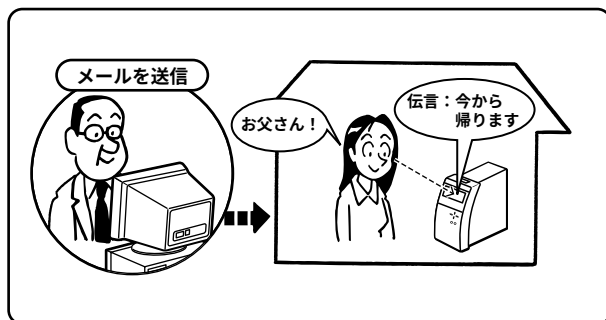


お知らせ

- 本商品および他のINSネット64用通信機器の接続状態等によっては、メールの転送処理が正常に動作しない場合があります。
- おでかけボタンを押してセットしたアナログポートの着信履歴の送信は、停電時動作用の乾電池により、停電時でも保持されますが、停電時は、アナログポートの着信履歴の送信は行われません。(☞P1-10)

伝言メールを利用するには

あらかじめ設定した相手からのメールのタイトル（サブジェクト、件名）を液晶ディスプレイで確認することができます。あらかじめ伝言メールの差出人名と件名を設定しておく必要があります。伝言メールとして受信する条件は最大3件まで設定できます。伝言メールは、ユーザ1のみ利用できます。

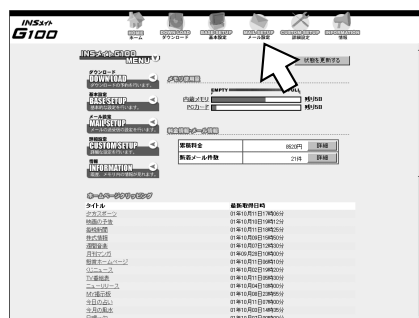


伝言メールを設定する

伝言メールとして受信するメールの条件を設定します。この設定と一致したメールが伝言メールになります。

1 ホームページで「メール設定」アイコンをクリックする。

ユーザ1の設定画面が表示されます。



2 「伝言」をクリックする。

3 伝言メールとして受信する条件を設定する。

差出人のメールアドレスと件名を設定することができます。メールアドレスと件名のどちらか一方、または両方を設定できます。

- ・両方を設定した場合は、両方に一致したメールが伝言メールとして表示されます。
- ・両方空白の場合は伝言メールとして表示しません。

●メールアドレスを設定する

[from] に伝言メールとして表示するメールの差出人のメールアドレス、またはメールアドレスの一部を入力します。

(例) 「yamada@aaa.bbb」と入力した場合

メールアドレスにyamada@aaa.bbbが含まれるメールが伝言メールとして表示されます。

●件名を設定する

[subject] に伝言メールとして表示するメールの件名、または件名の一部を入力します。

(例) 「旅行の予定」と入力した場合

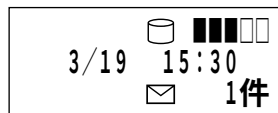
件名に「旅行の予定」が含まれるメールが伝言メールとして表示されます。

4 「登録」をクリックする。

伝言メールを利用するには

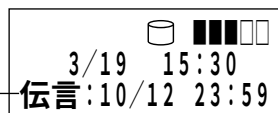
伝言メールを受信したとき

MAILランプが点灯（緑）し、液晶ディスプレイに次のように表示されます。



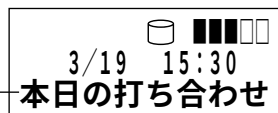
▼3秒経過

受信日時が表示されます。



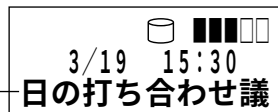
▼3秒経過

タイトルの1行目が表示されます。



▼2秒経過

続きが一文字ずつスクロールされます。



●メールが1件のとき

スクロール表示が終わると最初の画面に戻り、伝言メールの表示を繰り返します。

●メールが複数あるとき

スクロール表示が終わると、次のメールの受信日時、タイトルが表示されます。すべてのメールの表示が終わると最初の画面に戻り、1件目のメール表示から繰り返します。



ワンポイント

●伝言メールの表示を消したいときは

受信したメールの着信履歴を液晶ディスプレイで確認すると消えます。（☞P5-9）



お知らせ

- 伝言メールは、最大5件まで表示することができます。5件を超えると、古い伝言メールから削除されます。
- 伝言メールは、停電時動作作用の乾電池により、停電時でも保持されます。（☞P1-10）

設定編

- 1 ブラウザでの設定 6-2
- 2 詳細設定 6-9
- 3 メールの設定画面 6-33
- 4 内蔵メモリとPCカードの設定 ... 6-39
- 5 メロディの設定 6-48

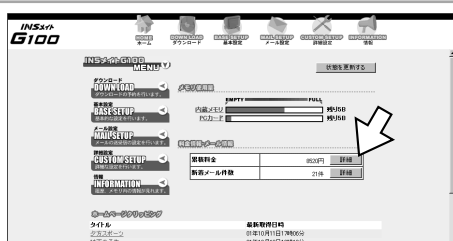
いろいろな情報を確認するには

ブラウザの画面で、累積料金や新着メール件数、メール着信履歴、ダウンロード履歴などの情報を確認することができます。

料金情報とデータ通信履歴を確認する

ポートごとの直前の料金情報、累積料金、データ通信最新履歴を確認することができます。

- 1 ホームページの「料金情報・メール情報」で、「累積料金」の「詳細」をクリックする。



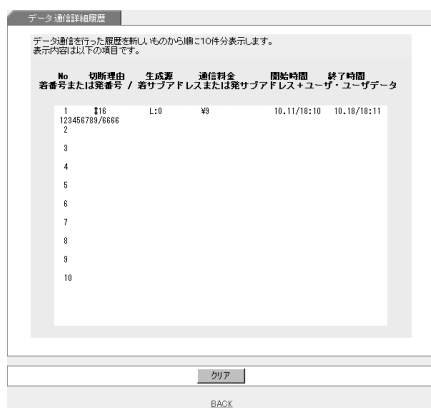
- 2 料金情報とデータ通信履歴を確認する。

「クリア」をクリックすると、累積料金がゼロに戻ります。



「データ通信最新履歴」の「詳細履歴」をクリックすると、データ通信の詳細履歴が表示されます。

「クリア」をクリックすると、データ通信履歴が消去されます。



- 3 ホームページに戻るときは、「ホーム」アイコンをクリックする。

●データ通信詳細履歴表示例

データ通信詳細履歴

データ通信を行った履歴を新しいものから順に10件分表示します。
表示内容は以下の項目です。

No	切断理由	生成源	通信料金	開始時間	終了時間
若番号または発番号 / 若サブアドレスまたは発サブアドレス+ユーザ・ユーザデータ					
1	※16	L:0	¥9	10.11/18:10	10.18/18:11
2	123456789/6666				
3					
4			通信料金		終了時間
5				開始時間	
6		生成源※1			
7					
8					
9					
10					

記録番号 (1~10)

発信者または相手先の電話番号

発信者または相手先のサブアドレス

切断理由※2 (←P6-4)

クリア

BACK

※1 生成源の値と意味

値	生成源
0	ユーザ
1	ローカルユーザ収容私設網 (自分側)
2	ローカルユーザ収容公衆網 (自分側)
3	中継網
4	リモートユーザ収容公衆網 (相手側)
5	リモートユーザ収容私設網 (相手側)
7	国際網
A	インタワーキング先の網

(次ページへ続きます)

いろいろな情報を確認するには

(前ページの続きです)

※2 切断理由の値と意味

値	切断理由	値	切断理由
1	欠番	57	伝達能力不許可
2	指定中継網へのルートなし	58	現在利用不可伝達能力
3	相手へのルートなし	63	その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス
6	チャンネル利用不可	65	未提供伝達能力指定
7	呼が設定済みのチャンネルへ着呼	66	未提供チャンネル種別指定
16	正常切断	69	未提供ファシリティ要求
17	着ユーザビジー	70	制限デジタル情報転送能力のみ可能
18	着ユーザレスポンスなし	79	その他のサービスまたはオプションの未提供クラス
19	相手ユーザ応答なし（呼出中）	81	無効呼番号値使用
20	加入者不在	82	無効チャンネル番号使用
21	通信拒否	83	指定された中断呼識別番号未使用
22	相手加入者番号変更	84	中断呼識別番号使用中
26	選択されなかったユーザの切断復旧	85	中断呼なし
27	着側インタフェース起動不可	86	指定中断呼切断復旧済み
28	無効番号フォーマット（不完全番号）	87	ユーザはCUGメンバではない
29	ファシリティ拒否	88	端末属性不一致
30	状態問い合わせへの応答	91	無効中断網選択
31	その他の正常クラス	95	その他の無効メッセージクラス
34	利用可回線／チャンネルなし	96	必須情報要素不足
38	網故障	97	メッセージ種別未定義または未提供
41	一時的失敗	98	呼状態とメッセージ不一致またはメッセージ種別未定義または未提供
42	交換機輻輳	99	情報要素未定義または未提供
43	アクセス情報廃棄	100	情報要素内容無効
44	要求回線／チャンネル利用不可	101	呼状態とメッセージ不一致
47	その他のリソース使用不可クラス	102	タイム満了による回復
49	QOS利用不可	111	その他の手順誤りクラス
50	要求ファシリティ未契約	127	その他のインタワーキングクラス



お知らせ

- 直前の料金情報、累積料金、データ通信最新履歴は、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されます。（☞P1-10）

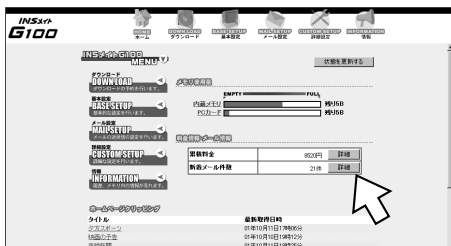
メール着信履歴を確認する

ユーザごとに新着メールの履歴を確認することができます。

1 ホームページの【料金情報・メール情報】で、【新着メール件数】の【詳細】をクリックする。

ホームページの【情報】アイコンをクリックして、メール着信履歴画面を表示することもできます。

ユーザ1のメール着信履歴が表示されます。



2 メール着信履歴を確認する。

ユーザ名をクリックすると、ほかのユーザのメール着信履歴を確認することができます。

【状態を更新する】をクリックすると、最新の情報が表示されます。

【メールを確認する】をクリックすると、メールの到着を確認することができます。

【クリア】をクリックすると、メール着信履歴が消去されます。

表示されるアイコンの意味は次のとおりです。各アイコンはそれぞれの動作が成功したときに表示されます。

 : 添付ファイルが保存されているとき

 : 本文が保存されているとき

 : 伝言メールのとき

 : メールが転送されたとき

3 ホームページに戻るときは、【ホーム】アイコンをクリックする。



ワンポイント

●メールの到着を手動で確認するには

手順2で【メールを確認する】をクリックすると、自動受信の時間でもメールの到着を確認することができます。



お知らせ

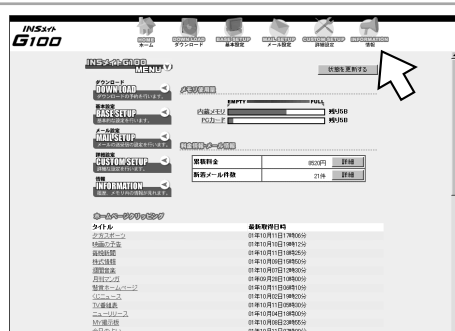
- ユーザ設定で、アカウントまたはPOPサーバの設定を消去したり、変更するとメールの着信履歴は消去されます。
- メール着信履歴は、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されます。(P1-10)
- 送信元とタイトルは全角16文字／半角32文字まで表示します。
- 手順2で【クリア】をクリックしたときに、メール着信履歴が消去されていない画面を表示することがあります。このような場合は、【状態を更新する】をクリックしてください。

いろいろな情報を確認するには

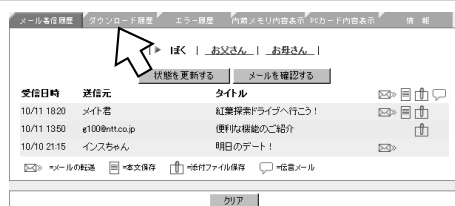
ダウンロード履歴を確認する

インターネットからダウンロードしたファイルの詳細を確認することができます。

- 1 ホームページの「情報」アイコンをクリックする。

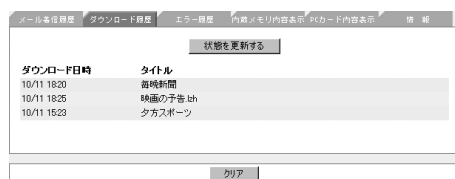


- 2 「ダウンロード履歴」をクリックする。



- 3 ダウンロード履歴を確認する。

「状態を更新する」をクリックすると、最新の情報が表示されます。
「クリア」をクリックすると、ダウンロード履歴が消去されます。



- 4 ホームページに戻るときは、「ホーム」アイコンをクリックする。



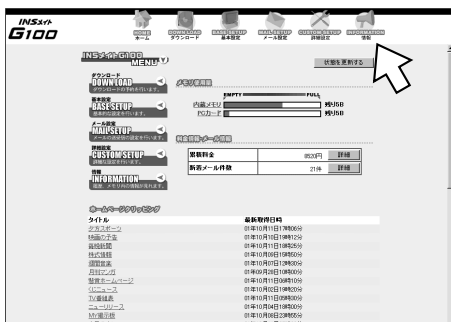
お知らせ

- 手順3で「クリア」をクリックしたときに、ダウンロード履歴が消去されていない画面を表示することがあります。このような場合は、「状態を更新する」をクリックしてください。

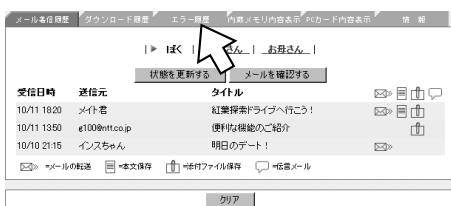
エラー履歴を確認する

メールの受信やダウンロードに失敗した場合など、エラーの詳細を確認することができます。

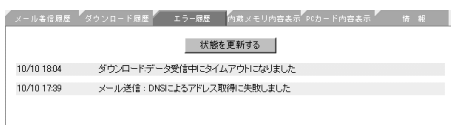
1 ホームページの「情報」アイコンをクリックする。



2 「エラー履歴」をクリックする。



3 エラー履歴を確認する。 [状態を更新する] をクリックすると、最新の情報が表示されます。



4 ホームページに戻るときは、「ホーム」アイコンをクリックする。



ワンポイント

- エラーメッセージの意味と処置方法は（➡P参-5）



お知らせ

- エラー履歴の削除機能はありません。削除するときは、お買い求め時の設定に戻してください。（➡P6-10）

本商品のバージョンアップを行うには

当社のホームページからソフトウェアをダウンロードすることにより、バージョンアップを行うことができます。バージョンアップソフトウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法やバージョンアップ方法など、詳しくは以下のホームページを参照してください。

当社のホームページ <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>

<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>



ワンポイント

- 本商品のファームウェアのバージョンを確認するには
ホームページの「情報」アイコンをクリックし、「情報」タブをクリックすると表示されます。
- バージョンアップに失敗したときは
いったん電源プラグおよび乾電池を抜いてください。電源プラグを差し込み、乾電池を入れ直して、もう一度、バージョンアップを実行してください。



お知らせ

- バージョンアップを正常に終了させないと、本商品が動作できなくなります。
- バージョンアップを実行しても、バージョンアップ前の設定は保存されます。ただし、以下の内容は保存されません。
 - ・データ通信履歴
 - ・直前の料金情報
 - ・累積料金情報
 - ・日付、時刻
 - ・アナログポートの着信履歴
 - ・ホームページクリッピング履歴／予約情報／内蔵メモリに保存したコンテンツ
 - ・コンテンツダウンロード履歴／予約情報／内蔵メモリに保存したコンテンツ
 - ・新着メール件数
 - ・伝言メール
 - ・メール着信履歴
 - ・内蔵メモリに保存したメール
 - ・メロディ音量
 - ・おでかけボタンを押してセットした転送



お願い

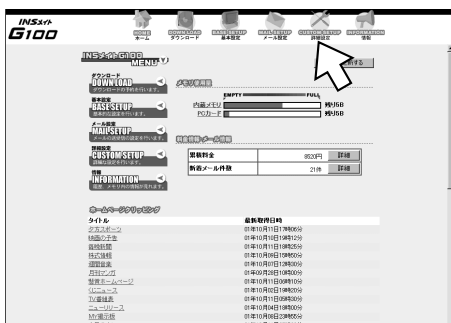
- バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

詳細設定画面

ホームページで【詳細設定】アイコンをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。詳細設定では、本商品のアナログポートやデータポートの設定、i・ナンバーの設定などを行うことができます。

詳細設定画面を表示する

- 1 ホームページで画面上部の【詳細設定】アイコンまたはメニューの【詳細設定】をクリックする。



- 2 設定を行う項目をクリックして、各設定画面を表示する。



TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面（☞P6-12）

TEL1ポート、TEL2ポートの設定を行います。

TEL1・2共通設定画面（☞P6-19）

i・ナンバーやTEL1ポート、TEL2ポート共通の設定を行います。

データポート設定画面（☞P6-23）

データポートの設定を行います。

メール設定（☞P6-33）

メール機能を利用するための設定を行います。

全体設定画面（☞P6-30）

アドレス帳の登録やメロディ設定などを行います。

1
ブラウザでの
設定

2 詳細設定

3
メールの
設定画面

4
内蔵メモリとPC
カードの設定

5
メロディの設定

お買い求め時の設定に戻す

本商品の設定をお買い求め時の状態に戻すことができます。
初期化を行っても、以下の設定内容はそのまま残ります。

- 短縮ダイヤル
- 発信者番号
- i・ナンバー電話番号
- 各ポートの着信する番号
- 各ポートのサブアドレス
- モデムダイヤルイン用契約者回線番号
- ホットライン番号
- 疑似なりわけ番号
- 着信転送先電話番号
- 着信転送元電話番号
- 着信転送元サブアドレス

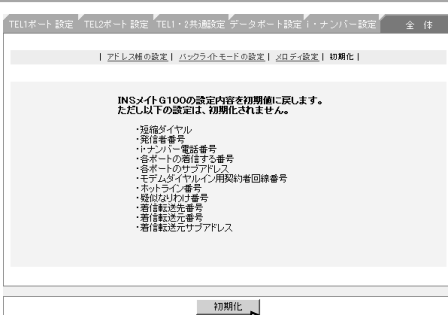
1 詳細設定画面で【メロディ設定】、
【アドレス帳設定】、【バックライト
モード設定】のいずれかをクリッ
クする。



2 [初期化] をクリックする。



3 [初期化] をクリックする。



4 [初期化確認] 画面が表示されたら [了解] をクリックする。

5 [初期化完了] 画面が表示されたら [了解] をクリックする。

6 本商品との接続を終了させてから (←パソコン準備ガイド「本商品との接続を終了するには」)、電源プラグおよび乾電池を抜いて、再度電源プラグを電源コンセントに差し込み、乾電池を入れる。

設定内容が初期化され、お買い求め時の状態に戻ります。

TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面

詳細設定画面で「TEL1ポート設定」の項目をクリックするとTEL1ポートの各設定画面、「TEL2ポート設定」の項目をクリックするとTEL2ポートの各設定画面が表示されます。TEL1ポート、TEL2ポートそれぞれの画面で設定を行います。例はTEL1ポート設定画面です。

■ 発信・着信1

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
発信者番号 (☞P2-41)	発信するときに通知する電話番号を入力します。	電話番号 (最大半角32桁)
着信する番号 (☞P2-58)	このアナログポートに着信する電話番号を入力します。1つのアナログポートに最大8個の電話番号を設定できます。	電話番号 (最大半角32桁)
サブアドレス (☞P2-64)	このアナログポートに設定するサブアドレスを入力します。	サブアドレス (最大半角19桁)
発信者番号通知 (☞P2-41)	このアナログポートから発信するとき、発信者番号を通知するかどうかを設定します。	発信者番号通知する 発信者番号通知しない <u>INSネット64申込内容に従う</u>
サブアドレスなし着信選択 (☞P2-64)	サブアドレスが指定されていない着信を受けるかどうかを設定します。	<u>着信する</u> 着信しない
グローバル着信選択 (☞P2-58)	INSネット64のグローバル着信の利用を契約している場合、グローバル着信選択機能を設定します。	<u>着信する</u> 着信しない



お知らせ

- 発信者番号通知を「通知しない」または「通知する」に設定し、i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、必ず発信者番号（←P2-41）を正しく設定してください。
- サブアドレスなし着信選択を「着信しない」に設定すると、サブアドレスのない着信（相手が契約者回線番号、i・ナンバー電話番号または追加番号のみで発信）は受けられなくなります。



お願い

- 発信者番号を正しく設定しない場合、相手に発信者番号（←P2-41）が正しく通知されません。また、INSネット64サービスが利用できない場合がありますので、発信者番号を正しく設定してください。

■ 発信・着信2

TEL1ポート設定	TEL2ポート設定	TEL1・2共通設定	データポート設定	・ファクシール設定	全 件
発信・着信1 発信・着信2 マッチボック番号通知 なりわけ その他 預選ダイヤル					
接続機器 ☐ 電話機1 ☒ ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機 ☐ 電話機2^{※1} ☐ ファクス^{※2} ※1 電話専用の設定がされているため、G4ファクスやファクス専用の設定がされている機器との通信はできません。 ※2 ファクス専用の設定がされているため、INSネット64回電話機や標準電話機等との通信はできません。					
ホットライン ☐ しない ☐ する 電話番号 ※最大半角32桁 サブアドレス ※最大半角19桁					
発信規制 ☒ 規制しない ☐ 0発信規制 ☐ 外線発信規制					
着信拒否 ☐ しない ☐ する					
登録					

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
接続機器 (P2-65)	このアナログポートに接続する機器を選択します。発信側の接続機器の設定とここで設定した内容が異なる場合は、着信しないことがあります。	電話機1 ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機 電話機2 ファクス
ホットライン (P2-32)	ホットラインを利用するときに設定します。	しない する
電話番号	ホットラインに登録する電話番号を入力します。	電話番号 (最大半角32桁)
サブアドレス	ホットラインに登録するサブアドレスを入力します。	サブアドレス (最大半角19桁)
発信規制 (P2-3)	このアナログポートに接続したアナログ通信機器からの発信を規制するときに設定します。1桁目が「0」の電話番号への発信を規制する場合は「0発信規制」、すべての外線発信を規制する場合は「外線発信規制」を選択します。	規制しない 0発信規制 外線発信規制
着信拒否 (1-14、2-3)	このアナログポートに接続したアナログ通信機器で着信を受けないとき、このアナログポートに何も接続しないときに設定します。	しない する

■ キャッチホン・番号通知

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 1・ナンバー設定 全 件

| 装置-通信1 | 装置-通信2 | **キャッチホン・番号通知** | なりわけ | その他 | 預置ダイヤル |

キャッチホン	☒ 使用しない ☐ 疑似キャッチホン ☐ INSキャッチホン
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	☒ しない ☐ する
ナンバー・ディスプレイ 発信者番号通知	☒ しない ☐ する
モデムダイヤルイン 着信電話番号通知	☒ しない ☐ する
キャッチホン・ディスプレイ 発信電話番号通知	☒ しない ☐ する

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
キャッチホン (➡P2-15、2-16)	INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンを利用するときに設定します。	使用しない 疑似キャッチホン INSキャッチホン
メッセージあり情報通知 (Lモード関連) (➡P2-34、2-36)	INSメッセージ到着お知らせサービスを利用して、アナログ通信機器にメッセージあり情報を通知するときに設定します。	<u>しない</u> する
ナンバー・ディスプレイ 発信者番号通知 (➡P2-43)	ナンバー・ディスプレイを利用するときに設定します。	<u>しない</u> する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知 (➡P2-60、2-62)	モデムダイヤルインを利用するときに設定します。	<u>しない</u> する
キャッチホン・ディスプレイ 発信電話番号通知 (➡P2-47)	キャッチホン・ディスプレイを利用するときに設定します。	<u>しない</u> する



お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイ発信電話番号通知を「する」に設定したときは、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定してください。
キャッチホン・ディスプレイ発信電話番号通知のみ「する」に設定するとアナログ通信機器が正常動作しない場合があります。
- モデムダイヤルインとメッセージあり情報通知を同時に利用することはできません。

■ なりわけ

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 (・ナンバー設定) 全 件

| 設定・通信1 | 設定・通信2 | キャンペーン・番号通知 | なりわけ | その他 | 画面デザイン |

INSなりわけ ☒ しない
☐ する

疑似なりわけ ☒ しない
☐ する

なりわけ動作設定 ☒ 識別リング
☐ セキュリティ(着信拒否)

疑似なりわけ番号

	電話番号	サブアドレス
0		
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

※最大半角3桁 ※最大半角19桁

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
INSなりわけ (☛P2-20)	INSなりわけを利用するときに設定します。	<u>しない</u> する
疑似なりわけ (☛P2-21)	疑似なりわけを利用するときに設定します。	<u>しない</u> する
なりわけ動作設定 (☛P2-20)	INSなりわけまたは疑似なりわけを利用する場合、なりわけの動作を選択します。	<u>識別リング</u> セキュリティ(着信拒否)
疑似なりわけ番号 (☛P2-21)	疑似なりわけに登録する電話番号を入力します。サブアドレスを設定することもできます。	電話番号(最大半角32桁) サブアドレス(最大半角19桁)

■ その他

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 1 ナンバー設定 全 付

| 発信・着信1 | 発信・着信2 | キャンセル音・待受通知 | 呼び出し | その他 | 振動ダイヤル |

FAX無鳴動着信 ☒ しない ☐ する

受話音量調整 ☐ 小 ☒ 中 ☐ 大

内線呼出信号設定 ☐ 呼出信号1 ☒ 呼出信号2

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
FAX無鳴動着信 (P2-40)	FAX無鳴動着信を利用するかどうかを選択します。	<u>し</u> ない する
受話音量調整 (P2-3)	このアナログポートに接続したアナログ通信機器の受話音量を調整します。	小 <u>中</u> 大
内線呼出信号設定 (P2-9)	内線通話、内線転送のときの呼出音を選択します。	呼出信号1「ブルブル、ブルブル…」 呼出信号2「ブルブル、ブルブル…」

1
設定
ブラウザでの

2
詳細設定

3
メールの
設定画面

4
内蔵メモリとPC
カードの設定

5
メモリーの設定

■ 短縮ダイヤル

TEL1ポート設定TEL2ポート設定TEL1・2共通設定データポート設定1・ナンバー設定全件

| 発信・着信1 | 発信・着信2 | キャンセルボーン・番号通知 | 呼び出し | その他 | 短縮ダイヤル |

電話番号サブアドレス

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

※最大半角10桁

※最大半角19桁

登録

設定項目	説 明	設定内容
短縮ダイヤル (P2-31)	短縮ダイヤルに登録する電話番号を入力します。サブアドレスを設定することもできます。	電話番号 (最大半角32桁) サブアドレス (最大半角19桁)

TEL1・2共通設定画面

詳細設定画面で【TEL1・2共通設定】の項目をクリックすると表示される画面です。

■ 三者通話・通信中転送

The screenshot shows a web-based configuration interface. At the top, there are tabs for 'TEL1ポート設定', 'TEL2ポート設定', 'TEL1・2共通設定' (which is selected), 'データポート設定', and 'ナンバー設定'. Below the tabs is a breadcrumb trail: '三者通話・通信中転送 | 通信転送 | その他 | メッセージ表示(リモート関連)'. The main content area has three sections: '三者通話' with radio buttons for '使用しない' (selected), '疑似三者通話する', and '三者通話する'; '通信中転送' with radio buttons for '使用しない' (selected) and '使用する'; and '話者切替タイマ' with a dropdown menu set to '4' and a unit of '秒'. A note at the bottom states: '※フッキングをして、相手の方の電話に切り替わるまでの時間を設定します。' A '登録' button is at the bottom right.

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
三者通話 (☞P2-24、2-25)	フレックスホンの三者通話、または疑似三者通話を利用するときに設定します。	使用しない 疑似三者通話する 三者通話する
通信中転送 (☞P2-29)	通信中転送を利用するかどうかを選択します。	使用しない 使用する
話者切替タイマ (☞P2-28)	三者通話などで話す相手の方を切り替えるとき、1回フッキングをしてから次にフッキングをするまでの時間（発信音が鳴っている時間）を設定します。	2～9（秒） （お買い求め時：4秒）

■ 着信転送

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 i・ナンバー設定 全 休

三楽通話中転送 | 着信転送 | 天の池 | スクリーン表示(モード間遷移)

着信転送

☐ 使用しない

☐ 疑似着信転送する

☐ 着信転送する

※おでかけボタンがセオまれていないときは、着信転送されません。

着信転送トーク設定

☐ 転送トークなし、転送元トークなし、ユーザ情報なし

☐ 転送トークあり、転送元トークなし、ユーザ情報なし

☐ 転送トークなし、転送元トークあり、ユーザ情報あり

☐ 転送トークあり、転送元トークあり、ユーザ情報あり

☐ 転送トークあり、転送元トークなし、ユーザ情報あり

※疑似着信転送のときは利用できません

着信転送 転送元・転送先電話番号設定

契約者回線番号

転送元 ※最大半角32桁

転送元サブアドレス ※最大半角19桁

転送先 ※最大半角32桁

転送元 ※最大半角32桁

ダイヤルイン/ナンバー用1

転送元サブアドレス ※最大半角19桁

転送先 ※最大半角32桁

転送元 ※最大半角32桁

ダイヤルイン/ナンバー用2

転送元サブアドレス ※最大半角19桁

転送先 ※最大半角32桁

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
着信転送 (☞P2-68)	フレックスホンの着信転送、または疑似着信転送を利用するときに設定します。	使用しない 疑似着信転送する 着信転送する
着信転送トーク設定 (☞P2-68)	フレックスホンの着信転送をご利用のとき、電話をかけてきた方、転送する相手の方に流す音声(トーク)を設定します。	転送トークなし、転送元トークなし、 <u>ユーザ情報なし</u> 転送トークあり、転送元トークなし、ユーザ情報なし 転送トークなし、転送元トークあり、ユーザ情報あり 転送トークあり、転送元トークあり、ユーザ情報あり 転送トークなし、転送元トークなし、ユーザ情報あり
着信転送 転送元・転送先電話番号設定 (☞P2-69)	着信転送の転送元電話番号、転送元サブアドレス、転送先電話番号を設定します。契約者回線番号用、ダイヤルイン/i・ナンバー用1、ダイヤルイン/i・ナンバー用2のそれぞれについて設定できます。	転送元の電話番号(最大半角32桁) 転送元のサブアドレスも指定できる(最大半角19桁) 転送先の電話番号(最大半角32桁)

■ その他

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 1・ナンバール設定 全 体

| 三番通話 | 通話中転送 | 着信転送 | その他 | メッセージ表示 (1ポート間通話) |

優先着信ポート指定 ☐ 指定しない
☐ TEL1ポート
☐ TEL2ポート

フッキング検出タイム ☐ 普通
☐ 長い
☐ 短い

ダイヤル終了識別 ☐ する(＃)
☐ する(＃＃)
☐ しない

FAX自動転送 ☐ しない
☐ する

内線機能 ☐ 使用しない
☐ 使用する

ダイヤル桁間タイム 秒

モデムダイヤルイン用契約者回線番号

契約者回線番号

※ダイヤルインでモデムダイヤルインを利用する場合のみ設定してください。

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
優先着信ポート指定 (☞P2-14)	どちらかのアナログポートを優先的に着信させたいときに設定します。	<u>指定しない</u> TEL1ポート TEL2ポート
フッキング検出タイム (☞P2-9)	フックスイッチを長めに押してもフッキングと認識させる場合は「長い」に、短めに押してもフッキングと認識させる場合は「短い」に設定します。	短い <u>普通</u> 長い
ダイヤル終了識別 (☞P2-3)	ダイヤル終了時に(Ⓜ)ボタンを押しても発信できないようにする場合は「しない」に、(Ⓜ)ボタンを2回押して発信できるようにする場合は「する(＃＃)」に設定します。	しない <u>する(＃)</u> する(＃＃)
FAX自動転送 (☞P2-38)	FAX自動転送を利用するときに設定します。	<u>しない</u> する
内線機能 (☞P2-9)	内線通話、内線転送を使用するかどうかを選択します。	使用しない <u>使用する</u>
ダイヤル桁間タイム (☞P2-3)	ダイヤルボタンを押してから自動的に発信するまでの間隔を設定します。	2～15 (秒) (お買い求め時：4秒)
モデムダイヤルイン用契約者回線番号 (☞P2-62)	モデムダイヤルインを利用する場合、契約者回線番号で着信したときに通知する電話番号を設定します。必ず市内局番から設定します。通常は、契約者回線番号を設定してください。	電話番号 (最大半角20桁)

■ メッセージ表示（Lモード関連）

詳細設定画面で「メッセージ表示（Lモード関連）」をクリックすると表示される画面です。

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 I・ナンバー設定 全 件

！ 三番通話・通話中転送！ 着信転送！ その他！メッセージ表示(Lモード関連)！

MSGランプ設定 (Lモード関連)

☒ メッセージあり状態表示をする

☐ メッセージあり状態表示をしない

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
MSGランプ設定（Lモード関連） (P2-34、2-36)	LモードまたはINSメッセージ到着お知らせサービスをご利用の場合、メッセージあり状態をランプで表示するときに設定します。	<u>メッセージあり状態表示をする</u> メッセージあり状態表示をしない

データポート設定画面

詳細設定画面で【データポート設定】の項目をクリックすると表示される画面です。

■ 発信・着信

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
発信者番号 (☛P2-41)	発信するときに通知する電話番号を入力します。	電話番号 (最大半角32桁)
着信する番号 (☛P2-58)	RS-232CポートまたはUSBポートに着信する電話番号を入力します。	電話番号 (最大半角32桁)
サブアドレス (☛P2-64)	RS-232CポートまたはUSBポートに設定するサブアドレスを入力します。	サブアドレス (最大半角19桁)
発信者番号通知 (☛P2-41)	RS-232CポートまたはUSBポートから発信するとき、発信者番号を通知するかどうかを設定します。	発信者番号通知する 発信者番号通知しない <u>INSネット64申込内容に従う</u>
サブアドレスなし着信選択 (☛P2-64)	サブアドレスが指定されていない着信を受けるかどうかを設定します。	<u>着信する</u> 着信しない
グローバル着信選択 (☛P2-58)	INSネット64のグローバル着信の利用を契約している場合、グローバル着信選択機能を設定します。	<u>着信する</u> 着信しない
着信拒否 (ダイレクトモード時に有効)	データポートに接続したパソコンで着信を受けないときに設定します。ダイレクトモードのみで有効です。	しない <u>する</u>

1
設定
ブラウザでの

2
詳細設定

3
メールの
設定画面

4
内蔵メモリとPC
カードの設定

5
メモリーの
設定

データポート設定画面



お知らせ

- 発信者番号通知を「通知しない」または「通知する」に設定し、i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、必ず発信者番号（←P2-41）を正しく設定してください。
- サブアドレスなし着信選択を「着信しない」に設定すると、サブアドレスのない着信（相手が契約回線番号、i・ナンバー電話番号または追加番号のみで発信）は受けられなくなります。



お願い

- 発信者番号を正しく設定しない場合、相手に発信者番号（←P2-41）が正しく通知されません。また、INSネット64サービスが利用できない場合がありますので、発信者番号を正しく設定してください。

■ BOD機能

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 データポート設定 ナンバー設定 全 修

復旧・重症 BOD機能 OTT機能 印刷設定 本の使

リソースBOD

☒ 使用しない
☐ 発信／着信時に使用する
☐ 発信時に使用する
☐ 着信時に使用する

スループットBOD

☒ 使用しない
☐ 使用する
☐ 使用する(BACP)

リンク追加 算出時間 30 秒 しきい値 70 %
 リンク削除 算出時間 10 秒 しきい値 20 %

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
リソースBOD (CD-ROM)	リソースBODを利用するとき、利用するタイミングを選択します。	使用しない 発信／着信時にする 発信時に使用する 着信時に使用する
スループットBOD (CD-ROM)	スループットBODを利用するかどうかを選択します。スループットBODでBACPを利用する場合は、「使用する（BACP）」を選択します。	使用しない 使用する 使用する（BACP）
リンク追加 (CD-ROM)	スループットBODを利用するときのリンク追加を設定します。	
算出時間	リンク追加算出時間を指定します。	10～60（秒）（お買い求め時：30秒）
しきい値	リンク追加しきい値を指定します。	60～90（％）（お買い求め時：70％）
リンク削除 (CD-ROM)	スループットBODを利用するときのリンク削除を設定します。	
算出時間	リンク削除算出時間を指定します。	10～60（秒）（お買い求め時：10秒）
しきい値	リンク削除しきい値を指定します。	10～40（％）（お買い求め時：20％）

データポート設定画面

■ CTI機能

TEL1ポート設定 TEL2ポート設定 TEL1・2共通設定 **データポート設定** ナンバー設定 全 件

発信・着信 BOD機能 CTI機能 上段料金設定 その他

CTI情報出力

☒ 出力しない
☐ TEL1への着信を出力する
☐ TEL2への着信を出力する
☐ TEL1またはTEL2への着信を出力する

CTI発信

☐ 送出不しい
☒ 呼出信号1
☐ 呼出信号3

CTI呼出時間設定 180 秒

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
CTI情報出力 (CD-ROM)	アナログポートに着信したとき、相手の方の発信者番号または非通知理由、着信した番号をRS-232CポートまたはUSBポートに出力するかどうかを設定します。	<u>出力しない</u> TEL1への着信を出力する TEL2への着信を出力する TEL1またはTEL2への着信を出力する
CTI呼出種別設定 (CD-ROM)	CTI発信でアナログ通信機器を呼び出すときの呼出音を選択します。呼出音を鳴らさないときは、「送出不しい」を選択します。「送出不しい」を選択しても、「CTI呼出時間設定」で指定した時間内はCTI発信することができます。	<u>送出不しい</u> <u>呼出信号1</u> 呼出信号3
CTI呼出時間設定 (CD-ROM)	CTI発信でアナログ通信機器を呼び出す時間を指定します。	15～180（秒） （お買い求め時：180秒）

■ 上限料金設定

TEL1ポート 設定 TEL2ポート 設定 TEL1・2共通設定 データポート 設定 1 ナンバー設定 全 付

| 発信・着信 | BOD機能 | OTI機能 | 上限料金設定 | その他 |

上限料金設定 ☒ 指定なし
☐ 指定あり 円※最大半角1桁

登録

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
上限料金設定 (←P4-25)	累積の通信料金が一定の金額を超えたとき、液晶ディスプレイに料金オーバーのメッセージを表示し、メール受信とダウンロードができなくなるようにするかどうかを設定します。	指定なし 指定あり (「指定あり」にした場合は、料金を最大半角11桁以内で指定する)



ワンポイント

● 設定した料金を超えたときは

データポートの通信、メール受信、ダウンロードが終了した時点で、累積料金が設定した料金を超えた場合は、液晶ディスプレイに「料金オーバーです」と表示されます。料金オーバーの表示は、5秒ごとに日付・時刻表示と切り替わります。

● 料金オーバーの表示を消してインターネットへの接続を続けるには

上限料金の設定を変更するか、累計料金をクリアします。詳しくは、ご参考のQ & A「課金」(←参-16)を参照してください。

データポート設定画面

■ その他

The screenshot shows the 'データポート設定' (Data Port Settings) screen. It includes tabs for 'TEL1ポート設定', 'TEL2ポート設定', 'TEL1・2共通設定', 'データポート設定', and 'ナンバー設定'. The 'データポート設定' tab is active. The settings are organized into sections: 'ダウンロード失敗時のリトライ回数' (Download failure retry times), '強制切断タイマ' (Forced disconnection timer), '無通信監視タイマ' (Communication monitoring timer), 'NATタイマ' (NAT timer), 'LAN型接続' (LAN connection type), and 'ER信号制御' (ER signal control). Each section has specific input fields and options for configuration.

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説明	設定内容
ダウンロード失敗時のリトライ回数 (☞P4-8)	コンテンツダウンロードやホームページクリッピングのダウンロードに失敗したときに、再びダウンロードするかどうかを設定し、ダウンロードする場合は回数を指定します。	0～10 (回) (お買い求め時：0回(リトライしない))
強制切断タイマ (☞CD-ROM)	データ通信を開始してから強制的に切断するまでの時間を指定します。「0」にすると強制切断は行われません。ノーマルモード、ダイレクトモードそれぞれについて設定します。	0～10 (時間) (お買い求め時： ダイレクトモード 10時間 ノーマルモード 0 (切断しない))
無通信監視タイマ (☞CD-ROM)	データの送受信がなくなってから自動的に切断するまでの時間を指定します。ノーマルモード、ダイレクトモードそれぞれについて設定します。	1～10 (分) (お買い求め時： ダイレクトモード 10分 ノーマルモード 1分)
NATタイマ (☞P4-8、4-14)	コンテンツダウンロードやホームページクリッピングで、ファイルをダウンロードするときにインターネットと本商品がデータの受け渡しをするアドレス変換値の保存時間を設定します。	30秒、1～30分、1～10時間 (お買い求め時：10分)
LAN型接続	LANにダイヤルアップ接続する場合に設定します。設定内容は、接続するLANのネットワーク管理者にお問い合わせください。	
IPアドレス		IPアドレス (半角数字)
サブネットマスク		サブネットマスク (半角数字)
ER信号制御 (☞CD-ROM)	ER信号がないパソコン (Macintosh など) をお使いの場合は、「常時ON」を設定します。	パソコンのER信号を監視する 常時ON

i・ナンバー設定画面

詳細設定画面で「i・ナンバー設定」をクリックすると表示される画面です。
i・ナンバーをご利用になる場合に設定します。

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
i・ナンバー (P2-50)	i・ナンバーを利用するとき、「使用する」を選択します。	<u>使用しない</u> 使用する
i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報1を設定します。	
i・ナンバー電話番号	対応する電話番号を入力します。	電話番号（最大半角20桁）
i・ナンバー着信設定	着信があったとき、どのポートを呼び出すかを設定します。	TEL1 TEL2 <u>データ</u>
発信ポート番号指定	この番号で発信するとき、どのポートを使用するかを指定します。	TEL1 TEL2 <u>データ</u>
i・ナンバー情報2	i・ナンバー情報2を設定します。	
i・ナンバー電話番号	対応する電話番号を入力します。	電話番号（最大半角20桁）
i・ナンバー着信設定	着信があったとき、どのポートを呼び出すかを設定します。	TEL1 <u>TEL2</u> <u>データ</u>
発信ポート番号指定	この番号で発信するとき、どのポートを使用するかを指定します。	TEL1 <u>TEL2</u> <u>データ</u>
i・ナンバー情報3	i・ナンバー情報3を設定します。	
i・ナンバー電話番号	対応する電話番号を入力します。	電話番号（最大半角20桁）
i・ナンバー着信設定	着信があったとき、どのポートを呼び出すかを設定します。	TEL1 TEL2 データ
発信ポート番号指定	この番号で発信するとき、どのポートを使用するかを指定します。	TEL1 TEL2 データ



お知らせ

- i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、グローバル着信選択の設定は無効です。

1 ブラウザでの設定

2 詳細設定

3 メールの設定画面

4 内蔵メモリとPCカードの設定

5 メモリデバイスの設定

全体設定画面

詳細設定画面で【全体】の項目をクリックすると表示される画面です。

■ アドレス帳の設定

TEL1ポート設定
TEL2ポート設定
TEL1・2共通設定
データポート設定
1・ナンバー設定
全 修

| アドレス帳の設定 | バックライトモードの設定 | 2Dデジ設定 | 初期化 |

新規に登録

アドレス帳			
名前	電話番号	メールアドレス	
1 ヌイト音	0312345678	mei1o@tt-***.co.jp	変更 削除
2 インスちゃん	0312441111	ins@**tt.co.jp	変更 削除
3 ジーくん	0312344222	e100@t100-***.ne.jp	変更 削除
4 街角電気店	0312344444	nachi1ad@denki-**.co.jp	変更 削除
5 ズル忠	03***5678	me1@**-kun.ne.jp	変更 削除
6 なみよし君	0905973****	nakayoshi@***.ne.jp	変更 削除
7 なみ情報	045****7373	nam1@***-info.co.jp	変更 削除
8 園芸情報	03****1394	engei@info-**.co.jp	変更 削除
9 うどん屋	030123****		変更 削除
10 ○○先輩	032345****	senpai@***.co.jp	変更 削除
11 ○×部長	0903333****	buchou@***.co.jp	変更 削除
12 ○×商店	03****5555	marubatu@***-shouten.ne.jp	変更 削除
13 ○○設備工場	033125****		変更 削除
14 懸賞メール		kenshou@***.co.jp	変更 削除
15 ロボスキー場	02**135864	zekisetsu@***-skico.jp	変更 削除
16 紅葉案内	03540**540	kouyou@**-yaman.ne.jp	変更 削除
17 TV投票	031592****	touhyou@***-tv.co.jp	変更 削除
18			
19			
20			

設定項目	説 明	設定内容
アドレス帳 (P4-22)	アドレス帳に名前、電話番号、メールアドレスを登録します。最大20件まで登録できます。	名前 (最大全角5文字) 電話番号 (最大半角32桁) メールアドレス (最大半角64文字)



ワンポイント

● アドレス帳に登録すると

登録した相手から電話がかかってきたときや、履歴表示のときに、液晶ディスプレイで相手の名前を確認することができます。

■ バックライトモードの設定

TEL1ポート 設定	TEL2ポート 設定	TEL1・2共通設定	データポート 設定	IP・サブネット 設定	全 体
アドレス帳の設定 バックライトモードの設定 2Dディスプレイ 初期化					
バックライトモードの設定					
☒ 自動					
☐ 常時ON					
☐ 常時OFF					
登録					

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
バックライトモードの設定	液晶ディスプレイのバックライトの表示モードを設定します。	<u>自動</u> 常時ON 常時OFF

■ メロディ設定 (P6-50)

メールを受信したとき、予約したダウンロードが完了したとき、電話がかかってきたときなどに本商品でメロディを鳴らすことができます。

TEL1ポート設定
TEL2ポート設定
TEL1・2共通設定
データポート設定
ナンバー設定
全

アドレス帳の設定
バックライトモードの設定
メロディ設定
初期化

メール着信	☒ 鳴動しない ☐ 一曲送出 ☐ 演奏時間	3 秒 (0～60秒)
曲選択	花のワルツ	
伝言メール	☒ 鳴動しない ☐ 一曲送出 ☐ 演奏時間	3 秒 (0～60秒)
曲選択	花のワルツ	
ダウンロード完了	☒ 鳴動しない ☐ 一曲送出 ☐ 演奏時間	3 秒 (0～60秒)
曲選択	花のワルツ	
TELポート着信		
ポート1	☒ 鳴動しない ☐ 鳴動する	
曲選択	花のワルツ	
ポート2	☒ 鳴動しない ☐ 鳴動する	
曲選択	花のワルツ	

TELポート着信番号一致

着信番号1		※最大半角32桁
鳴動	☒ 鳴動しない ☐ 鳴動する	
曲選択	花のワルツ	
着信番号2		※最大半角32桁
鳴動	☒ 鳴動しない ☐ 鳴動する	
曲選択	花のワルツ	
着信番号3		※最大半角32桁
鳴動	☒ 鳴動しない ☐ 鳴動する	
曲選択	花のワルツ	
着信番号4		※最大半角32桁
鳴動	☒ 鳴動しない ☐ 鳴動する	
曲選択	花のワルツ	
着信番号5		※最大半角32桁
鳴動	☒ 鳴動しない ☐ 鳴動する	
曲選択	花のワルツ	

登録

ユーザ設定1画面

ホームページで【メール設定】をクリックすると表示される画面です。(☞P5-3)

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
メール確認	ユーザ1のメールを確認するかどうかを設定します。	実行する <u>停止する</u>
ユーザ名	ユーザ1のユーザ名を入力します。	全角5文字以内／半角10文字以内（半角カタカナは使えません）
メールアドレス	ユーザ1のメールアドレスを入力します。	半角64文字以内
アカウント	ユーザ1が使用するプロバイダのメールアドレスを入力します。	半角32文字以内
パスワード	ユーザ1が使用するプロバイダのメールアドレスを入力します。	半角32文字以内
POPサーバ	プロバイダのPOPサーバを設定します。	ドメイン名またはIPアドレス 半角32文字以内
SMTPサーバ	メール転送用にプロバイダのSMTPサーバを設定します。	ドメイン名またはIPアドレス 半角32文字以内
スプール	受信したメールを本商品の内蔵メモリに保存するかどうかを設定します。	<u>しない</u> する

(次ページへ続きます)

1
設定
ブラウザでの

2
詳細設定

3
メールの
設定画面

4
内蔵メモリとPC
カードの設定

5
メモリの設定

ユーザ設定1画面

(前ページの続きです)

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
サーバのメールを削除	メールを受信したときに、プロバイダのサーバからメールを削除するかどうかを設定します。	<u>しない</u> する
削除するタイミング	「する」を設定した場合は、いつメールを削除するかを指定します。	<u>取得時</u> 1～30（日後）
転送先アドレス	条件に一致したメールを転送する場合、転送先のメールアドレスを入力します。	半角64文字以内
メールの保存・転送	メールを保存、転送するときの条件を設定します。	
保存・転送	クリックすると、メールの保存・転送画面が表示されます。	
伝言メール	特定の相手からのメールを伝言メールとして受信するための設定を行います。	
伝言	クリックすると、伝言メール画面が表示されます。	
TELポート着信履歴の転送	本商品のおでかけボタンを押したときに、着信履歴を転送するかどうかを設定します。	<u>しない</u> する
認識発信番号	着信履歴を送信するための発信者番号を入力します。	電話番号（最大半角32桁）

■ メールの保存・転送

メール設定の【ユーザ設定1】画面で【保存・転送】をクリックすると表示される画面です。メールを保存、転送するための条件を最大10個まで設定することができます。(☞P5-15、5-22)

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説明	設定内容
条件	メールを保存、転送するための条件を設定します。条件を設定しないときは、空白のままにします。	
	from	メールの差出人の名前や名前の一部を入力します。半角32文字以内
	subject	メールの件名または件名の一部を入力します。半角32文字以内
転送	メールを転送するかどうかを設定します。	<u>転送しない</u> 転送する
本文保存	メールの本文を保存するかどうかを設定し、保存する場合は保存場所を選択します。	<u>本文保存しない</u> PCカード
	フォルダ指定	保存先のフォルダ名を入力します。半角100文字以内
添付保存	メールの添付ファイルを保存するかどうかを設定し、保存する場合は保存場所を選択します。	<u>添付保存しない</u> PCカード
	フォルダ指定	保存先のフォルダ名を入力します。半角100文字以内

ユーザ設定1画面

■ 伝言

メール設定の「ユーザ設定1」画面で「伝言」をクリックすると表示される画面です。伝言メールとして受信する相手を最大3件まで設定することができます。(☞P5-28)

設定項目		説明	設定内容
条件		伝言メールの条件を設定します。	
	from	メールの差出人の名前や名前の一部を入力します。	半角32文字以内
	subject	メールの件名または件名の一部を入力します。	半角32文字以内

ユーザ設定2画面／ ユーザ設定3画面

メール設定画面で「ユーザ設定2」をクリックするとユーザ設定2画面、「ユーザ設定3」をクリックすると「ユーザ設定3」画面が表示されます。ユーザ2、ユーザ3それぞれの画面で設定を行います。(P5-5)
例はユーザ設定2画面です。

※下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説 明	設定内容
メール確認	各ユーザのメールを確認するかどうかを設定します。	実行する <u>停止する</u>
ユーザ名	各ユーザのユーザ名を入力します。	全角5文字／半角10文字以内（半角カタカナは使えません）
アカウント	ユーザ2／ユーザ3が使用するプロバイダのメールアカウントを入力します。	半角32文字以内
パスワード	ユーザ2／ユーザ3が使用するプロバイダのメールパスワードを入力します。	半角32文字以内
POPサーバ	プロバイダのPOPサーバを設定します。	ドメイン名またはIPアドレス 半角32文字以内
スプール	受信したメールを本商品の内蔵メモリに保存するかどうかを設定します。	<u>しない</u> する
サーバのメールを削除	メールを受信したときに、プロバイダのサーバからメールを削除するかどうかを設定します。	<u>しない</u> する
削除するタイミング	「する」を設定した場合は、いつメールを削除するかを指定します。	取得時 1～30（日後）

1
設定
ブラウザでの

2
詳細設定

3
メールの
設定画面

4
内蔵メモリとPC
カードの設定

5
メモリの設定

確認周期設定画面

メール設定画面で「確認周期設定」をクリックすると表示される画面です。(←P5-7)

メール設定

ユーザ設定1

ユーザ設定2

ユーザ設定3

確認周期設定

時刻設定

☐

0

時

0

分

にメールを確認する

☐

0

時

0

分

にメールを確認する

☐

0

時

0

分

にメールを確認する

周期設定

☐

5

分

間隔でメールを確認する

☐

メール受信する時間帯を設定する

0

時

0

分から

0

時

0

分まで

登録

設定項目		説 明	設定内容
時刻設定		メールを確認する時刻を設定する場合は、[時刻設定]を選択して時刻を設定します。	5分単位で設定する 3件以内
周期設定		メールを確認する周期を指定する場合は、[周期設定]を選択して、メールをチェックする間隔を設定します。	5～120（分） （お買い求め時：設定なし）
	メール受信 する時間帯 を設定する	時間帯を設定するときは選択します。	
	時間帯	「メールを受信する時間帯を設定する」を選択した場合は、メールをチェックする時間帯を設定します。	5分単位で設定する

メモリ使用量を確認するには

ブラウザのホームページまたは液晶ディスプレイで、内蔵メモリとPCカードのメモリ使用量を確認することができます。

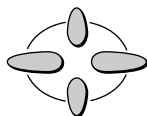
ブラウザで確認する

ブラウザのホームページで、内蔵メモリとPCカードのメモリ使用量を確認することができます。



液晶ディスプレイで確認する

- 1 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。
メニュー画面が表示されます。



1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: ダウンロード履歴

- 2 方向ボタンの上または下を押して「5: メモリ使用量」を選択し、決定ボタンを押す。

3: ダウンロード履歴
4: 料金情報
5: メモリ使用量

- 3 終了するときは、戻るボタンを押す。
メニュー画面に戻ります。

メモリ使用量	
内蔵メモリ	99%
PCカード	30%



ワンポイント

- 液晶ディスプレイのアイコンの表示で内蔵メモリの使用量を確認するには
液晶ディスプレイの上部のアイコンで、メモリの使用量の目安を確認することができます。(←P1-8)



お知らせ

- スプール機能 (←P5-11) を使用すると、内蔵メモリを使用します。
- INS-MEIT G100 のボタン操作をしないまま約60秒過ぎると、日付・時刻表示に戻ります。

1
設定
ブラウザでの

2
詳細設定

3
設定画面
メモリの

4
内蔵メモリとPC
カードの設定

5
メモリの設定

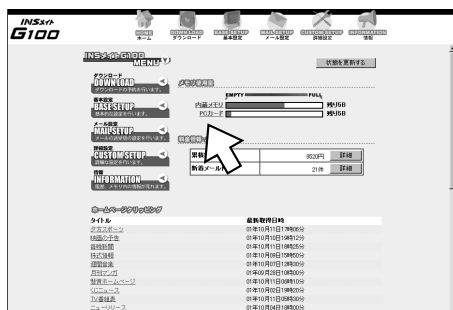
内蔵メモリとPCカードの内容を確認するには

ブラウザの画面で内蔵メモリやPCカードの内容を確認することができます。

1 ホームページで [メモリ使用量] の [内蔵メモリ] または [PCカード] をクリックする。

内蔵メモリ：内蔵メモリの内容を表示する
PCカード：PCカードの内容を表示する

ホームページの [情報] アイコンをクリックし、情報画面で [内蔵メモリ内容表示] または [PCカード内容表示] をクリックして同じ画面を表示することもできます。



2 必要に応じて、次の操作を行う。

- ① **フォルダ名やファイル名を変更する**
[名前を変更] をクリックすると、フォルダ名やファイル名を変更することができます。
- ② **フォルダの内容を表示する**
フォルダのアイコンをクリックすると、そのフォルダの内容が表示されます。
- ③ **フォルダやファイルを削除する**
[削除] をクリックすると、フォルダやファイルを削除することができます。
- ④ **状態を更新する**
[状態を更新する] をクリックすると、最新の情報が表示されます。



内蔵メモリ内容表示画面



PCカード内容表示画面

3 ホームページに戻るときは、[ホーム] アイコンをクリックする。



お知らせ

- 付属アプリケーションでダウンロードし、保存したフォルダやファイルの名前を変更すると、付属アプリケーションでそのフォルダやファイルの内容を見ることができなくなる場合があります。
- フォルダやファイルの削除に時間がかかる場合があります、この間、他の操作ができなくなる場合があります。
- フォルダ名やファイル名は全角25文字／半角50文字まで表示されます。

PCカードを初期化するには

PCカードを初期化して、データを保存できるようにします。
初期化を行うと、PCカードの全データが消去されます。

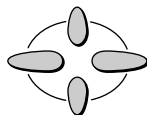
1 本商品とINSネット64回線の接続を外す。

- ブラウザや付属アプリケーションの操作を行わないでください。
- TEL1ポートおよびTEL2ポートに接続したアナログ通信機器の使用を終了してください。

2 初期化するPCカードを本商品のPCカードスロットにセットする。

3 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1:7ナロウ 着信履歴
2:X-メール新着件数
3:タ' ウンロード' 履歴

4 方向ボタンの上または下を押して「7: 保守」を選択し、決定ボタンを押す。

5:Xメモリ使用量
6:設定
7:保守

5 方向ボタンの上または下を押して「PCカードを初期化」を選択し、決定ボタンを押す。

PCカード' へ保存
PCカード' から読出
PCカード' を初期化

6 方向ボタンの上または下を押して「初期化 (データ消去)」を選択し、決定ボタンを押す。

中止するときは「戻る」を選択し、決定ボタンまたは戻るボタンを押します。

初期化が終了すると、「初期化完了」と表示されます。

戻る
初期化 (データ消去)

7 終了するときは、戻るボタンをメニュー画面に戻るまで押す。

初期化完了



お知らせ

- 何も操作しないまま約60秒過ぎると、日付・時刻表示に戻ります。
- 手順4の操作をしたときに以下のいずれかであると、「データ/TELポートが使用中か、回線が接続されています」と表示されます。手順1の内容を確認し、戻るボタンを押して手順4から操作し直してください。
 - INSネット64回線と本商品が接続されている。
 - ブラウザや付属アプリケーションの操作によりデータポートを使用している。
 - TEL1ポートおよびTEL2ポートに接続したアナログ通信機器を使用している。

内蔵メモリのデータをPCカードへ コピーするには

内蔵メモリに保存されているファイルをPCカードへコピーすることができます。PCカードへコピーしても、内蔵メモリのデータは残ります。内蔵メモリの容量は11Mバイトです。内蔵メモリには、メールとダウンロードしたファイルが保存されるので、内容を削除しないままお使いになると、すぐにメモリがいっぱいになってしまいます。定期的に内蔵メモリからPCカードへデータをコピーして、内蔵メモリからデータを削除することをお勧めします。

1
設定
ブラウザでの

2
詳細設定

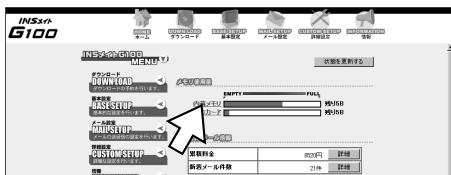
3
メールの
設定画面

4
内蔵メモリとPC
カードの設定

5
メモリーの設定

1 ホームページで「メモリ使用量」の「内蔵メモリ」をクリックする。

ホームページの「情報」アイコンをクリックし、情報画面で「内蔵メモリ内容表示」をクリックして同じ画面を表示することもできます。



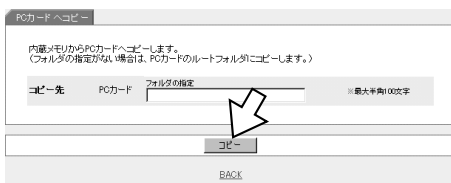
2 コピーするファイルまたはフォルダの右横の「PCカードへコピー」をクリックする。

フォルダ内のファイルを指定するときは、フォルダのアイコンをクリックしてフォルダを開きます。



3 PCカードの保存先のフォルダ名を入力し、「コピー」をクリックする。

フォルダを作成しないでそのまま保存するときは、フォルダ名に何も入力しなくてもかまいません。コピー中はCARDランプが点滅し、コピーが完了するとCARDランプが点灯します。



4 ホームページに戻るときは、「ホーム」アイコンをクリックする。



お知らせ

- データのコピーに時間がかかる場合があり、この間、他の操作ができなくなる場合があります。
- PCカードのフォルダ名において、フォルダが作成できない文字（”：”，”；”，”＊”，”＜”，”＞”，”／”および先頭または最後に、（ピリオド））は設定できません。
- PCカードのフォルダ名において、（¥）はフォルダの階層の区切りになります。
＜例＞フォルダ名にAAA¥BBBと入力すると、右図のようにフォルダが作成されます。



お願い

- PCカード内のフォルダ名＋ファイル名（拡張子含む）は最大半角255文字までです。これを超えるとコピーできません。

データをバックアップするには

内蔵メモリに保存されているメールのデータやダウンロードしたファイル、設定値のデータをPCカードにコピーしてバックアップをとることができます。
また、PCカードからバックアップデータを読み出すこともできます。

PCカードへ保存する

データやファイルの保存に時間がかかる場合があります、この間は本商品の全機能を使用できません。

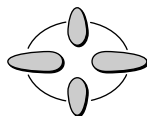
1 本商品とINSネット64回線の接続を外す。

- ブラウザや付属アプリケーションの操作を行わないでください。
- TEL1ポートおよびTEL2ポートに接続したアナログ通信機器の使用を終了してください。

2 PCカードを本商品のPCカードスロットにセットする。

3 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: ダウンロード履歴

4 方向ボタンの上または下を押して「7: 保守」を選択し、決定ボタンを押す。

5: メモリ使用量
6: 設定
7: 保守

5 方向ボタンの上または下を押して「PCカードへ保存」を選択し、決定ボタンを押す。

PCカードへ保存
PCカードから読出
PCカードを初期化

6 方向ボタンの上または下を押して保存する対象を選択し、決定ボタンを押す。

メール・ダウンロードファイル：

内蔵メモリに保存されているメールとダウンロードしたファイル
(PCカードに必要な空き容量は最大12Mバイトです。)

設定値：

本商品の現在の設定値
(PCカードに必要な空き容量は最大1Mバイトです。)

全データ：

内蔵メモリに保存されているメールとダウンロードしたファイル、本商品の現在の設定値
(PCカードに必要な空き容量は最大13Mバイトです。)

保存が完了すると「保存完了」画面が表示されます。

メール・ダウンロードファイル
設定値
全データ

保存完了

7 終了するときは、戻るボタンをメニュー画面に戻るまで押す。

戻る



お知らせ

- [設定値] の保存と [全データ] の保存を選択した場合は、「PCカードからデータを読み出す」(P6-46)に記載の内容は保存されません。
- 何も操作しないまま約60秒過ぎると、日付・時刻表示に戻ります。
- 手順4の操作をしたときに以下のいずれかであると、「データ/TELポートが使用中か、回線が接続されています」と表示されます。手順1の内容を確認し、戻るボタンを押して手順4から操作し直してください。
 - ・INSネット64回線と本商品が接続されている。
 - ・ブラウザや付属アプリケーションの操作によりデータポートを使用している。
 - ・TEL1ポートおよびTEL2ポートに接続したアナログ通信機器を使用している。

データをバックアップするには

PCカードからデータを読み出す

データやファイルの読み出しに時間がかかる場合があります、この間は本商品の全機能を使用できません。

- PCカードへ保存する(☞P6-44)で、[メール・ダウンロードファイル]を保存したPCカードで[メール・ダウンロードファイル]を読み出すことができます。
- [設定値]を保存したPCカードで[設定値]を読み出すことができます。
- [全データ]を保存したPCカードで[全データ]を読み出すことができます。

これ以外の組み合わせではデータの読み出しはできません。

また、[設定値]の読み出しと[全データ]の読み出しはリセットを行いますので、以下の内容は保存されません。

[設定値]の読み出し時に保存されない内容

- データ通信履歴
- 直前の料金情報
- 累積料金情報
- 日付、時刻
- アナログポートの着信履歴
- ホームページクリッピング履歴／予約情報／内蔵メモリに保存したコンテンツ
- コンテンツダウンロード履歴／予約情報／内蔵メモリに保存したコンテンツ
- 新着メール件数
- 伝言メール
- メール着信履歴
- 内蔵メモリに保存したメール
- メロディ音量
- おでかけボタンを押してセットした転送

[全データ]の読み出し時に保存されない内容

- データ通信履歴
- 直前の料金情報
- 累積料金情報
- 日付、時刻
- アナログポートの着信履歴
- ホームページクリッピング履歴／予約情報
- コンテンツダウンロード履歴／予約情報
- 新着メール件数
- 伝言メール
- メール着信履歴
- メロディ音量
- おでかけボタンを押してセットした転送

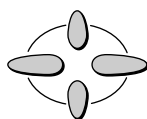
1 本商品とINSネット64回線の接続を外す。

- ブラウザや付属アプリケーションの操作を行わないでください。
- TEL1ポートおよびTEL2ポートに接続したアナログ通信機器の使用を終了してください。

2 データを保存(☞P6-44)したPCカードを本商品のPCカードスロットにセットする。

3 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アナログ 着信履歴
2: メール新着件数
3: ダウンロード履歴

- 4 方向ボタンの上または下を押して「7：保守」を選択し、決定ボタンを押す。

5：メモリ使用量
6：設定
7：保守

- 5 方向ボタンの上または下を押して「PCカードから読出」を選択し、決定ボタンを押す。

PCカードへ保存
PCカードから読出
PCカードを初期化

- 6 方向ボタンの上または下を押して読み出す対象を選択し、決定ボタンを押す。

メール・ダウンロードファイル
設定値
全データ

メール・ダウンロードファイル：

PCカードに保存されているメールとダウンロードしたファイル

設定値：

PCカードに保存されている本商品の設定値

全データ：

PCカードに保存されているメールとダウンロードしたファイル、本商品の設定値

[設定値] を選択したときは、データをPCカードから読み出したあと、自動的にリセットされます。
[全データ] を選択したときは、設定値をPCカードから読み出したあと、自動的にリセットし、続けてメール・ダウンロードファイルの読み出しを行います。

- 7 終了するときは、戻るボタンをメニュー画面に戻るまで押す。

戻る



お知らせ

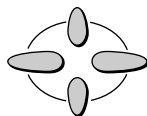
- 何も操作しないまま約60秒過ぎると、日付・時刻表示に戻ります。
- 手順4の操作をしたときに以下のいずれかであると、[データ/TELポートが使用中か、回線が接続されています]と表示されます。手順1の内容を確認し、戻るボタンを押して手順4から操作し直してください。
 - ・INSネット64回線と本商品が接続されている。
 - ・ブラウザや付属アプリケーションの操作によりデータポートを使用している。
 - ・TEL1ポートおよびTEL2ポートに接続したアナログ通信機器を使用している。

メロディ音量を設定するには

電話がかかってきたときやメール受信時などに鳴らすメロディの音量を4段階に設定することができます。

- 1** 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アラーム 着信履歴
2: メール新着件数
3: ダウンロード履歴

- 2** 方向ボタンの上または下を押して「6: 設定」を選択し、決定ボタンを押す。

4: 料金情報
5: メモリ使用量
6: 設定

- 3** 方向ボタンの上または下を押して「2: メロディ音量設定」を選択し、決定ボタンを押す。

メロディ音量設定画面が表示されます。

1: 時計設定
2: メロディ音量設定
3: メロディ再生

- 4** 方向ボタンの左または右を押してメロディ音量を設定する。



メロディ音量
小 大

方向ボタンの左または右を押すと、設定した音量でメロディが流れます。

- 5** 終了するときは、戻るボタンを押す。

メニュー画面に戻ります。

戻る



お知らせ

- 手順1～3で何も操作しないまま約60秒過ぎると、日付・時刻表示に戻ります。手順4では戻りません。
- メロディ音量の設定は、停電時動作の乾電池により、停電時でも保持されます。(P1-10)

メロディを確認するには

本商品に内蔵されているメロディを確認することができます。

- 1** 本商品の方向ボタンの上、下、左、右のいずれかを押す。

メニュー画面が表示されます。



1: アラゲ 着信履歴
2: メール新着件数
3: ダウンロード履歴

- 2** 方向ボタンの上または下を押して「6: 設定」を選択し、決定ボタンを押す。

4: 料金情報
5: メモリ使用量
6: 設定

- 3** 方向ボタンの上または下を押して「3: メロディ再生」を選択し、決定ボタンを押す。

1曲目のメロディが、現在設定されている音量で流れます。

1: 時計設定
2: メロディ音量設定
3: メロディ再生

- 4** 方向ボタンの上または下を押してメロディを選択する。

選択したメロディが流れます。

1: 花のワルツ
2: ユーモレスク
3: カノン

- 5** 終了するときは、戻るボタンを押す。

メニュー画面に戻ります。

戻る



1
設定
ブラウザでの

2
詳細設定

3
メールの
設定画面

4
内蔵メモリとPC
カードの設定

5
メロディの設定



お知らせ

- 手順1～3で何も操作しないまま約60秒過ぎると、日付・時刻表示に戻ります。手順4では戻りません。

メロディを設定するには

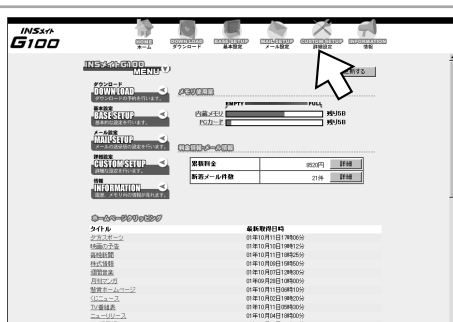
メールを受信したとき、電話がかかってきたときなどにメロディを鳴らすかどうかを設定します。メロディの曲目や演奏時間も設定できます。また、あらかじめ登録しておいた電話番号からかかってきたときにメロディを鳴らすこともできます。

メール着信、伝言メール、ダウンロード完了のメロディを設定する

通常のメールや伝言メールを受信したとき、予約したダウンロードが完了したときに、メロディを鳴らすように設定することができます。

1 ホームページの「詳細設定」アイコンをクリックする。

ホームページを表示するには (P3-2)



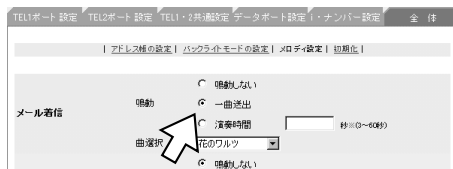
2 「メロディ設定」をクリックする。



3 メール着信のメロディの「鳴動」で、「一曲送出」または「演奏時間」をクリックする。

「一曲送出」：
一曲の最後まで演奏する

「演奏時間」：
指定した時間、メロディを演奏する



4 [演奏時間] を選択した場合は、演奏時間（3～60秒）を入力する。

5 曲を選択する。

6 同様の手順で、伝言メール、ダウンロード完了のメロディを設定する。

7 [登録] をクリックする。



お知らせ

- 一度に複数のメールを受信したときは、最後のメールを受信したときにメロディが演奏されます。

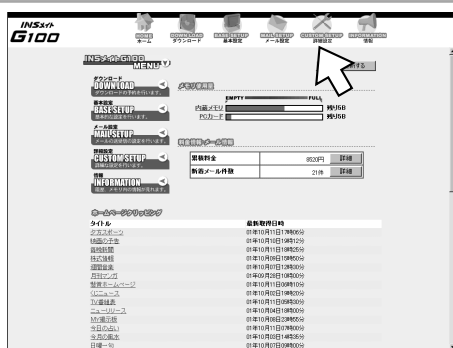
メロディを設定するには

電話がかかってきたときのメロディを設定する

アナログポートに着信があったとき、メロディを鳴らすように設定することができます。アナログポートごとに設定できます。

1 ホームページの「詳細設定」アイコンをクリックする。

ホームページを表示するには (P 3-2)

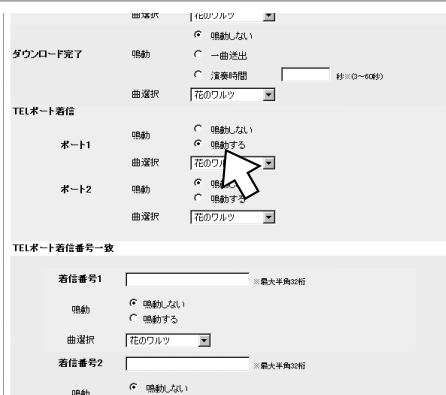


2 「メロディ設定」をクリックする。

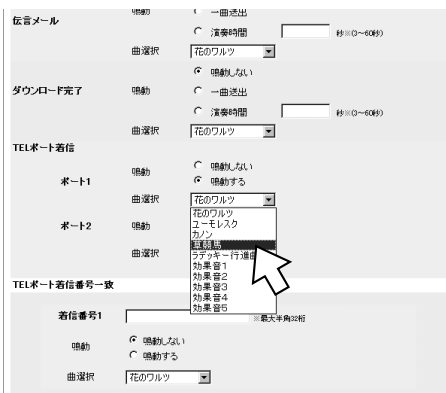


3 TELポート着信のポート1またはポート2の「鳴動する」をクリックする。

ポート1：アナログポート1の着信
ポート2：アナログポート2の着信



4 曲を選択する。



5 「登録」をクリックする。



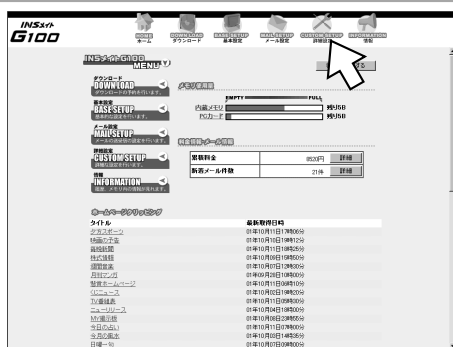
メロディを設定するには

特定の電話番号からかかってきたときのメロディを設定する

登録した電話番号からアナログポートに着信があったとき、メロディを鳴らすように設定することができます。電話番号は最大5件登録できます。
TEL1ポート、TEL2ポート共通の設定です。

1 ホームページの「詳細設定」アイコンをクリックする。

ホームページを表示するには (P3-2)



2 「メロディ設定」をクリックする。



3 [着信番号1] に相手の電話番号を入力する。

TELポート着信

ポート1 鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 基幹馬

ポート2 鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

TELポート着信番号一致

着信番号1 0312345678 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

着信番号2 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

着信番号3 最大半角20桁

4 [鳴動する] をクリックする。

TELポート着信番号一致

着信番号1 0312345678 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

着信番号2 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

着信番号3 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する

5 曲を選択する。

TELポート着信番号一致

着信番号1 0312345678 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

着信番号2 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

着信番号3 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

着信番号4 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する
曲選択 花のワルツ

着信番号5 最大半角20桁
鳴動 ☐ 鳴動しない ☒ 鳴動する

(次ページへ続きます)

メロディを設定するには

(前ページの続きです)

6 同様の手順で、着信番号2～5のメロディを設定する。

7 [登録] をクリックする。



ワンポイント

- **メロディを演奏しないようにするには**
各設定項目の「鳴動しない」をクリックします。
- **メロディを途中で止めるには**
メロディの演奏中に、本商品のいずれかの操作ボタンを押します。



お知らせ

- 停電のとき、メロディは演奏されません。
- FAX無鳴動着信を設定しているときや内線からかかってきたとき、CTI発信でアナログポートを呼び出したときは、メロディは演奏されません。
- TEL1ポート、TEL2ポートに同時に着信したときは、TEL1ポートに設定したメロディが演奏されます。

ご参考

CD-ROMの「参考情報」について ……	参-2
RS-232Cポートインタフェース ……	参-3
操作ボタンで利用できる機能 ……	参-4
エラーメッセージの意味と処置方法 ……	参-5
故障かな？と思ったら ……	参-7
Q&A ……	参-13
索引 ……	参-21
仕様 ……	参-28
保守サービスのご案内 ……	参-29

CD-ROMの「参考情報」について

以下の内容については、付属のINSメイトG100専用CD-ROMの「参考情報」(PDFファイル)をご覧ください。

■ ダイレクトモード

ダイレクトモードでインターネットに接続する場合の設定について説明しています。

■ いろいろな通信機能

本商品で利用できる通信機能について説明しています。

■ ATコマンド

ATコマンドは、米国Hayes社が開発したモデムを制御するコマンドで、多くのモデムで採用されています。本商品は、ATコマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを採用しています。

ATコマンドで設定を行う場合は、「参考情報」をご覧ください。



ワンポイント

● フリーウェアを使用するときのダイヤルアップ初期化コマンド

- 同期 64 kbit/s のアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、ATQOV1\$N9=10\$N11=O&DO。
- MP128 kbit/s のアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、ATQOV1\$N9=10\$N11=1&DO。

※0は数字です。

■ 設定記入シート

「参考情報」に、設定記入シート(PDFファイル)を収録してあります。PDFファイルをプリントアウトして設定内容を記入し、保守のための資料としてご利用ください。

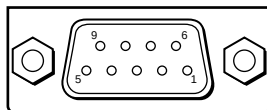
RS-232Cポートインタフェース

本商品のRS-232Cポートにパソコンなどを接続する場合は、付属品のRS-232Cケーブルを使用してください。RS-232Cポートのインタフェースは次のようになっています。

■ コネクタ形状

9ピンコネクタ（オス型）

RS-232C



■ RS-232Cポートインタフェースの信号線

ピン番号	JIS	信号方向 パソコン V300	名 称	機 能
シェル	(FG)		保安用接地	装置のフレームアースです。
1	CD	←	キャリア検出	INSメイトG100が、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON : パソコンにデータ受信を要求します OFF : パソコンにデータ送受信を要求しません
2	RD	←	受信データ	INSメイトG100からパソコンへ送られるデータです。
3	SD	→	送信データ	パソコンからINSメイトG100へ送られるデータです。
4	ER	→	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します。 ON : パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します OFF : パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します
5	SG		信号用接地	相互接続回路に基準電位を与えます。
6	DR	←	データセットレディ	INSメイトG100の動作準備ができているかどうかを示します。 ON : パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します OFF : パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します
7	RS	→	送信要求	データ送信許可を要求します。 ON : データ送信許可を要求します OFF : データ送信許可を要求しません
8	CS	←	送信可	データ送信可能かどうかを示します。 ON : データ送信が可能です OFF : データ送信できません
9	CI	←	被呼表示	着信していることをパソコンに示します。 ON : 着信があることを示します OFF : 着信がないことを示します

■ 通信仕様

同期方式	非同期
データ長	8 bit
パリティビット	なし
ストップビット	1 bit
通信速度	9.6/19.2/38.4/57.6/115.2/230.4 (kbit/s)

操作ボタンで利用できる機能

本商品の前面にある操作ボタンを使用して設定・操作できる機能を一覧で示します。

機能名	内 容	参照ページ
アナログ着信履歴	アナログポートにかかってきた相手の電話番号や名前を表示することができます。10件まで表示できます。	➡P2-6
メール着信履歴	ユーザごとに、新着メールの件数を表示することができます。1ユーザにつき99件まで表示できます。着信したメールの日付、差出人、件名を確認することができます。	➡P5-9
ダウンロード履歴	インターネットからダウンロードしたファイルの情報（ダウンロードした日時、タイトル名）を表示することができます。20件まで表示できます。	➡P4-20
料金情報	ポートごとの累積の通信料金を表示することができます。	➡P4-26
メモリ使用量	内蔵メモリ、PCカードのメモリ使用量を表示することができます。	➡P6-39
設定	設定メニューが表示されます。	
時計設定	年月日、時刻を設定することができます。	➡P1-20
メロディ音量設定	メロディ音量を設定します。また、現在設定されている音量を確認することができます。	➡P6-48
メロディ確認	メロディを再生することができます。	➡P6-49
保守	保守メニューが表示されます。	
PCカードへ保存	内蔵メモリのデータをPCカードへ保存します。	➡P6-44
PCカードから読出	PCカードのデータを内蔵メモリへ読み出します。	➡P6-46
PCカードを初期化	PCカードを初期化します。	➡P6-42

エラーメッセージの意味と処置方法

次のエラーメッセージが表示されたときは、以下の処置に従って対応してください。処置を行ってもエラーを解除できないときは、電源プラグおよび乾電池を抜いて約10秒たってから電源プラグを電源コンセントに差し込み、乾電池を入れてもう一度、この取扱説明書に従って操作してください。それでも正常に機能しないときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

エラーメッセージ	原因	処置
PPP：LCPの接続中にタイムアウトしました	設定したプロバイダとの接続エラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度操作を行うかまたはプロバイダ設定の内容を正しく入力し直してください
PPP：IPCPの接続中にタイムアウトしました	設定したプロバイダとの接続エラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度操作を行うかまたはプロバイダ設定の内容を正しく入力し直してください
PPP：相手による認証拒否されました	設定したプロバイダへの認証IDか認証パスワードが間違っているときの表示です	正しい認証IDか認証パスワードを入力し直してください
PPP：相手への認証に失敗しました	設定したプロバイダへの認証IDか認証パスワードが間違っているときの表示です	正しい認証IDか認証パスワードを入力し直してください
PPP：認証中にタイムアウトしました	設定したプロバイダへの認証IDか認証パスワードが間違っているときの表示です	正しい認証IDか認証パスワードを入力し直してください
PPP：IPCPの接続に失敗しました	設定したプロバイダとの接続エラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度操作を行うかまたはプロバイダ設定の内容を正しく入力し直してください
PPP：LCPの接続に失敗しました	設定したプロバイダとの接続エラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度操作を行うかまたはプロバイダ設定の内容を正しく入力し直してください
PPP：プロトコル拒否です	設定したプロバイダとの接続エラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度操作を行うかまたはプロバイダ設定の内容を正しく入力し直してください
PPP：強制切断タイマにより切断しました	強制切断タイマが設定されているときの表示です	設定内容を変更してください
メール確認（ユーザ1～3）：TCPのコネクション確立に失敗しました	メール受信するサーバとの接続にエラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度受信操作を行ってください。またはメール設定を正しく入力し直してください
メール確認（ユーザ1～3）：DNSによるアドレス取得に失敗しました	DNSサーバのアドレス設定に誤りがあるときの表示です	正しくアドレス設定してください
メール確認（ユーザ1～3）：サーバへのログインに失敗しました	メールアカウント、メールパスワード設定に誤りがあるときの表示です	メールアカウント、メールパスワードを正しく設定してください
メール確認（ユーザ1～3）：サーバがUIDLコマンドに対応していません	メールサーバがUIDLに対応していないときの表示です	本商品はメールサーバがUIDLに対応していないと利用できません。POP3サーバのアドレスを変更してください
メール確認（ユーザ1～3）：メールのサイズが上限を越えています	受信したメールが取得できる上限を越えていた場合の表示です	取得できるメールの大きさは1ファイル5Mバイトまでです。ダイレクトモードでメールサーバからメールを取得してください
メール確認（ユーザ1～3）：スプールファイルの書き込みに失敗しました	メールの格納ができなかったときの表示です	内蔵メモリの空き容量を確認してください。再度受信操作をしてください
メール確認（ユーザ1～3）：エラーが発生しました	メール受信エラーが発生したときの表示です	再度受信操作をしてください。またはメール設定を正しく入力し直してください
メール確認（ユーザ1）：本文ファイルの書き込みに失敗しました	メール本文のPCカードへの書き込みに失敗したときの表示です	PCカードの接続状態または空き容量を確認してください

（次ページへ続きます）

エラーメッセージの意味と処置方法

(前ページの続きです)

エラーメッセージ	原因	処置
メール確認（ユーザ1）：添付ファイルの書き込みに失敗しました	メールの添付ファイルのPCカードへの書き込みに失敗したときの表示です	PCカードの接続状態または空き容量を確認してください
メール確認（ユーザ1）：PCカードがないため書き込みに失敗しました	メールの本文または添付ファイルのPCカードへの書き込みに失敗したときの表示です	PCカードの接続状態または空き容量を確認してください
メール確認：料金が上限に達しています	設定した上限料金設定値の上限に達したときに表示します	累積料金のクリアを行うか、または上限料金の設定値を変更してください
メール確認：メール受信を中止しました	手動受信時に中断が選択されたときの表示です	再度メールを受信する場合は受信操作をしてください
メール送信（ユーザ1）：TCPの接続確立に失敗しました	メール転送エラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度メール受信操作を行ってください。またはメール設定を正しく入力し直してください
メール送信（ユーザ1）：DNSによるアドレス取得に失敗しました	DNSサーバのアドレス設定に誤りがあるときの表示です	正しくアドレス設定をしてください
メール送信（ユーザ1）：エラーが発生しました	メール転送エラーが発生したときの表示です	メール設定を正しく入力し直してください
ダウンロード：TCPの接続確立に失敗しました	取得するファイルの格納先サーバとの接続にエラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度ダウンロード操作を行ってください。またはダウンロード予約の設定を正しく入力し直してください
ダウンロード：DNSによるアドレス取得に失敗しました	回線やサーバの状態によって取得できない場合の表示です DNSサーバのアドレス設定に誤りがあるときの表示です	しばらく時間を空けてから再度ダウンロード操作を行ってください。または、正しくアドレス設定をしてください
ダウンロード：データ受信前に失敗しました	取得するファイルの格納先サーバとの接続にエラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度ダウンロード操作を行ってください。またはダウンロード予約の設定を正しく入力し直してください
ダウンロード：指定したファイルが見つかりませんでした	取得するサーバに指定のファイルが見つからなかったときの表示です	ダウンロード予約の設定を正しく入力し直してください。または、本商品で取得できないファイルがありました
ダウンロード：データ受信中にタイムアウトになりました	取得するファイルの格納先サーバからの応答にエラーが発生したときの表示です	しばらく時間を空けてから再度ダウンロード操作を行ってください。またはダウンロード予約の設定を正しく入力し直してください
ダウンロード：料金が上限に達しています	設定した上限料金設定値の上限に達したときに表示します	累積料金のクリアを行うか、または上限料金の設定値を変更してください
ダウンロード：ファイルの書き込みに失敗しました	ダウンロードしたファイルの内蔵メモリまたはPCカードへの書き込みに失敗したときの表示です	内蔵メモリまたはPCカードの空き容量を確認してください
ダウンロード：PCカードがないため書き込みに失敗しました	ダウンロードしたファイルのPCカードへの書き込みに失敗したときの表示です	PCカードの接続状態または空き容量を確認してください
ダウンロード：エラーが発生しました	ダウンロードのエラーが発生したときの表示です	再度ダウンロードをし直してください。または予約設定を正しく入力し直してください
ダウンロード：中断しました	ダウンロードの中断が選択されたときの表示です	再度ダウンロードを行う場合は予約操作をしてください

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●基本的な使い方

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	☞P1-12
	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグを正しく差し込んでください	☞P1-12
	内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☞P1-6
	外付けDSUに接続していて、内蔵DSUスイッチがONになっている	内蔵DSUスイッチをOFFにしてください	☞P1-17
停電時に動作しない	停電時動作の乾電池が消耗しているか、乾電池の向きが逆になっている	新品のアルカリ乾電池を正しい向きに入れてください	☞P1-10
ACTランプが遅い点滅をしている	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☞P1-12
	内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☞P1-6
PWR (POWER) ランプが赤く点滅している	停電動作中のため	故障ではありません 停電になっていない場合、電源プラグの接続を確認してください	—
PWR (POWER) ランプ、ACTランプが点滅している	バージョンアップ時正常に終了できなかった	再度バージョンアップ操作を行ってください	☞P6-8
本体があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—

●ダウンロード／メール

こんなとき	原因	確認してください	
- コンテンツダウンロードやホームページクリッピングができない - メールの到着を自動的に確認することができない - メールを転送できない - アナログポートの着信履歴を送信できない	プロバイダ情報の設定が誤っている	正しく設定してください	☞P3-8
	メール機能のユーザ情報の設定が誤っている	正しく設定してください	☞P5-2
	各動作を開始するときに、アナログポートに接続したアナログ通信機器、データポートに接続したパソコンやS/T端子に接続したINSネット64用通信機器によりBチャンネル2本を使用中であった	各動作を開始するときに、Bチャンネル2本をすでに使用している場合は各動作を実行できません エラー履歴が残りますので、ブラウザ画面のエラー履歴を確認してください	☞P6-7
	累積料金が「上限料金設定」で設定した料金を超えている	累積料金をクリアする方法と上限料金を変更する方法があります	☞P参-16

(次ページへ続きます)

故障かな？と思ったら

●アナログ通信機器／INSネット64機器

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	アナログ通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☞P1-14
	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかり接続されていない	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	☞P1-12
	停電中のため	故障ではありません 停電時動作用の新品のアルカリ電池を入れてください	☞P1-10
	発信規制の設定が「0発信規制」または「外線発信規制」に設定されている	発信規制の設定を「規制しない」に設定してください	☞P2-3、 2-88、6-14
	128KマルチリンクPPP（☞CD-ROM）でデータ通信中で、かつリソースBOD（☞CD-ROM）を「使用する」に設定している	データ通信を中断してください またはリソースBODを「使用する」に設定してください	☞CD-ROM
アナログ通信機器の着信ができない	なりわけ動作設定が「セキュリティ（着信拒否）」に設定されている	なりわけ動作設定を「識別リング」に設定してください	☞P2-20、 2-84、6-16
	サブアドレスなし着信選択の設定が「着信しない」に設定されている	サブアドレスなし着信選択の設定を「着信する」に設定してください	☞P2-64、 2-84、6-12
	着信拒否の設定が「する」に設定されている	着信拒否の設定を「しない」に設定してください	☞P2-5、 2-86、6-14
	グローバル着信選択の設定が「着信しない」になっている	グローバル着信選択の設定を「着信する」に設定してください	☞P2-58、 2-84、6-12
	おでかけボタンを押して着信転送／疑似着信転送を開始している	おでかけボタンを押して、着信転送／疑似着信転送を停止してください または、着信転送を「使用しない」に設定してください	☞P2-68
INSネット64用機器の発信、着信ができない	S/T端子にINSネット64用機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☞P1-18
	終端抵抗が正しく設定されていない	終端抵抗を正しく設定してください	☞P1-18、1-19
アナログ通信機器のハンドセットを取りあげると、特定の番号に発信してしまう	ホットラインの設定が「する」に設定されている	ホットラインの設定を「しない」に設定してください	☞P2-32、 2-88、6-14

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログポートに接続したファクスの着信応答ができない	ファクスを接続したアナログポートの接続機器の設定が「ファクス」で、発信側が携帯電話機、PHS対応電話機、INSネット64用通信機器などから発信した	携帯電話機、PHS対応電話機、INSネット64用通信機器などからの着信は、接続機器の設定を「電話機2」と認識するため、着信しません ファクスを接続したアナログポートの接続機器の設定を「ファクス付き電話機・モデム」に設定してください	☞P2-65、 2-84、6-14
	FAX自動転送（☞P2-38）の設定が「する」に設定されていてファクスがTEL1ポートに接続されている	ファクスをTEL2ポートに接続してください	
着信時に内線着信音が鳴り、応答するとモデム音が聞こえる	ナンバー・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、ナンバー・ディスプレイ発信電話番号通知が「する」に設定されている	ナンバー・ディスプレイ発信電話番号通知を「しない」に設定してください またはナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	☞P2-43、 2-86、6-15
	モデムダイヤルイン未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、モデムダイヤルイン着信電話番号通知が「する」に設定されている	モデムダイヤルイン着信電話番号通知を「しない」に設定してください またはモデムダイヤルインに対応したアナログ通信機器を接続してください	
通話中に着信があるとモデム音が聞こえる	キャッチホン・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、キャッチホン・ディスプレイ発信電話番号通知が「する」に設定されている	キャッチホン・ディスプレイ発信電話番号通知を「しない」に設定してください またはキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	☞P2-46、 2-88、6-15
通話後、ハンドセットを置くと着信音が鳴ったり、発信しようとしてハンドセットを取りあげると「ブップブッ…」という発信音が聞こえる	ハンドセットを置いてから取りあげまでの間隔が短いため、内線機能がはたらいっている	少し間を置いてからハンドセットを取りあげてください	—
		フッキング検出タイマの設定を「長い」に設定してください 内線機能の設定を「使用しない」に設定してください	☞P2-9、 2-80、6-21 ☞P2-9、 2-80、6-21
TEL1ポートにファクスを接続しているが、ファクス受信時1～2秒で切断されてしまう	FAX自動転送機能がはたらき、TEL2ポートへ転送されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☞P2-80、 6-21

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器で相手の方の声や自分の声が大きく聞こえる	アナログ通信機器によっては受話音量が大きくなる場合がある	アナログ通信機器のPADを設定してください アナログ通信機器のPAD設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください	—
		アナログ通信機器のPAD設定がない場合は、本商品の受話音量調整を「小」に設定してください	☞P2-86、6-17
アナログ通信機器で通話中に雑音が入る	本商品のFG端子がアースに接続されていない	本商品のFG端子にアースを接続してください アナログ通信機器にFG端子がある場合はFG端子をアースに接続してください	☞P1-12
	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などを本商品に近づけて使用している	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などを本商品から離してください	—
アナログポートに接続した料金表示機能付き電話機の料金表示と本商品の通信料金表示が一致しない	電話番号案内（104）や携帯電話機、PHS対応電話機に電話をした場合は正しく課金されない	故障ではありません	—
INSキャッチホンが利用できない	接続機器の設定が「ファクス」に設定されている	接続機器を「ファクス」以外に設定してください	☞P2-19、2-84、6-14
	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☞P2-19、2-80、6-21
疑似キャッチホンが利用できない	接続機器の設定が「ファクス」に設定されている	接続機器を「ファクス」以外に設定してください	☞P2-19、2-84、6-14
	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☞P2-19、2-80、6-21
ナンバー・ディスプレイが利用できない	INSナンバー・ディスプレイを契約していない	INSナンバー・ディスプレイを契約してください	☞P2-43
	ナンバー・ディスプレイ発信電話番号通知の設定が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信電話番号通知の設定を「する」に設定してください	☞P2-43、2-86、6-15
	ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☞P2-43

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
キャッチホン・ディスプレイが利用できない	ナンバー・ディスプレイ発信電話番号通知の設定が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信電話番号通知の設定を「する」に設定してください	☞P2-46、 2-86、6-15
	キャッチホン・ディスプレイ発信電話番号通知の設定が「しない」になっている	キャッチホン・ディスプレイ発信電話番号通知の設定を「する」に設定してください	☞P2-46、 2-88、6-15
	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☞P2-46
INSボイスワープ／INSボイスワープセレクトが利用できない	発信者番号が登録されていない	TEL1ポートまたはTEL2ポート設定画面の発信者番号欄にINSボイスワープ／INSボイスワープセレクトを行う電話番号を登録してください	☞P2-73
INSメッセージ到着お知らせサービスが利用できない	MSGランプ設定またはメッセージあり情報通知の設定が「しない」になっている	MSGランプ設定またはメッセージあり情報通知の設定を「する」にしてください	☞P2-36、 2-82、2-86、 6-15、6-22
	INSメッセージ到着お知らせサービス対応のアナログ通信機器が接続されていない	INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器を接続してください	☞P2-36

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

●パソコン接続

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
インターネットに接続できない	RS-232Cポートをご利用のとき本商品とパソコンの端末速度が合っていない	パソコンの通信速度設定を確認してください	—
	MacintoshでRS-232Cポートをご利用のとき、ER信号制御の設定を「常時ON」に設定していない	ER信号制御の設定を「常時ON」に設定してください	☞CD-ROM
	USBポートをご利用のときUSBドライバをインストールしていない	USBドライバをインストールしてください	☞「パソコン準備ガイド」
	本商品とパソコンが接続されていない	本商品とパソコンの接続を確認してください	—
	インターネット接続時に、接続の設定が正しく設定されていない	「インターネットにうまく接続できないときのチェックポイント」を参照してください	☞「パソコン準備ガイド」
パソコン内蔵のモデムが使えない	パソコンの回線接続端子に電話回線を接続していない	パソコンの回線接続端子と本商品のTEL1ポートまたはTEL2ポートを接続してください	—
USBポートが使用できない	USBドライバをインストールしていない	USBドライバをインストールしてください	☞「パソコン準備ガイド」
	OSのバージョンがUSBに対応していない	使用しているパソコンのOSのバージョンを確認してください	☞「パソコン準備ガイド」
	COMポートが開いていない	COMポートが開いているか確認してください	☞「パソコン準備ガイド」
	USBケーブルが正しく接続されていない	USBケーブルの接続を確認してください	☞「パソコン準備ガイド」
USBドライバをインストールしたが動作しない (Windows® Me／98 Second Edition／98の「デバイスマネージャ」画面のUSBドライバに「！」が付いている)	USBドライバが正しく設定されていない	USBドライバを正しく設定してください	☞「パソコン準備ガイド」
パソコンからノーマルモードで本商品に接続できない	モデム定義ファイルが「INSマイト G100 MP」(Windows)／「INSMATE G100 MP」(MacOS)に選択されている	モデム定義ファイルを「INSマイト G100 SYNC」(Windows)／「INSMATE G100 SYNC」(MacOS)に選択してください	☞「パソコン準備ガイド」

●OS関連

Q.添付されているCD-ROM内のモデム定義ファイル、CCLファイルが対応しているOSの種類は？

A.Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 95、Windows® 2000、Windows NT® 4.0、Mac OS (7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1)に対応しています。

Q.添付されているCD-ROM内のモデム定義ファイル、CCLファイルは英語版OS (Windows®、Mac OS) に対応していますか？

A.英語版OS (Windows®、Mac OS) には対応していません。

Q.USBポートでデータ通信をしたいのですが？

A.Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Mac OS 8.6、Mac OS 9またはMac OS 9.1がインストールされていることが必要です。

●設置／接続

Q.内蔵のDSUを使用しないようにできますか？

A.できます。

Q.極性反転スイッチはついていますか？

A.本商品はINSネット回線の極性が反転していても自動認識して正常動作を行います。お客様が極性を意識する必要はありません。

Q.リセットスイッチ、電源スイッチはありますか？

A.ありません。本商品をリセットする場合は電源プラグをコンセントから抜いて（乾電池を入れている場合は電池も一度取り外して）、再度差し込んでください（再度乾電池を取り付けてください）。なお、本商品のすべての設定内容をお買い求め時の設定に戻すには、パソコンのターミナルソフトからATコマンドでATZ98と入力してください。または、電話機からリセット処理（機能番号：999 ←P2-82）を行ってください。

Q.乾電池は必ず入れないといけないのでしょうか？

A.乾電池を入れていなくても通電状態の時は問題ありません。乾電池を入れていると不意の停電の際でも、TEL1ポートが使用できます。なお、乾電池はお客様でご準備願います。

Q.乾電池には何を使ってもいいのですか？

A.公称電圧1.5 Vのアルカリ単3乾電池に限ります。電圧の低い1.2 Vのニカド電池や、長時間の使用に耐えないマンガン電池は使用しないでください。また、定期的に乾電池を交換してください。

Q.停電時に使用できる機能は何ですか？

A.TEL1ポートに接続した電話機で電話をかけたり、受けたりすることができます。

(前ページの続きです)

Q.停電になって乾電池駆動に切り替わった後、何時間の動作ができますか？

A.アナログ通信機器の場合、新品の乾電池で待ち受け時間約2時間、またはTEL1ポートの通話で通話時間約1時間の動作ができます。

Q.S/T端子に他のDSU内蔵INSネット64用通信機器を接続することができますか？

A.DSUを未使用にできるタイプ（当社製：INSメイトV70 MAX、本商品など）が接続できます。DSUを未使用にできないタイプの場合は、そのINSネット64用通信機器にS/T端子があれば、本商品のDSUを未使用にすることにより接続することができます。

Q.S/T端子に他のINSネット64用通信機器を何台接続することができますか？

A.INSネット64用通信機器は、最大7台まで接続して使用できます。接続のしかたによって本商品の設定スイッチの「終端抵抗」の設定が異なります。INSネット64用通信機器を1台接続する場合、接続ケーブルが10 m以下であれば、設定スイッチの「終端抵抗」が「ON」の状態で使用できます。

INSネット64用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10 m以上の場合、および2～7台接続する場合は、設定スイッチの「終端抵抗」を「OFF」に設定してください。また本商品から見てINSネット64用通信機器接続ジャックに接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗付きモジュラジャックをご使用ください。（←P1-19）

Q.電話機を本体から離れた場所に設置する場合、アナログポートからの配線は何mまで可能でしょうか？

A.使用する電話機により異なりますが、配線するケーブルが0.5 φの場合で約200 mを目安としてください。

Q.アナログポートから屋外に配線することはできますか？

A.できません。雷などによる故障の原因になりますので屋外配線は行わないでください。

Q.アナログポートはすべてのアナログ通信機器で使用できますか？

A.一般のアナログ回線（電話回線）との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もありますのでご注意願います。

Q.購入時にRS-232CケーブルやUSBケーブルは添付されていますか？

A.パソコン接続のためのケーブル類としてRS-232Cケーブル、USBケーブルがそれぞれ1本（1個）添付されています。

Q.USBポートしかないMacintosh（iMac、PowerMac、iBook、PowerBookなど）が接続できますか？

A.できます。

●ランプ表示

Q.ACTランプが遅い点滅をしています。何が原因でしょうか？

A. 回線に異常があります。本商品は電源プラグを電源コンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。自己診断中はPWR、ACTランプが点灯します。自己診断が終了するとACTランプが消灯します。自己診断が終了したあともACTランプが遅い点滅のままのときは、INSネット64回線が接続されているか確認してください。それでもACTランプが遅い点滅をする場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

Q.PWRランプが赤く点滅しています。何が原因でしょうか？

A. 乾電池で動作中です。パソコンの背面のコンセントなどから本商品の電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、電池動作モードに切り替わる場合があります。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。

Q.パソコン、電話機を使用していない状態で、本体のACTランプが点灯と点滅の繰り返しとなっています。なぜでしょうか？

A. フレックスホンサービスの着信転送または疑似着信転送を起動中です。着信転送を起動しない場合は解除してください。

●本商品の機能

Q.液晶ディスプレイのバックライトが点灯するのは、どのようなときですか。

A. バックライトモードの設定が「自動」のとき（お買い求め時の設定）、次のような場合にバックライトが点灯します。

- ・アナログ通信機器をオフフックしたとき（電話機等のハンドセットを取りあげたときなど）
- ・アナログポートで発信、または着信したとき
- ・データ発信、または着信したとき
- ・内線着信、または内線転送をしたとき
- ・操作ボタンを押したとき
- ・伝言メール受信したとき

点灯後は、20秒後に消灯します。

Q.本商品の日時が初期値に戻ってしまいました。

A. 乾電池が入っていない状態で本商品の電源を切ると、日時の設定は初期値に戻ります。再度設定し直してください。

●課金

Q.接続料金が上限料金で設定した金額を超えてしまいました。接続を続けたいのですが、どうすればよいのでしょうか。

A.一時的に累積料金をクリアする方法と、上限料金の設定を変更する方法があります。

■累積料金をクリアする方法

- ・本商品の方向ボタンを押し、液晶ディスプレイ上の「料金情報」にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。

「累積料金クリア」にカーソルを合わせて決定ボタンを押し、[料金情報を消去]にカーソルを合わせて決定ボタンを押してください。これにより、上限料金の設定値は変わりませんが、カウントが「0」になるため、再び設定値の金額まで接続を続けることができます。

- ・ブラウザのホームページで、[累積料金]の[詳細]をクリックし、[累積料金]画面で[クリア]をクリックしてください。これにより、上限料金の設定値は変わりませんが、カウントが「0」になるため、再び設定値の金額まで接続を続けることができます。

■上限料金を変更する方法

上限料金を増やすことができるほか、上限料金を指定しないで制限されなくなるよう設定できます。料金を気にされない方は、[指定なし]にしてください。

ブラウザのホームページで、[詳細設定]－[上限料金設定]画面で、上限料金の設定値を入力してください。

この設定は「登録」をクリックすることにより有効になります。

Q.上限料金を設定していましたが、設定値を超えた請求がありました。

A.上限料金の設定は、コンテンツダウンロード、メール自動受信などの、本商品が自動で行う機能についてのみ有効です。

インターネットへの接続、手動メール受信など、手動で動作する機能および、ダイレクトモードでのインターネットへの接続は、上限料金での制限は行われません。また、乾電池が入っていない状態で本商品の電源を切ると、課金情報は消えてしまいます。電源を入れてから再度カウントを始めるため、上限料金に達しないことがありますので、ご了承ください。

Q.パソコンの電源を入れたら、インターネットプロバイダへ接続してしまうのですが。

A.ブラウザやメールが自動起動するようになっていませんか。

ブラウザの初期表示ページが外部ネットワークの場合、インターネットプロバイダへ接続してしまいます。

また、メールサーバが外部ネットワークの場合、同様にインターネットプロバイダへ接続してしまいます。

●設定その他

Q.インターネットを切断しても回線が切れません。

A.無通信監視タイマの設定を短くしてみてください。

Q.ノーマルモードでブラウザのホームページは開けるのに、インターネットに接続できません。

A.ダイヤルアップネットワークのネームサーバアドレスに、インターネットプロバイダから通知されたDNSサーバのIPアドレスを設定してください。

●アナログポート

Q.着信時にアナログポートに接続した電話機のベルが最初の5回ほどは短いサイクルで鳴り、その後普通の呼び出し音に変わります。何か設定が必要でしょうか？

A.アナログポートにナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない状態で、「ナンバー・ディスプレイ発信電話番号通知」の設定が「する」になっています。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない場合は、「ナンバー・ディスプレイ発信電話番号通知」の設定を「しない」にしてください。

詳しくは、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

Q.相手側が先に終話した場合、切断信号（新たな切断信号）は出力されますか？

A.出力されません。

Q.アナログポートに接続した電話機から発信しようとして、ダイヤルボタンを押しても「ツー」という発信音が止まらずに発信できません。着信はできますがなぜでしょうか？

A.お使いの電話機は、ダイヤル式（DP）ではありませんか。本商品では、ダイヤル式（DP）のアナログ通信機器は使用できません。プッシュ式（PB）のアナログ通信機器を接続してください。

Q.1つのアナログポートに複数の電話機をブランチ接続することができますか？

A.1つのアナログポートには1台のアナログ通信機器を接続してください。

Q.アナログポートに接続した電話機からアナログポートの設定ができますか？

A.TEL1、TEL2どちらのポートからでも設定できます。ただし同時にはできません。

Q.インターネットに接続するのに「ISDNの場合はターミナルアダプタのアナログポートにモデムを接続してください」といわれましたがどうすればよいのですか？

A.パソコンにモデムが内蔵されている場合は、本商品のアナログポートとパソコン内蔵モデムの回線ジャックの間をパソコンに添付の電話機コードや市販の電話機コードで接続してください。

●データポート

Q.無通信監視機能とは？

A.データポート通信中に通信相手とデータのやりとりがないとき（無通信状態）に通信を切断する機能です。監視時間を分単位で設定（0～10分：0は監視しない／初期値ノーマルモード：1分、ダイレクトモード：10分）することができます。ただし、インターネットサービスプロバイダによっては監視パケットなどを定期的に発信する場合があります、この場合は切断されないで必ずパソコンから切断操作を行うか、強制切断タイマとの併用でご利用ください。

(前ページの続きです)

Q.強制切断タイマとは？

A.データポート通信中に通信時間が設定した時間を超えたとき、強制的に通信を切断させることができます。無通信監視機能と異なり、インターネットサービスプロバイダから監視バケットが送出されても、強制的に通信を切断します。強制切断タイマは時間単位で設定（0～10時間：0は切断しない／初期値ノーマルモード：切断しない、ダイレクトモード：10時間）することができます。ダイレクトモードでダイヤルアップ接続する場合は、うっかりした切断忘れ防止のためにも、設定しておくことをお勧めします。

Q.本商品を2台対向でパソコン通信を行おうとしていますが、うまく接続できません。なにが原因でしょうか？

A.パソコン通信ソフトは非同期専用ではありませんか。本商品は非同期／同期PPP変換、128KマルチリンクPPP（発信のみ）での通信が可能です。非同期用のパソコン通信ソフトでは接続できません。

Q.データポートに接続したパソコンからFAXモデムを使用してファクス送受信することができますか？

A.できません。パソコンからFAXモデムを使用してファクス送受信する場合はアナログポートに接続してご利用ください。

Q.PIAFSでの発着信ができますか？

A.PIAFSには対応していません。当社の商品ではINSメイトV70 MAXが対応しています。

Q.128KマルチリンクPPPでプロバイダに接続できません。非同期／同期PPP変換（64 kbit/s）では接続できます。なぜでしょうか？

A.以下の点をご確認ください。

- ①加入されているプロバイダは128KマルチリンクPPPに対応していますか？また128KマルチリンクPPP対応のアクセスポイントの電話番号に接続されていますか。
- ②モデム定義ファイルは「INSメイトG100 MP」を選択されていますか。
- ③本商品とパソコン間の通信速度は230.4 kbit/sで使用することをおすすめします。Windows対応機種で使用する場合、お使いになるパソコンが230.4 kbit/sに対応していないときは、230.4 kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cボードを別途ご用意ください。Macintoshで使用する場合、230.4 kbit/s対応の機種をお使いください。115.2 kbit/sで使用する場合は、十分な通信速度が出ない場合があります。
- ④リソースBODを使用しない状態でアナログポートを使用していませんか。

Q.128KマルチリンクPPP接続時は料金が高くなりますか？

A.非同期／同期PPP変換の倍の料金が必要です。ただしINSテレホーダイご利用の場合は、INSテレホーダイによる料金となります。

Q.リソースBODの設定をして128KマルチリンクPPP接続を利用しています。アナログポートから発信する時は正常に発信できますが（Bチャネル1本削除）、着信時は話中となります。なぜでしょうか？

A.当社との契約で通信中着信通知サービスが必要です（月額料金：無料）。着信時すでにBチャネルの空きがない（インターネット接続でBチャネル2本使用中）状態でもDチャネルを通じて、着信があったことを通知します。

Q.スルーブットBODを利用して時間帯によりBチャンネル接続数を自動変更することはできますか？

A.時間帯による自動変更はできません。データ量による自動変更のみ可能です。

Q.Windows®パソコンの「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「モデムのプロパティ」→「詳細情報」を参照すると「ATi5～AT+FCLASS=?」が「ERROR」表示となりますが正常でしょうか？

A.正常です。本商品は「ATi5～AT+FCLASS=?」はサポートしておりませんので「ERROR」をパソコンに返します。

Q.データポートのコールバック機能はありますか？

A.ありません。

Q.非同期／同期PPP変換で接続したとき、どこで確認できますか？

A.ACTランプが緑色に点灯することで確認できます。

Q.128KマルチリンクPPPは利用しないように設定できますか？

A.モデム定義ファイルとして「INSメイトG100 SYNC」を選択すれば、128KマルチリンクPPP接続はできなくなります。

Q.RS-232Cの信号線のER信号を「常時ON」にすることはできますか？

A.できます。ブラウザのデータポート設定画面「ER信号制御」で「常時ON」としてください。また、ATコマンドのAT&D0でも可能です。

Q.INSなりわけサービスの機能がわからないのですが？

A.アナログポートへの着信時、登録されている電話番号から着信があった場合に通常とは異なる着信音を鳴らしたり、登録されている電話番号以外から着信があった場合は着信を拒否することができる機能です。INSなりわけサービスは当社との契約（有料）が必要です。また疑似なりわけ機能を利用して一般の電話回線からの電話を識別するには当社とのINSナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

Q.ATコマンドで発信する場合、アドレスとサブアドレスの区切り子は何でしょうか？

A.区切り子は／です。（例）ATD*****/*

Q.フリーウェア利用時のダイヤルアップ初期化コマンドを教えてください。

A.非同期／同期PPP変換（同期：64 kbit/s）ATQ0V1\$N9=10\$N11=0&D0
128KマルチリンクPPP（同期：128 kbit/s）ATQ0V1\$N9=10\$N11=1&D0
※0は数字です。

●S/T端子

Q.S/T端子とデータポートの同時利用はできますか？

A.それぞれBチャンネル1本の利用であれば可能です。

Q.S/T端子に接続した機器をダイヤルイン番号で呼ぶことはできますか？

A.できます。ダイヤルイン番号の設定はS/T端子に接続した機器に設定してください。

（次ページへ続きます）

(前ページの続きです)

Q.S/T端子に接続したINSネット64用通信機器でリソースBODが使えますか？

A.使えません。リソースBODは本商品のアナログポートの発着信時に使用できます。

Q.データポートに接続したパソコンとS/T端子に接続したターミナルアダプタに接続されているパソコンで同時にインターネット接続ができますか？

A.できます。ただしINSネットのBチャンネルが2本とも空きの場合です。

●バージョンアップ／モデム定義ファイル／CCLファイル

Q.ファームウェアバージョンを確認するにはどうすればよいですか？

A.ブラウザのホームページの【情報】アイコンをクリックし、【情報】タブをクリックして確認することができます。

Q.ファームウェアバージョンアップを行う際、設定内容はクリアされますか？

A.バージョンアップを実行しても、バージョンアップ前の設定は保存されます。ただし、以下の内容は保存されません。

- データ通信履歴
- 直前の料金情報
- 累積料金情報
- 日付、時刻
- アナログポートの着信履歴
- ホームページクリッピング履歴／予約情報／内蔵メモリに保存したコンテンツ
- コンテンツダウンロード履歴／予約情報／内蔵メモリに保存したコンテンツ
- 新着メール件数
- 伝言メール
- メール着信履歴
- 内蔵メモリに保存したメール
- メロディ音量
- おかけボタンを押してセットした転送

Q.INSタイムプラスを利用していますが、累積料金を確認すると3分10円で累積されていますがなぜでしょうか？

A.本商品の「料金情報」表示の内容は通信切断時の交換機からの料金情報をもとにしています。現在INSタイムプラスを考慮した料金情報が交換機から送出されないためこのようになっております。もちろん料金ご請求の際にはINSタイムプラスの料金を反映した料金となっておりますのでご安心ください。

Q.他のINSメイトシリーズの設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルでも利用可能ですか？

A.利用できません。付属アプリケーション、モデム定義ファイル、CCLファイルは機器に添付されている物をご利用ください。

Q.アップルリモートアクセス（ARA）用の非同期CCLファイルは準備されていますか？

A.本商品は非同期通信に対応しておりませんので準備されておりません。

【アルファベット】

ACTランプ 1-3
 ATコマンド 参-2
 BOD機能.....6-25
 CARDランプ.....1-3
 CCLファイル 参-20
 CONTENTSランプ.....1-3
 CTI機能.....6-26
 ER信号制御.....6-28
 FAX自動転送 2-38
 FAX無鳴動着信 2-40
 FG端子 1-5
 i・ナンバー.....2-48、2-50
 i・ナンバー設定画面.....6-29
 設定する 2-50
 モデムダイヤルイン 2-60
 INSキャッチホン.....2-15
 設定する 2-15
 優先着信ポート指定と
 組み合わせる使う 2-14
 INSなりわけサービス.....2-20
 キャッチホンと組み合わせる
 利用する 2-23
 INSナンバー・ディスプレイ.....2-43
 キャッチホンと組み合わせる
 利用する 2-46
 設定する 2-43
 INSナンバー・リクエスト.....2-45
 INSネット64のサービス.....19
 i・ナンバー.....2-48
 INSキャッチホン.....2-15
 INSなりわけサービス.....2-20
 INSナンバー・ディスプレイ.....2-43
 INSナンバー・リクエスト.....2-45
 INSボイスワープ.....2-73

INSボイスワープセレクト.....2-73
 INSマジックボックス.....2-75
 三者通話 2-24
 着信転送 2-68
 通信中転送 2-29
 発信者番号通知 2-41
 フレックスホン 20
 フレッツ・ISDN 21
 INSボイスワープ 2-66、2-73
 設定する 2-74
 着信転送元の電話番号を
 表示する 2-44
 無応答時転送 2-67
 無条件転送 2-66
 話中時転送 2-67
 INSボイスワープセレクト.....2-73
 設定する 2-74
 着信転送元の電話番号を
 表示する 2-44
 INSマジックボックス 2-67、2-75
 メッセージ録音 2-75
 INSメッセージ到着お知らせサービス...2-36
 LAN型接続.....6-28
 Lモード 2-34
 MAILランプ.....1-3
 MSGランプ.....1-3
 メッセージが届いたときに
 点灯させる 2-34、2-36
 NATタイマ.....6-28
 OS.....参-13
 PCカード 1-21
 初期化する 6-42
 データをバックアップする 6-44
 内蔵メモリのデータをコピーする...6-43
 内容を確認する 6-40

索引

メール本文や添付ファイルを 保存する	5-15
メモリ使用量を確認する	6-39
PCカードスロット	1-3、1-21
POPサーバ	5-4
スプール機能を利用するとき	5-13
PWRランプ	1-3
RS-232Cケーブル	1-2
RS-232Cポート	1-5
RS-232Cポートインタフェース	参-3
SD/RDランプ	1-3
SMTPサーバ	5-4
S/T端子	1-5、参-19
TEL1・TEL2ポート共通設定画面	6-19
TEL1ポート	1-5
TEL1ポート設定画面	6-12
TEL2ポート	1-5
TEL2ポート設定画面	6-12
USBケーブル	1-2
USBポート	1-5

【ア行】

アカウント	5-4
アドレス帳	2-5
利用する	4-22
アナログ着信履歴	2-6
アナログポート	1-5、参-17
アナログポート共通の機能	2-78
アナログポート個別の機能	2-84
着信履歴をメールで送信する	5-25
インターネット	4-2
液晶ディスプレイ	1-3、1-7
表示されるアイコンと意味	1-8
表示例	1-7
エラーメッセージ	参-5

エラー履歴	6-7
おでかけボタン	1-3
着信履歴の送信をセット／ 解除する	5-27
電話の着信転送を セットする	2-69、2-70
メールの転送をセット／ 解除する	5-24

音量

受話音量を調節する	2-3
メロディ音量を設定する	6-48

【カ行】

回線接続端子	1-5
課金	参-16
確認周期設定画面	6-38
カレンダー設定	3-7
乾電池	1-10
疑似キャッチホン	2-16
設定する	2-17
疑似三者通話	2-25
疑似着信転送	2-68
設定する	2-69
停止／再開する	2-72
疑似なりわけ	2-21
キャッチホンと組み合わせて 利用する	2-23
キャッチホン	2-15
INSキャッチホン	2-15
INSナンバー・ディスプレイと 組み合わせて利用する	2-46
お話し中にかかってきた 電話に出る	2-18
疑似キャッチホン	2-16
すべての電話をキャッチする	2-75

特定の相手からのみ可能にする	2-19
なりわけと組み合わせる	
利用する	2-23
優先着信ポートを	
指定しているとき	2-14
両方のアナログポートに	
電話機を接続しているとき	2-19
キャッチホン・ディスプレイ	2-46
強制切断	
強制切断タイマ	6-28、参-18
切替モード	2-24
グローバル着信	2-58
決定ボタン	1-3
故障かな？と思ったら	参-7
コピー	
内蔵メモリのデータをPCカードへ	
コピーする	6-43
コンテンツダウンロード	4-4
ダウンロードした内容を	
確認する	4-19
予約状況を確認する	4-8
予約する	4-5
【サ行】	
サービス	
INSネット64のサービス	19
サービスガイド	17
サブアドレス	2-49、2-64
サブアドレスを指定して	
電話をかける	2-3
特定の電話機を呼び出す	2-64
発信者のサブアドレスも	
表示させる	2-44
参考情報	参-2
三者通話	2-24

3人で同時に話す	2-27
相手を切り替えて話す	2-26
疑似三者通話	2-25
フレックスホン三者通話	2-24
モードを変える	2-28
識別リングング	2-22、2-23
自己診断	1-13
シャープ（#）ボタン	
シャープ（#）ボタンをダイヤルとして	
使用する	2-3
終端抵抗	1-17
終端抵抗スイッチ	1-19
受信	
着信音を鳴らさずにファクスを	
受信する	2-40
ファクスを受信する	2-4
受話音量	2-3
仕様	参-28
上限料金	
設定する	4-25
詳細設定画面	6-9
初期化	
PCカードを初期化する	6-42
お買い求め時の状態に戻す	6-10
スプール機能	5-11
セキュリティ（着信拒否）	2-22、2-23
接続	1-12、参-13
INSネット64回線の接続	1-12
INSネット64用通信機器を	
接続する	1-18
アナログ通信機器を1台のみ	
接続する	1-14
外付けDSUを使う	1-17
他のINSネット64用通信機器を	
接続する	1-18

電話機などの接続	1-14	ダウンロードの予約をする	4-5、4-10
接続機器		ダウンロード履歴	6-6
接続機器の設定で		確認する	4-20
呼び分ける	2-49、2-65	消去する	4-21
接続早わかりガイド	22	短縮ダイヤル	2-31
切断		着信	2-4
切断理由	6-4	電話がかかってきたときに	
設定		メロディで知らせる	2-12
設定一覧	2-78	着信音	
設定をお買い求め時の状態に		着信音を鳴らさずにファクスを	
戻す	2-82、6-10	受信する	2-40
電話機から機能を設定する	2-76	着信音が鳴る電話機を指定する	2-14
設定画面		着信音で相手を識別する	2-20
基本操作	3-5	着信拒否	2-5
設定記入シート	参-2	着信転送	2-66、2-68
設定スイッチ	1-6	疑似着信転送	2-66
セット内容	1-2	設定する	2-69
全体設定画面	6-30	停止／再開する	2-72
前面パネル	1-3	着信履歴	
操作ボタン	1-3	電話の着信履歴をメールで	
利用できる機能	参-4	送信する	5-25
送信		前にかかってきた電話番号を	
ファクスを送る	2-2	確認する	2-6
外付けDSU	1-17	通信機能	参-2
【タ行】		通信中着信識別通知	2-23
ダイヤルイン	2-48、2-58	通信中転送	2-29
設定する	2-58	通信料金	
モデムダイヤルイン	2-60	累積料金を確認する	4-26
ダイヤル桁間タイマ	2-3	停電	1-10
ダイヤル終了識別	2-3	データ通信履歴	6-2
ダイレクトモード	4-3、参-2	データポート	参-17
ダウンロード	4-4	データポート設定画面	6-23
ダウンロードした内容を		電源コード	1-2
確認する	4-19	電源コード端子	1-5
		伝言メール	5-28

伝言メールを受信したとき	5-30
電子メールソフト	4-2
転送	
お話し中の電話を別の電話番号に	
転送する	2-29
外からの電話を別の相手に	
転送する	2-68
電話機からファクスへ	
自動転送する	2-38
メールを転送する	5-22
転送元電話番号表示	2-44
電池	1-10
電池カバー	1-5、1-6
電池動作モード	1-10
電池ホルダ	1-6
電池カバー	1-5、1-6
添付ファイル	
保存した内容を確認する	5-19
メールの添付ファイルをPCカードに	
保存する	5-15
電話を受ける	2-4
お話し中にかかってきた	
電話に出る	2-15
電話がかかってきたときにメロディで	
知らせる	2-12
電話に出られないときの	
いろいろな方法	2-66
電話をかける	2-2
外へ電話をかけられないように	
する	2-3
短縮ダイヤルで電話をかける	2-31
電話がかけられることの確認	1-16
ホットラインで電話をかける	2-32
電話機	
電話機から機能を設定する	2-78

電話機コード	1-2
電話番号	
電話番号が通知されないときに	
メッセージで応答する	2-45
電話番号の通知のされかた	2-41
同期64 kbit/s	4-2
動作確認	1-13
時計設定	1-20
【ナ行】	
内線通話	2-8
内線機能を停止する	2-9
内線でお話し中に電話が	
かかってきたとき	2-9
内線転送	2-10
相手が応答しなかったとき	2-11
電話機からファクスに転送する	2-5
内線呼出信号	2-9
内蔵DSU	1-12
内蔵DSUスイッチ	1-6
内蔵メモリ	
データをPCカードへコピーする	6-43
データをバックアップする	6-44
内容を確認する	6-40
メモリ使用量を確認する	6-39
なりわけ	2-20
INSなりわけサービス	2-20
疑似なりわけ	2-21
なりわけ動作	2-22
ナンバー・ディスプレイ	
INSナンバー・ディスプレイ	2-43
日時	
設定する	3-7
ノーマルモード	4-3

【ハ行】

バージョンアップ 6-8、参-20
 パソコン準備ガイド 23
 バックアップ 6-44
 PCカードへ保存する 6-44
 PCカードから読み出す 6-46
 バックライト 2-5、参-15
 バックライトモード 1-8
 発信 2-2
 発信するまでの時間を変更する 2-3
 短縮ダイヤルで電話をかける 2-3 1
 ホットラインで電話をかける 2-3 2
 発信規制 2-3
 発信者番号通知 2-4 1
 発信者番号表示 2-4 3
 相手の電話番号が通知されない
 理由 2-4 5
 非通知理由 2-4 5
 日付・時刻 1-20、3-7
 ファームウェア
 ファームウェアを
 バージョンアップする 6-8、参-20
 ファイル形式
 メール本文のファイル形式 5-18
 ファイル名
 メール本文のファイル名 5-18
 ファクス
 着信音を鳴らさずに受信する 2-40
 電話機からファクスに
 自動転送する 2-38
 電話機からファクスに転送する 2-5
 ファクスを受ける 2-4
 ファクスを送る 2-2
 付属アプリケーション取扱説明書 23
 付属品 1-2

フッキング 2-9
 フッキング検出タイマ 2-9
 ブラウザ 4-2
 ブラウザでホームページを
 表示する 3-2
 フレックスホン 21
 三者通話 2-24
 着信転送 2-68
 通信中転送 2-29
 フレッツ・ISDN 21、4-2
 プロバイダ
 設定する 3-8
 プロバイダのサーバからメールを
 削除する 5-20
 ページの構成 24
 方向ボタン 1-3
 ホームページ
 最初に開くページに設定する 3-4
 ホームページを表示する 3-2
 ホームページの見かた 3-3
 ホームページクリッピング 4-4
 ダウンロードした内容を
 確認する 4-19
 予約状況を確認する 4-14
 予約する 4-10
 保守サービス 参-29
 保存
 バックアップデータをPCカードに
 保存する 6-44
 メールや添付ファイルをPCカードに
 保存する 5-16
 ホットライン 2-32

【マ行】

ミキシングモード 2-24

無通信監視機能	参-17
無通信監視タイマ	6-28
メール	
PCカードに保存する	5-15
アナログポートの着信履歴を	
送信する	5-25
確認する周期を設定する	5-7
受信したメールを内蔵メモリに	
蓄積する	5-11
転送する	5-22
プロバイダのサーバからメールを	
削除する	5-20
メールアドレス	5-4
メール設定画面	6-33
メール着信履歴	6-5
液晶ディスプレイで確認する	5-9
メモリ使用量	6-39
メロディ	
確認する	6-49
電話がかかってきたときにメロディで	
知らせる	2-12
電話がかかってきたときのメロディを	
設定する	6-52
特定の電話番号からかかってきたときの	
メロディを設定する	6-54
メール着信、伝言メール、ダウンロード	
完了時のメロディを設定する	6-50
メロディ音量を設定する	6-48
モデムダイヤルイン	2-48、2-60
i・ナンバーを利用する場合	2-60
ダイヤルインを利用する場合	2-62
モデム定義ファイル	参-20
戻るボタン	1-3

【ヤ行】

ユーザ	5-2
ユーザ設定1画面	6-33
ユーザ設定2画面	6-37
ユーザ設定3画面	6-37
ユーザ名	5-3
優先着信ポート指定	2-14
呼出音	
内線の呼出音を変える	2-9
呼び分け	2-48
予約	
コンテンツダウンロードの	
予約をする	4-5
削除する	4-16
変更する	4-17
ホームページクリッピングの	
予約をする	4-10
予約状況を確認する	4-8、4-14

【ラ行】

ランプ表示	1-4、参-15
リセット処理	2-82
料金	
上限料金を設定する	4-25
料金情報	6-2
累積料金を確認する	4-26
累積料金	4-26

【ワ行】

話者切替タイマ	2-28、2-30
---------	-----------

仕 様

回線	適用回線	INSネット64	
	通信交換方式	Bチャンネル回線交換	
	接続インタフェース	6ピンモジュラジャック（内蔵DSU未使用時は8ピンモジュラジャックとなります）	
	インタフェース形態	P-MP接続	
	レイヤ1起動種別	呼毎起動または常時起動	
S/T点インタフェース		8ピンモジュラジャック（内蔵DSU未使用時の回線接続インタフェースと共用です）	
RS-232C ポート	電氣的条件	ITU-T勧告 V.28準拠	
	論理的条件	ITU-T勧告 V.24準拠	
	物理的條件	D-SUB9ピンコネクタ	
	端末速度 (kbit/s)	非同期	9.6/19.2(38.4/57.6/115.2/230.4) () 内はV.28規格外
	通信速度 (kbit/s)	非同期／同期変換	64/128
	接続手順	ATコマンド	
	フロー制御	RS/CS	
USB ポート	端末速度	非同期12 Mbit/s	
アナログポート		6ピンモジュラジャック×2 約－48 V給電（待機時）極性反転あり ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ対応	
PCカードポート		PCMCIA2.1 準拠 Type II ×1	
内蔵メモリ		DRAM 約11Mbyte	
使用電源		AC100 V±10 V（50／60 Hz） 乾電池によるDC9 V（停電時）	
消費電力		約12 W	
外形寸法		約226 mm（高さ）×約173 mm（奥行）×約84 mm（幅）	
質量		約0.8 kg	
使用条件		温度5～35℃ 湿度45～85 % RH（結露しないこと）	

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：  **0120-109217**

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： ☎ 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2001 NTTEAST・NTTWEST



本2244-1(2001.9)
INSメイトG100トリセツ